



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

大学案内2018





コミュニケーションマークのデザインについて

磁力に吸い寄せられるように集まり互いに刺激し合い、そして解き放たれる3つの光。本学の新しいタグラインである「3つのひかり 未来をつくる」からイメージを展開し、固定観念にとらわれず、多角的な見地から可能性を模索していく3学部を表した図像としてデザインしました。さらに、ユーザーによるカスタマイズを可能にするプログラムを使用することで、可変性のあるマーク作りを可能としました。新しいイメージを展開しながら一つのブランドとしての印象を損なわない新しいスタイルのマークです。



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

大学案内2018

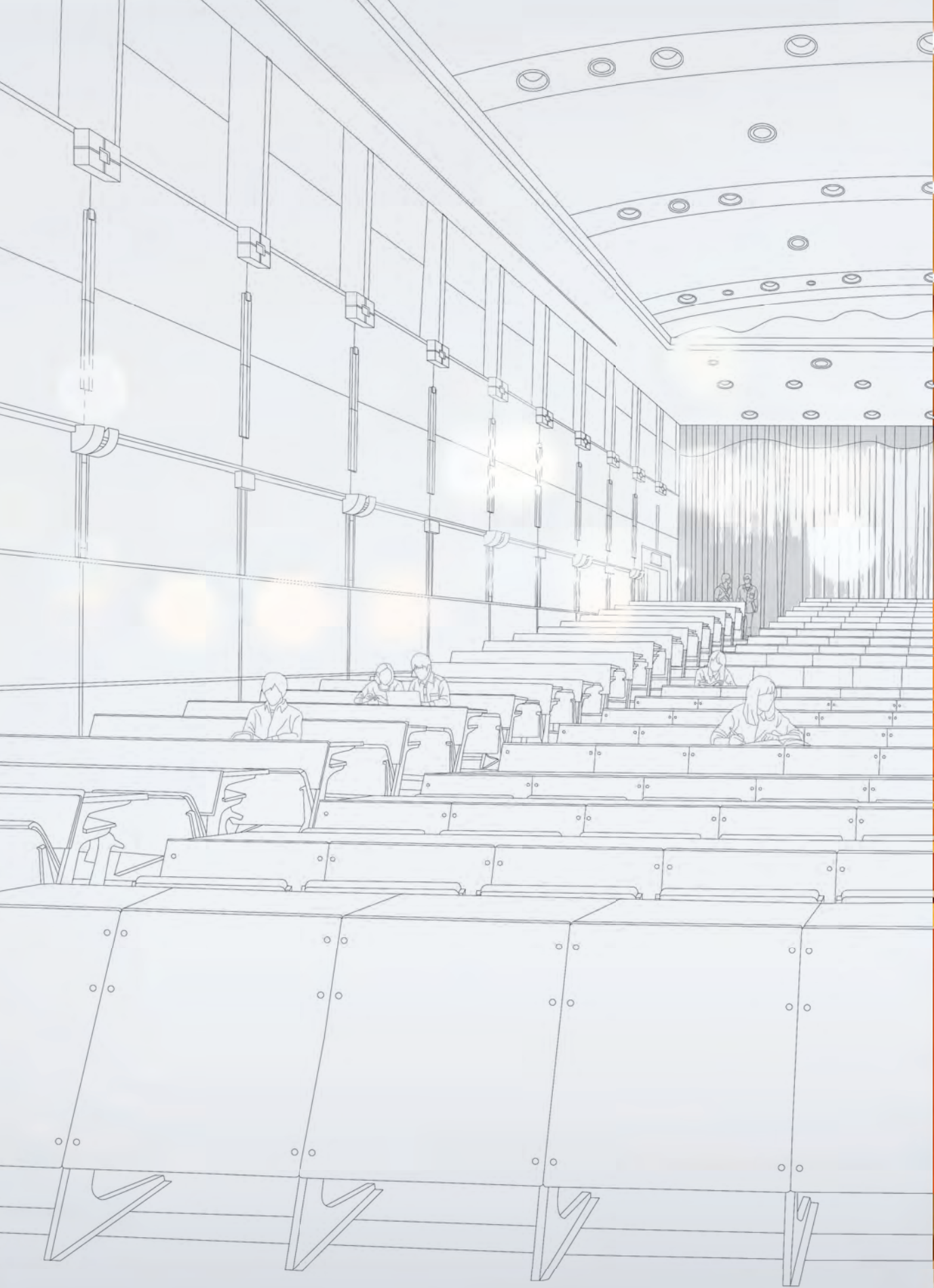
国際学部
International Studies

情報科学部
Information Sciences

芸術学部
Arts









Contents

- p.011 建学の基本理念
- p.012 学長メッセージ
- p.013 学部構成図
- p.015 教育の特色
- p.019 全学共通系科目
- p.021 外国語系科目／資格取得関係科目
- p.022 国際交流
- p.023 留学体験記／Voices(留学生)

国際学部

- p.027 学部長メッセージ
- p.028 求める人物像・教育方針
- p.029 5つのプログラム
- p.031 国際学部 年次チャート
- p.032 ■国際政治・平和プログラム
- p.033 ■公共政策・NPOプログラム
- p.034 ■多文化共生プログラム
- p.035 ■言語・コミュニケーションプログラム
- p.036 ■国際ビジネスプログラム
- p.037 国際理解・少人数教育の重視/
HIROSHIMA and PEACE
- p.039 CALL英語集中
- p.040 ユニークな研究紹介
- p.041 海外研修
- p.043 Voices(在学生)

情報科学部

- p.047 学部長メッセージ
- p.048 求める人物像・教育方針
- p.049 学科・コース
- p.051 情報工学科 年次チャート
- p.052 ■コンピュータコース
- p.053 ■ネットワークコース
- p.054 ■コミュニケーション基盤コース
- p.055 知能工学科 年次チャート
- p.056 ■知能ソフトウェアコース
- p.057 ■知能メディアコース
- p.058 ■知能サイエンスコース
- p.059 システム工学科 年次チャート
- p.060 ■人間・ロボット共生コース
- p.061 ■インタフェースデザインコース
- p.062 医用情報科学科 年次チャート
- p.063 ■医用情報科学科
- p.064 臨床情報医工学プログラム
- p.065 ユニークな研究紹介
- p.067 Voices(在学生)

芸術学部

- p.071 学部長メッセージ
- p.072 求める人物像・教育方針
- p.073 学科／専攻・分野
- p.075 美術学科 年次チャート
- p.076 ■日本画専攻
- p.077 ■油絵専攻
- p.078 ■彫刻専攻
- p.079 デザイン工芸学科 年次チャート
- p.080 ■現代表現
- p.081 ■視覚造形
- p.082 ■立体造形
- p.083 ■映像メディア造形
- p.084 ■金属造形
- p.085 ■染織造形
- p.086 ■漆造形
- p.087 ユニークな研究紹介
- p.089 創作工房・実習アトリエ
- p.091 Voices(在学生)

- p.093 地域に貢献する広島市立大学
- p.099 大学院
- p.105 広島平和研究所
- p.107 附属施設
- p.111 学生座談会
- p.115 探そう「私」の広島三ツ星
- p.121 キャンパスカレンダー
- p.123 大学生生活サポート
- p.125 クラブ&サークル
- p.129 キャンパスマップ
- p.131 キャリア・就職サポート
- p.135 就職活動体験談
- p.136 就職データ
- p.137 就職先・進路 ■国際学部
- p.139 就職先・進路 ■情報科学部
- p.141 就職先・進路 ■芸術学部
- p.143 ウェブサイト紹介
- p.145 入試情報
- p.147 アクセスマップ



科学と芸術を軸に 世界平和と地域に貢献する 国際的な大学

広島市立大学が建学の基本理念として掲げる「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と世界平和を希求する広島市の意志と、公立大学としての地域貢献への期待が込められています。

そうした本学の使命は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、次代を担う感性と創造力の豊かな人材を養成するとともに、優れた教育研究の成果を地域に還元し、もって文化の向上と社会の発展に寄与することにあります。

国際平和文化都市を都市像とする広島市に設置された本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、そして大学院博士前期・後期課程として、国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科を有する総合大学です。

また世界平和と人類の幸福を実現するための研究や提言を行うことを目的として、広島平和研究所を設置しています。

広島市立大学は、特色のある教育研究活動を通じて、世界と地域が求める時代の要請に応え、本学が目標とする「国際平和文化都市の『知』の拠点—地域と共生し、市民の誇りとなる大学—」を築き上げていきます。

広島市立大学

Hiroshima City University



国際平和文化都市の「知」の拠点

広島市立大学長 青木 信之

広島市は「国際平和文化都市」として国際的にも歴史的にも特別の役割を担った都市です。

その広島市が「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」として1994年に設置した公立大学、それが広島市立大学です。

国際学部、情報科学部、芸術学部、そして広島平和研究所という特色ある構成の本学は、国際平和文化都市の「知」の拠点、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指し、教育・研究を行っています。

2015年には文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」にも採択され、拠点大学としての役割をさらに強化することが期待されています。

また、国際学生寮の整備、平和学研究科の開設など、本学がさらに飛躍するための取り組みを掲げた第2期中期計画が昨年度からスタートしました。

広島の地で国際学、情報科学、芸術学、平和学を学び世界と地域での活躍を志す皆さんの入学をお待ちしています。

国際学部
International Studies
P026

国際学科	国際政治・平和プログラム
	公共政策・NPOプログラム
	多文化共生プログラム
	言語・コミュニケーションプログラム
	国際ビジネスプログラム

大学院

国際学研究科 P102	国際学専攻(博士前期課程)
	国際学専攻(博士後期課程)

情報科学部
Information Sciences
P046

情報工学科	コンピュータコース
	ネットワークコース
	コミュニケーション基盤コース
知能工学科	知能ソフトウェアコース
	知能メディアコース
	知能サイエンスコース
システム工学科	人間・ロボット共生コース
	インタフェースデザインコース
医用情報科学科	

大学院

情報科学研究科 P103	情報工学専攻(博士前期課程)
	知能工学専攻(博士前期課程)
	システム工学専攻(博士前期課程)
	医用情報科学専攻(博士前期課程)
	情報科学専攻(博士後期課程)

芸術学部
Arts
P070

美術学科	日本画専攻	
	油絵専攻	
	彫刻専攻	
デザイン工芸学科	現代表現領域	現代表現
	デザイン工芸領域	視覚造形
		立体造形
		映像メディア造形
		金属造形
		染織造形
		漆造形

大学院

芸術学研究科 P104	造形芸術専攻(博士前期課程)
	総合造形芸術専攻(博士後期課程)

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

求める人物像

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

- ◎人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ◎知的な好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に興味のある人
- ◎世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人



01

徹底した少人数教育

1:2

本学では、1学年の学部学生約450名に対し、約190名の専任教員を配置しています。教員1名当たりの1学年の学生数は約2.4名です。このような恵まれた教育体制を特徴とし、演習科目や多くの授業で少人数教育を実践しています。少人数教育で教員と学生相互の緊密な人間関係を築き、学習面のみならず、課外活動や進路選択など学生生活全般にわたってきめ細かい指導を行っています。



04

いちだい知のトライアスロン

「いちだい知のトライアスロン」は、「知る・考える・伝える」能力の向上と豊かで幅広い教養を培うことを目的として、3学部の特徴を生かし、質とともに量を重視した読書、映画鑑賞、美術鑑賞を大学全体で推進する教育プログラムです。このプログラムでは、大学で開発した専用のウェブシステムを使い、学生が読んだ本や鑑賞した作品の推薦コメントをオンラインで提出し、教員からコメントが返信されます。なお、毎年度、優秀な感想を提出した学生を「コメント大賞」受賞者として表彰しています。そして、附属図書館、語学センター、芸術資料館などの学内施設では、学生がより多くの作品に挑戦できる環境を整えています。また、広島市内の美術館や広島市映像文化ライブラリー等とも連携し、これらの学外施設を会場に本学教員による講演やギャラリートーク、映画上映会等を組み合わせた「出張講座」を年に数回開催しています。スタートアップコース、チャレンジコース、トライアスロンコースと次第にレベルを上げていき、トライアスロンコースを完走した学生は「知の鉄人」として表彰します。



「知の鉄人」表彰式

02

3学部合同ゼミ

「3学部合同ゼミ」は1年次前期に開講される全学必修科目です。3学部の学生が学部を超えて10数名ずつ集まって少人数クラスを作り、与えられた課題をチームワークで解決しながら、学部の専門分野を超えた多様な知識や価値観を身に付けます。また、「知のトライアスロン」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して幅広い教養を身に付けると同時に、レポート作成やプレゼンテーション、ディスカッションによりコミュニケーション能力を養います。少人数のゼミ形式の授業を体験することで、大学生活に必要な能動的な「学び」の姿勢が身に付きます。

03

キャリア教育の推進

卒業後の進路や職業選択に向けた学生のキャリア形成支援を目的に、「キャリア形成・実践科目」を設けています。柱となる「キャリアデザイン」では、グループワークやさまざまな分野で活躍する社会人の講演などを通じて、大学で学ぶことと社会で働くことの意義や関係性を理解し、社会人にとって必要な力を身に付けるとともに、自分自身のライフプランを考えていきます。「キャリアサポートベーシック」では、キャリアデザインの実現のために必要な知識・スキルを学び、具体的な実践力を養っていきます。また、企業で行われるインターンシップ(国際学部と情報科学部)や学校でのインターンシップ(国際学部のみ)に参加することで、専門科目の単位として認定される制度があります。インターンシップは、就業体験を通じて、職業に対する意識を高めることを目的としています。2014年4月にはキャリアセンターを設置し、従来からの就職支援にとどまらない総合的なキャリア教育を、全学を挙げて実施する体制を整えました。

05

グローバル教育の推進

本学はグローバル人材育成のための科目が充実しています。全学共通の外国語科目では、第1外国語の英語に加えて、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語をはじめとして10カ国の多様な言語がどの学部の学生でも受講できるようになっています。12校の海外学術交流協定大学があり、半年から1年間の学生派遣、留学生の受け入れを積極的に行っています。また、アメリカ、フランス、ロシア、中国の協定校への短期語学研修があり、研修学生には単位が与えられます。その他、学生が自分で計画した海外語学研修に対する補助事業など、次代を担うリーダー人材育成のためのグローバル教育の推進に努めています。



ハノーバー専科大学の教員Ute Heuer先生のワークショップ

06

広島市立大学塾開講

教養や人間性の豊かさ、社会に対する使命感、専門性の活用などの面において、高いレベルを目指し、卒業後社会の第一線で活躍し得るリーダー人材を育成するため、2017年度から新たに、正課とは別に志望者を対象とする課外教育プログラムとして、広島市立大学塾を創設・開講します。広島市立大学塾の概要(予定)は次のとおりです。

プログラム実施期間は
毎年10月から翌年9月末までの1年間

週1回程度定期的に開講するほか、
長期休業中に研修プログラムを実施

プログラム内容(テーマ)は、
キャリアを含めた生き方、社会に対する責任
などについて、それぞれが深く考え、
高い意識に辿り着くことを支援

毎週開催する塾においては、
学長、特任教授、社会の第一線で活躍する
ゲストなどによる講義、
関連図書・映像等の紹介、ディスカッション、
発表などを実施

基礎自治体である広島市各部局と連携し、
社会の問題(貧困、ゴミ処理、防災、
人口減少など)を
正面から考えるための機会を提供

研修プログラムは、
視察・体験プログラムとし、
災害ボランティア、
公立大学間短期交流プログラムなど
国内外での研修を実施

費用は原則大学負担

07

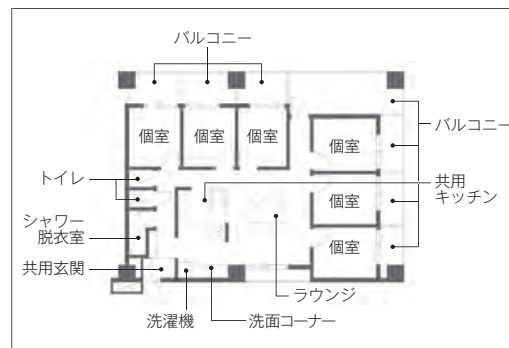
国際学生寮

2018年4月に大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う学生寮を新設します。入寮対象者については、市内・市外在住に関わらず、広く募集します。(入寮条件と入寮者の選考方法は、後日公表します。)

人材育成コンセプト

国籍の枠を超えた寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成します。

長期滞在者用ユニット



施設概要 構造:鉄筋コンクリート造6階建 定員:116人(長期滞在96人、短期滞在20人)

主な諸室

- 日本人学生3人・外国人留学生3人を基本に、計6人で1つのユニットを構成して共同生活を行う長期滞在者用ユニットを整備。
- 「外国語集中特講」の実施や海外学術交流協定大学等からの受け入れなどが可能な短期滞在者用ユニット、180名収容可能な大集会室、日本文化の体験交流(茶道・書道など)などに活用できる和室等を整備。



08

広島・地域を学ぶ科目が充実 (COC+*関連)

「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を目指して、①広島および周辺地域の魅力や現状を知り、②課題解決に向けた方策を考え、③自治体や企業等と連携し、④各学部等の専門性を発揮して活動することが段階的に身に付くように、選択的に学べる「地域貢献特定プログラム(23科目)」を、全学部の教育課程に組み入れています。このプログラムでは、大学内での講義のほか、学外での実践的な学修活動も行います。

*COC+とは、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」のことで、自治体・企業等と協働して地域に貢献する人材育成を行う大学に対する文部科学省の補助事業です。本学は、2015年度にこの事業に応募し、採択されました。

全学共通系科目

学部を越えた共通科目の学修で、知識・感性・人間性を磨く

本学では、学部の専門的な科目に加えて、「総合共通科目」「一般情報処理科目」「保健体育科目」の3分野で構成された全学共通系科目を設置。各専門分野をはじめ、人間と文化、社会、科学との関わりや創造と表現、コンピュータリテラシーなどを学び、社会人に求められる理解力・判断力・表現力を総合的に身に付けていきます。

区分		科目					
全学共通系科目	総合共通科目	総合科目	地球環境論 地域再生論入門	創作と人間 心の健康・身体の健康	メディアと社会 情報社会論	情報と企業 NPO論	
		広島科目	広島の産業と技術 ひろしま論	広島の観光学 地域課題演習			
		平和科目	平和と人権A(ヒロシマと国際平和) 平和と人権B(現代世界と人権) 広島からの平和学:実践の方法	平和インターンシップ 国際化時代の平和			
		共通科目A (人間と社会)	哲学A・B 世界の宗教 心理学	歴史学 現代史A・B 世界の文学	法学(日本国憲法) 政治学 経済学	社会学 文化人類学 自然人類学	経営学
		共通科目B (数理と自然)	数学概論 物理学概論	基礎物理学 化学概論	基礎化学 生物学概論	基礎生化学 情報科学概論	物理・化学実験
		共通科目C (芸術)	デッサン概論 油絵入門	日本画入門 立体造形概論	プレゼンテーション技法概説 デザイン工芸概論	コンピュータ・アート	
		基礎・教養演習	基礎演習	教養演習			
		キャリア形成実践科目	キャリアデザイン	キャリアサポートベーシック	国際交流演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
		一般情報処理科目	情報基礎	情報演習			
		保健体育科目	健康科学	体育実技Ⅰ・Ⅱ			

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

ユニークな科目

創作と人間

芸術学部を有する本学の特徴を最大限に生かし、全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養い、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を作る喜びを伝える本学ならではの科目です。絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察します。

情報と企業

ICT(情報通信技術)を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ingことを目的としています。国内外のさまざまな企業の第一線で活躍中の講師を迎え、ICTを中心とした各企業での取り組みについて講義をします。また、この科目は、遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、同志社大学、広島市立大学の3拠点をネットワークで結び、本学から参加できるようにしています。両大学における講義を聴講するだけでなく、質疑応答等も含め双方向の対話が可能です。

広島の観光学

広島市を中心とする広域圏が有する自然、歴史・文化、食などの地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫と観光による地域活性化についての理解を深めていきます。観光は地域を変革し、活性化するパワーを持っています。人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組みの基礎知識を修得しながら、地域活性化における観光の役割と地域での創意工夫について学んでいきます。

ひろしま論

3学部1研究所で構成する本学の特色を生かした科目です。広島をキーワードに幅広いテーマを設定し、各テーマに造詣の深い講師がオムニバス形式で授業を行います。さまざまな観点から広島の歴史、文化、経済、産業、行政などをひもとくことでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と発展を思考できる幅広い見識を持った人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市・広島の原因である被爆体験や広島の平和の取り組みについても学びます。

平和と人権A (ヒロシマと国際平和)

人間が生まれながらに持つ権利(人権)と個々人が備え持つ固有の価値(尊厳)が保障され、守られる状態を広い意味での「平和」と捉えるなら、人権や人間の尊厳が傷つけられ、侵される最も顕著な例は戦争です。講義では、広島の戦争経験のうち、今から70年前に投下された原子爆弾による被爆体験に焦点を当てます。その上で、先の大戦の経緯や原子爆弾の投下過程と被害の実相、現代世界における核兵器の存在状況や意味を考えながら、平和を実現するための課題について探究します。広島平和研究所の研究員や国際学部・情報科学部・芸術学部の教員、さらには学外の有識者や被爆者などを講師として迎え、講義では映像や画像等も積極的に活用します。

外国語系科目

地球社会に生きる国際人に必要な語学力の習得

最新の設備や機器を備えた語学センターや外国人教員による直接の指導、多彩な教材など、ハード・ソフトの両面から外国語の学習環境を提供。読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと、考えることという総合的で実践的な語学力を身に付け、21世紀の国際人として活躍できる力を養います。

●外国語系科目	英語応用演習 I・II・III・IV	フランス語 I・II・III・IV	アラビア語 I・II・III・IV	スペイン語 I・II・III・IV
CALL英語集中 I・II・III・IV	科学英語演習 I・II	中国語 I・II・III・IV	ロシア語 I・II・III・IV	日本語 I・II・III・IV
eラーニング英語 I・II・III・IV	ドイツ語 I・II・III・IV	ハングル I・II・III・IV	イタリア語 I・II・III・IV	※学部等により履修できない科目もあります。

●徹底した訓練を行う「CALL英語集中」

本学では、コンピュータ利用による英語訓練授業「CALL英語集中」により、英語力の養成を図っています。この授業では、語学センターや情報処理センターのコンピュータを使って、1年次は英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に学習。2年次はそれらに加えて、スピーキングやライティングを学習し、英語表現を徹底的に身に付けます。授業は、指定された約2カ月間に自分の都合やペースに合わせて学習を行うもので、学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験。国際社会に不可欠な英語力を確実に高めていきます。

●能力別少人数の「英語応用演習」

「CALL英語集中」とは別に、1クラス10～15名という少人数授業「英語応用演習」を開設。ここではスピーキングとライティングの技能を集中して鍛えるための授業を行います。このクラスは能力別の編成を行い、各クラスのレベルに適したシラバスとテキストを使って、きめ細やかな指導を行います。

資格取得関係科目

本学では、教育職員免許状受領資格や学芸員資格を取得するための科目を開設しています。

取得可能な資格（2018年度入学者適用）

国際学部	情報科学部	芸術学部
<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(英語) ●高等学校教諭一種免許状(英語) ●博物館、美術館などの学芸員 	<ul style="list-style-type: none"> ●高等学校教諭一種免許状(数学) ※医用情報科学科を除く ●高等学校教諭一種免許状(情報) ●博物館、美術館などの学芸員 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(美術) ●高等学校教諭一種免許状(美術) ●博物館、美術館などの学芸員 ●高等学校教諭一種免許状(工芸) ※デザイン工芸学科に限る

資格取得関係科目は以下のとおりです。

区分	科目				
教育職員免許状受領資格取得関係科目(教職に関する科目)	教師論 教育原理 教育心理学 教育経営学 教育課程論	教科教育法(英語)A・B I・B II 教科教育法(数学) I・II 教科教育法(情報) I・II 教科教育法(美術)A・B I・B II 教科教育法(工芸) I・II	道德教育論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒・進路指導論 教育相談論	教育実習 I・II 教職実践演習(中等)A・B・C 学校インターンシップ 教職特講	
学芸員資格取得関係科目	生涯学習概論 博物館概論	博物館経営論 博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習

国際交流

広島市立大学は、建学の基本理念としても、広島ならではのメッセージを世界に発信できる特別な都市にあることから、国際的な大学となることを強く期待されています。大学の国際化をより一層強力に推進するため、国際交流推進センターを設置し、学生の海外留学派遣および留学生受け入れのための企画・実施等を全学で一元化し運営する体制を整えています。今後は、各種国際交流プログラムをさらに充

実させるなど、学生の語学や専門知識・技能の習得はもとより、異文化環境の中で活躍できるグローバル人材の輩出に取り組んでいきます。加えて、留学生と日本人学生が共同生活を行う「国際学生寮」の整備を進めており、国籍の枠を越えた寮生が共同生活を行うことにより、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成していきます。

●海外からの留学生の積極的な受け入れ

建学の基本理念である国際的な大学を実現するために、また、国際レベルでの教育研究の交流を緊密にするために、外国人特別選抜制度を設けて、海外からの留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。2016年度の実績では、受け入れ留学生数は96名、うち海外学術交流協定大学からの交

換留学生は23名で、公立大学の中でも国際交流が盛んな大学です。そして、本学で受け入れた留学生の学習や日本での生活がスムーズに進むように、日本語や日本の事情・文化を学ぶ科目を充実させるとともに、奨学金制度の紹介など、さまざまなサポートを行っています。

●海外学術交流協定大学等への学生派遣

現在、

- ハノーバー専科大学(ドイツ)
- アラヌス大学(ドイツ)
- ベルリン・バイゼンゼー芸術大学(ドイツ)
- ベルリン・フンボルト大学(ドイツ)
- ハワイ大学マノア校(アメリカ)
- オルレアン大学(フランス)
- レンヌ第2大学(フランス)
- 西京大学校(韓国)
- 梨花女子大学校(韓国)
- 西南大学(中国)
- 国際関係学院(中国)
- 上海大学(中国)

等と協定を結び、交流・学生交換留学を推進しています。派遣留学は、本学に在籍したまま、半年あるいは1年間留学するもので、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本

学の単位に認定されます。2016年度は20名の学生が派遣留学をしました。

●短期語学研修プログラム

語学力を向上させるとともに、主体性、積極性、協調性などを培い、長期留学の促進を図ることを狙いとして、2週間から4週間程度、海外の大学での語学集中講義や歴史・文化研修などからなる研修プログラムを実施しています。2016年度は、ハワイ大学マノア校(アメリカ)、オルレアン大学(フランス)、

モスクワ大学(ロシア)、西南大学(中国)での研修を実施し、合計33名が参加しました。なお、この研修への参加を単位認定する仕組みや、大学から助成金を支給する制度を設けています。

●海外交流プログラム

海外の学生との交流やホームステイ等を通じて、国際交流の楽しさを実感するとともに、短期語学研修プログラムや長期派遣留学への参加意欲を高めること等を狙いとして、1週間から10日間程度、海外に赴くプログラムを実施しています。

2016年度は、シンガポール、アメリカ(サンフランシスコ)、マレーシア(ベナン)での交流プログラムを実施し、合計28名が参加しました。このプログラムにも、大学から助成金を支給する制度を設けています。

◎海外語学研修補助事業

大学が主催する研修等とは別に、学生が自ら計画して海外の大学または研修機関で語学研修を受けようとする場合に、旅費、研修費用等の2分の1を1人につき20万円を限度に補助す

る事業です。2年生以上の学生を対象とし、2016年度は8名の学生が利用しました。

2016年度実績(研修先国および人数)

アイルランド(1名)、イギリス(1名)、オーストラリア(1名)、カナダ(3名)、コスタリカ(1名)、フィリピン(1名)



右端が関谷さん

関谷 詩織

芸術学部デザイン工芸学科3年
(2016年9月に20日間、中国・西南大学での短期語学研修に参加)

西南大学は重慶市にある総合大学です。さまざまな国から200人ほどの留学生が集まっています。この大学の国際学院で行われる3週間の短期語学研修に、広島市立大学からは、私の他に国際学部の学生4人が参加しました。私は芸術学部の学生ですが、かねてから中国の文化に興味があり、中国の文化に触れ、語学力をつける機会になると考え、この研修に応募しました。授業は初級、中級、上級の3つのクラスに分かれていますし、基本的に英語で進められるため、中国語に自信がなくても大丈夫です。私たちが教わった初級クラスでは、漢字の書き順と発音の勉強から始まりました。中国は日本に近いということもあり、生活スタイルや環境もヨーロッパほど違うということはありません。文化の違いには驚くことの連続でしたが、日本と変わらないところもたくさんあります。四川省がお隣ということで、辛い料理も食べられます。少しでも興味を持たれた方は、気軽にこの研修に参加してみたいはいかがでしょうか。



井野場 春香

情報科学部システム工学科3年
(2016年9月に9日間、米国・サンフランシスコでの交流プログラムに参加)

私は大学が実施する9日間のサンフランシスコ交流プログラムに参加しました。このプログラムならではのと思いますが、現地の大学生、高校生、先生や日系人のおじいちゃんおばちゃんとの交流ができました。念願のホームステイでは、ホストファミリーとも仲良くなれ、日本とは違った海外の家庭環境、家庭料理、家の中を見ることができました。外国人とのつながりを持てたことがうれしかったです。さらに、街の散策を通して日本とは違った文化に驚かされました。毎日英語を使った会話をすることがとても楽しく、やっぱり英会話が好きだとあらためて思わされた一方で、聞き取れないことや、うまく伝えられないことも多々あり、自分の英語力の低さを実感しました。そのおかげで、もっと英語の勉強を頑張りたいと思いました。9日間という短い期間でしたが、貴重な経験や楽しい思い出がたくさんできました。今後もいろんな国を訪れたいと考えています。



左端がアミナさん

シェリフ・アミナ(フランス)

芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻2年

フランスのレンヌ第2大学で造形芸術を学んでいましたが、広島市立大学のようなカリキュラムと充実した工房がなかったため、私が望むような研究をすることができませんでした。そのため、彫刻の勉強がしっかりできる広島市立大学を受験することを決めました。2016年の4月に大学院に入学し、2017年の4月からは2年生になります。今私は、さまざまな材料を使って、ハイブリッドな彫刻作品を制作しています。これからは、大学院の1年次に学んだことを生かし、機械仕掛けのような動きを取り入れて、鑑賞者とコミュニケーションがとれる作品をつくりたいと思っています。生活面では、奨学金制度を利用しているため、アルバイトや研究とのバランスをとることができ、友達と遊んだりさまざまな展覧会を見に行ったりしています。



ファム ドー ニャット(ベトナム)

情報科学研究科(博士前期課程)システム工学専攻1年

2013年4月に広島市立大学の情報科学部に入学しました。入学後は、基礎知識をはじめ、専門知識や社会的な知識などをバランスよく学べるような授業を取りました。今年からは大学院に進学し研究を続けています。大学院では、知的制御研究室に所属して、「非線形システムの同定法」について研究を行っています。世の中では今後、技術の発展に伴いロボットや生産プラントなどを高度に制御することが求められます。そのためには、実システムを正確かつ簡素なモデルにすることが必要になると考え、それを実現できるこの研究テーマを選びました。来日する前は、日本語と日本の文化をあまり知らずに、日本の生活と学校の授業にすぐ慣れることができるとか心配しましたが、さまざまな人に声をかけてもらい、すぐに友人もできました。研究室に所属した後も、親切な先生に指導していただき、日本人の友達と一緒に研究に取り組みました。学会での発表やボランティア活動も行い、とても大切な経験になっていると思います。日本での一人暮らしは、言語や文化など慣れないことが多くありますが、その環境の中で自分を磨き成長することができ、将来、非常に役に立つと思います。今後も勉強や交流に努め、世の中の役に立つ人間になり、社会に貢献したいと思っています。



芝田 巨佑

国際学部国際学科4年 (2016年から7カ月間、フランス・オルレアン大学に派遣留学)

オルレアン大学はパリから電車で1時間ほど南に行った、オルレアン市という小さな町にあります。私はそこでフランス語やフランス文化について学びました。私たち留学生は文学部系の学生と同じ校舎で学びます。日本語学科もあるので日本文化に興味のある学生も多くいます。そのため、放課後に図書館で勉強していると、日本語を学んでいる学生に日本語の分からないところを聞かれたり、逆に私も分からないことを聞いたりしていました。学生は美術館などが無料で利用できるため、休みの日にパリに行ってルーブル美術館や教会に行っていました。文化や人種、言葉などさまざまなものが異なる環境で生活することで他文化への理解を深めるだけでなく、外から見た日本を理解することで、物事の見方が変わってくると思います。また、そこで出会った人たちとの交流は留学が終わった後も続きます。留学は自分の世界を広げることにつながります。



ドウロー・アーゴタ(ハンガリー)

国際学研究科(博士後期課程)国際学専攻3年

2014年10月に広島市立大学の大学院に入学しました。広島への原子爆弾投下による犠牲者を主なテーマとして、特に1970年代・80年代の日本における在韓被爆者支援運動について研究しています。原爆が投下された当時、広島と長崎で多くの韓国・朝鮮人が被爆しながら、戦後日韓両政府から十分な支援を受けられなかったということはほとんど知られていません。そのため、私は在韓被爆者の歴史、または日本の市民レベルの支援運動についての研究を行い、韓国の犠牲者を支援した日本の方々や日本と韓国の架け橋を作ろうとして2つの国の和解に向けて大きく貢献したということ論文で強調しています。研究以外では、英会話を教えたり日本で旅行したり友達とおいしいご飯を食べたりして充実した毎日を過ごしています。卒業後は、現在の研究を続けて、日本で就職できるよう頑張っていきたいと思っています。



国際学部

International Studies

国際学部

International Studies



混沌とした世界を生きぬく術を広島で学ぼう

国際学部長 吉田 晴彦

かつて人びとは、さまざまな期待を21世紀に寄せてきました。特に戦争の世紀と呼ばれた20世紀の反省は、世界に平和を渴望させ、広島はその一つの出発点でありました。

しかし、世界の行く末は、決して予定調和というわけにはいかないのです。複雑で混沌とした現代世界を生きぬくための術は、どこにあるのでしょうか。そこに単純な一つの正解はありません。だからこそ、さまざまな視点からのアプローチが必要になるでしょう。

相手といかに密なコミュニケーションをとることができるか。歴史や文化といった私たちの背景には何があるのか。社会や政治、経済はどのように動いているのか。それらの知識を、人びとがともに、仲間として生きていくために用いるには、どうすればよいのか。これらは、単に情報としての知識だけではなく、実際に人びとと触れ合う中で学び取っていくものです。

学際性、専門性、そして少人数教育。時代のニーズに応える教育が、広島の地に、国際学部にあります。

見つめる先は国際社会、自由なアプローチで豊かな人間性を培う

求める人物像

1

幅広い分野の基礎的な知識を理解し、さらに考えを深めて自らのことばで表現できる人

2

日本語と外国語の能力を磨き、コミュニケーション能力を高めて、さまざまな国や地域の人々と交流したい人

3

国際社会や地域社会のさまざまな課題に関心を持ち、その解決に真摯に取り組める人

身に付けた外国語を生かしたい、
ビジネスの現場で活躍したい、
日本や世界、各地域の問題に
強い関心があるなど、
21世紀社会を担う意欲を持った
人を歓迎します。

教育方針

一人ひとりの興味や卒業後の
進路を見据えて選択した学びを、
より効率的に進め、
深めていくために、
国際学部では、右のコンセプトで
カリキュラムを編成しています。

◎「学際性」の実現に向けて

既存の枠にとらわれず、私たちの周りや世界各地の異質で多様なものを、多面的・複眼的に関連付けて理解できる学際的なカリキュラムを設けています。

◎5つのプログラムの可能性

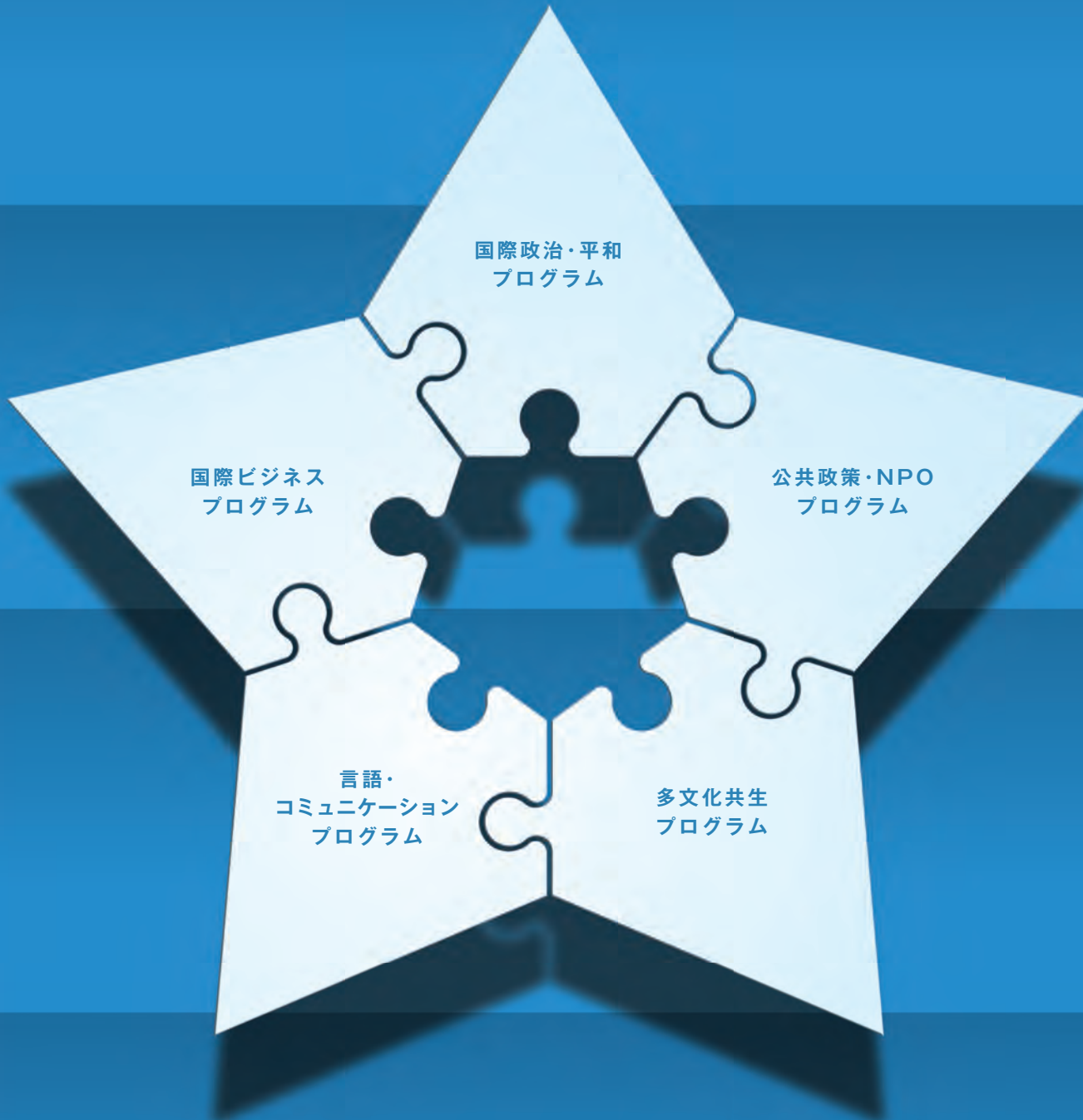
学生の関心や目標に応じた5つのプログラムを用意し、それらを組み合わせて学習することができる多様で柔軟なカリキュラムを編成しています。

◎少人数クラス・ゼミの魅力

学生同士はもちろん、学生と教員がしっかりと議論ができるように、演習科目や各授業クラスを少人数で編成しています。

◎丁寧で適切なサポート体制

通常の授業だけではなく、課外活動を含めて、豊かな学生生活と学生一人ひとりの目標を実現できるよう、きめ細やかなサポート体制を整えています。



◎5つのプログラムをベースにした国際学部の教育プラン

21世紀の国際社会で求められる人材を育成するために、国際学部では6つの目標を設けています。

- それは
- 幅広い教養を養うこと
 - 教養科目と専門科目とを連携させ学際的に学び知識を身に付けること
 - 国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること
 - 高い外国語能力を身に付けること
 - 問題解決のための行動力を身に付けること
 - 一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられること

の6項目です。この目標を実現できるように、5つのプログラムを中心にした教育カリキュラムを提供しています。

◎5つの領域から21世紀を捉える

- 国際学部では
- 国際政治・平和
 - 公共政策・NPO
 - 多文化共生
 - 言語・コミュニケーション
 - 国際ビジネス

と、21世紀を担う人材に求められている国際的・地域的な課題を解決に導くための能力を養う5つのプログラムがあります。

関心のある分野を深く学ぶ、あるいは複数のプログラムにまたがって幅広く学ぶなど、柔軟な学習が可能です。

◎複数プログラムの履修が可能

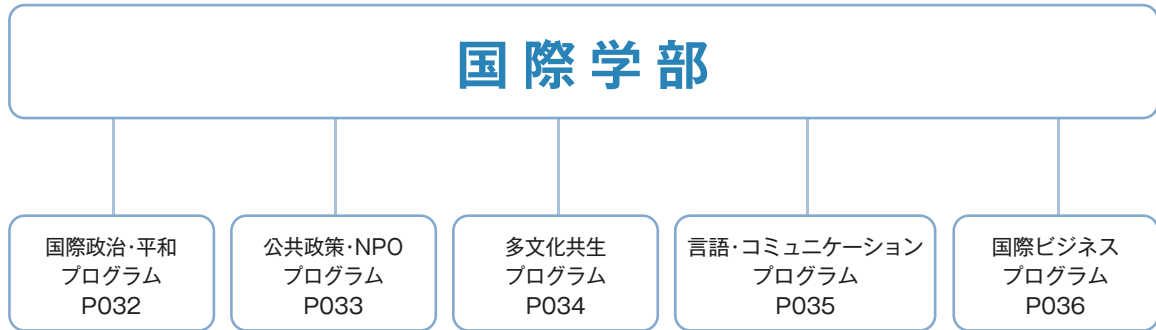
各自の関心や将来の目標に応じて複数のプログラムを履修することが可能です。各プログラムの科目は、互に関連し合っているので、複数のプログラムを組み合わせることで、理解が深まり、より高度な知識の修得が期待されます。また、広く深く学ぶことによって、専門性プラスアルファの視点・考え方を身に付けることができます。

◎プログラム履修の認定

1プログラムにつき、36単位以上を修得することによって、そのプログラムで提供された専門科目を学修したことが認定されます。これを領域認定と呼びます。

国際学部の学生は、複数のプログラムで領域認定を受けることが可能です。

領域認定は、就職時だけでなく国際社会において評価されるものと考えています。



国際学部

●年次チャート

1

2

3

4

●全学共通系科目
●外国語系科目
●資格取得科目

●基礎演習
小グループでの演習が1年次からスタートします。

●国際研究入門
国際研究への興味関心、問題意識を喚起します。

●プログラム入門科目
5つのプログラムの案内をします。

●発展演習
学ぶ力と解決する能力を育みます。

●専門演習
最も関心のある分野に絞り込んで密度の濃い研究を行います。複数の専門演習(ゼミ)を選んで、多面的にテーマに接近することも可能です。

●卒論演習
卒業論文作成、また卒業後に向けて、温もりのあるサポートをします。教員1人が平均2人の学生を指導。

●卒業論文
一人ひとりがテーマを見出し、それを統一的視点によって明らかにします。

●5つのプログラムを核とする専門科目スタート
それぞれの関心や将来設計に応じて、さまざまな専門科目が受講できます。

●国際政治・平和プログラム ●言語・コミュニケーションプログラム
●公共政策・NPOプログラム ●国際ビジネスプログラム
●多文化共生プログラム

国際政治・平和プログラム

地球規模の課題を理解し、その解決方法を探る

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などのさまざまな地球規模の課題があります。これらの課題を理解し、解決方法を見出すための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

こんな科目が受講できます

- 比較政治学
さまざまな国の政治を比較することで、国際政治、ひいては現在の世界の姿が見えてきます。例えば民主主義の概念や憲法の成り立ちは国によって共通点と差異があります。各国の政治をその歴史を踏まえながら比較し、日本の政治についても考察を深めます。
- ヨーロッパ政治論
2015年に急速に増加した難民・移民の受け入れをめぐる、ヨーロッパ各国が揺れ動く一方、2016年6月には英国でEU離脱を問う国民投票が行われました。いま、ヨーロッパでは何が起きているのでしょうか。第二次世界大戦後から現在に至るヨーロッパ政治の現状について考えます。
- 国際人権法
「人権」とは、それなしでは私たちが人間らしく生きることができない、日々の生活に密接に関わる考え方・行動の仕方・社会の制度です。「人間の尊厳」を取り戻そうとする街・広島で、時事的な国内外の人権問題も踏まえつつ、人権保障の仕組みと課題を一緒に考えていきましょう。
- 開発政治論
戦後に独立した多くの国々が、民族対立などによる政治的混乱や低経済成長に悩んでいます。その一方で、同じく多民族国家であるにも関わらず、政治的安定と経済成長を実現している国々が東南アジアには存在します。この講義では、これらの国々の開発政策の特徴を考察します。

こんな人にお勧め

- ◎外交の歴史や他国との関係に興味のある人
- ◎戦争や核兵器をめぐる問題に関心のある人
- ◎内戦の解決や平和の構築を支援する活動に関わってみたい人

ゼミ訪問

古澤ゼミ



古澤ゼミでは、武力紛争に関する基本的な概念から、紛争後社会で行われている「平和構築」という政策について学びながら、国際社会がどのような「平和」を築いているのかについて考えます。国際機関やNGOに勤める実務家と話す機会も設けています。

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

カリキュラムの詳細は

広島市立大学
国際学部
カリキュラム



国際学部



国際学部

公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するために、経済や社会のあり方を知る

望ましい社会を創造するために、人びとの生活の基礎である経済や社会のあり方について学びましょう。市民、NPO(非営利組織)、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい人を歓迎します。

こんな科目が受講できます

- 国際開発論
- 経済政策論
- 非営利組織論
- 国際教育論

国際開発とは、貧しい人たちが豊かな生活を送ることができるように助けることです。しかし、「貧しい／豊かな生活」とはいったいどんなものなのでしょうか？この講義では「貧しさ」をなくすための具体的な方法とともに、目指すべき「豊かさ」とはどんなものなのかを考えていきます。

ある目的のために政策を実施すると、そのことで人びとの行動が予想外に変化し、思わぬ結果を招くかもしれません。例えば自動車がより安全になればドライバーはよりスピードを出すようになって交通事故が増えるかもしれません。このような人びとの行動の変化を織り込んだ経済政策の考え方について学びます。

「非営利組織って何？」「誰がどのように運営しているの？」「本当に役に立っているの？」この講義では、実はよく知られていない非営利組織の成り立ちや運営また社会的影響力などについて考え、環境、福祉、まちづくり、国際協力などの公共政策との関係についても学びます。

OECDによるPISA調査に見られるように、学力競争もグローバル化しています。国際教育論では、グローバルな視点で教育や学校の動向を理解するとともに、世界各地の教育について学びます。そして比較文化的な観点から、持続可能で平和な社会づくりに向けた教育について考えます。

こんな人にお勧め

- ◎ネットワーク社会の仕組みに関心がある人
- ◎市民、NPO、企業、政府の関係に興味がある人
- ◎公共政策の役割を考えてみたい人
- ◎人びととのつながりと社会の機能について関心がある人

ゼミ訪問

山根ゼミ

ゼミ生が興味を持つ「人の考えや行動のパターン」「社会問題」の原因・結果を経済学的視点から洞察し、それを検証するための統計調査・分析のスキルを実践的に学びます。2016年は、生産工場が海外に移ったナビスコ・リッツの品質の変化、ジャンケンの手やテストの選択肢のパターンなどを調査しました。



リッツの重さと枚数を実際に計測するゼミ生

多文化共生プログラム

多様な考え方を持つ人びととの共生について考える

世界は新たな発見に満ちた知のフィールドです。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方を持つ人びと「共に生きる」を合言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と実践の両面から学びましょう。

こんな科目が受講できます

- 共生の哲学
- ジェンダーとセクシュアリティ
- アフリカ研究
- 中国文化論

現代世界では背景を異にする人びとと社会を築くことが避けられなくなっている一方で、異質な人びとを排除しようという動きも見られます。こうした状況を見据えながら、他者との共生という生そのものの基本的な条件を掘り下げ、私たちが他者と共に生きる可能性を探っていきましょう。

「男らしさ」「女らしさ」とはなんなのでしょうか。講義では「男・女」「異性愛・同性愛」などの区分の「あたりまえ」を問い直します。社会と文化においてジェンダーがどのように形成され、どのような差別が組み込まれるのか一緒に考えていきましょう。

皆さんのアフリカのイメージは「野生動物」「飢餓と貧困」でしょうか。こうしたイメージは私たちが遠ざけていきます。そのイメージは私たちの固定観念から生み出されています。同じ時代と世界に生きるアフリカの人びとの生活を共に感じていきましょう。

日本ではあまり知られていない文化の紹介(誤解の是正)に重きを置いています。焼き餃子は「王道」の餃子なのか、チャイナドレスは本当に中国の民族衣装なのかなどを取り上げ、最新の研究成果と共に中国語文化理解への入り口となるような内容を毎年心がけています。

こんな人にお勧め

- ◎異文化体験に興味ある人
- ◎好奇心旺盛で、自分とは異なるものに魅かれる人
- ◎現代日本とは異なる世界観を学びたい人
- ◎人間とは何か根本から考えてみたい人

ゼミ訪問

井上ゼミ(メディア論)



テレビや新聞などマスメディアの問題点や影響、そしてSNSによる社会の変化まで、「激動するメディアの世界」を研究します。毎年、ゼミプロジェクトに取り組み、研究成果を大学祭で発表しています。また、大学を飛び出してテレビ局、新聞社、出版社で研修、そして学年をまたいだ活動を行うなど、「濃いゼミ」です。



国際学部



国際学部

言語・コミュニケーションプログラム

コミュニケーションに関わる諸問題を学ぶとともに、外国語の実践能力を高める

人の社会的営みの基本中の基本は言語によるコミュニケーションです。言語(外国語・日本語)や海外の文学・文化についての知見を深め、それらに生じるさまざまなコミュニケーションの問題について考えてみましょう。さらに、外国語の実践能力を高めていきましょう。

こんな科目が受講できます

●フランスの文学と文化

Le cours consiste en la lecture et l'explication de romans français du 18ème siècle. Cette étude de différents romans, un genre qui à l'époque était encore au berceau, permet de comprendre la diversité et le charme de la littérature française.

この授業では18世紀のフランス小説を講読し、その解説を行います。小説がジャンルとしてまだ揺籃期にある時代に創作された実験的な小説作品に触れることで、フランス文学の多様性と魅力を理解していきます。

●比較言語論

授業主要目的は让学生了解和思考日语的历史及与汉语的关系。从语言学视角,通过日语和汉语的对比去探寻两国词汇中所蕴藏着的文化要素和特点,诠释语言背后的文化功能及文化与语言的相互关系。日本語の生い立ち、日本語の面白さを知ってもらうことを主眼とします。さらに、言語文化学的な見地に立って、中国語と日本語との比較を通して両言語の語彙に見える文化的、象徴的意味を探り、言葉の背後にある文化的作用および文化と言葉の関係を考えます。

●English and American Literature

These courses deepen students' understanding of English and American Literature. In each lesson, students use English actively to share their ideas about assigned readings. In addition to studying poetry and short stories, we read two novels over the course of the year. All texts have a common theme, such as coming of age, that highlights literature's relevance to actual life.

●通訳技法論

この授業では、日本語から英語、英語から日本語に「通訳する(訳す)」という行為を通じ、日本語と英語の間にはどのような表現の違いや発想の違いがあるのかを考えます。また、クイックレスポンスやシャドーイングなどの通訳訓練法を活用しながら、英語力の向上も目指します。

こんな人にお薦め

- ◎外国語の学習や使用に関心のある人
- ◎海外の文学作品や文化に関心のある人
- ◎外国語や日本語によるコミュニケーションに関心のある人
- ◎英語教員や日本語教員などをを目指す人

ゼミ訪問

カーソンゼミ



In this seminar, we discuss and research how culture affects human thinking, communication and behaviour. This gives the students a chance to learn more about their own culture and cultures around the world - what is similar, what is different, and why. The seminar is in English, so it is also a chance to use and improve English language skills.

国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題を学際的に思考する

将来就職をする人にも、起業したい人にも、ビジネスに関する知識は欠かせないものです。気付かなくても国際社会の中にいる今日、国際的視点でのビジネスの理解は、皆さんの将来をより明るいものにしましょう。

こんな科目が受講できます

●国際金融論

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額マネーが国境を越え、ネットワークを通じて取引されています。円とドル、ユーロなど通貨交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引のリスク、またそのリスクの回避方法など、具体例を挙げながら一緒に考えていきます。

●多国籍企業論

私たちが身近に接している多くの企業は、外国にも生産・サービス拠点を置いて企業活動を行っています。各国の文化・政治・経済環境などの影響を踏まえながら、この多国籍企業が国際展開する理由、異なる商慣習・宗教への対応、複数国での社会貢献などについて考えてみましょう。

●マーケティング論

マーケティングは、売り込みを志向する販売とは異なり、顧客のニーズを探索し、ニーズに適合した製品を提供する仕組み、すなわち「売れる仕組み」を考える学問です。この「売れる仕組み」をつくるために必要とされるマーケティングの基本概念や戦略について一緒に考えましょう。

●国際経営論

異なる文化や政治、経済、地理的な環境からもたらされ得る不利益にも関わらず、国境を越え、ビジネスを展開する企業は増え続けています。本科目ではなぜ企業経営に国際化が図られているのかについて探究するとともに、身近な日本企業の海外進出のケースについて学びます。

こんな人にお薦め

- ◎企業や組織の経営に興味がある人
- ◎お金の流れに興味がある人
- ◎組織や人を見る目を養いたい人
- ◎調べるのが好きな人

ゼミ訪問

城多ゼミ



城多ゼミでは、企業やさまざまな組織において欠かせない財務管理について学びます。前期は主に基礎的な内容、後期は実務で行われている事例について、文献を中心に学びます。そして幅広いトピックについて、自分の関心を基にみんなで議論します。また勉強だけでなく、ゼミでパーティーなど、オンもオフも楽しく活動しています。(3年生 Y. K)

国際理解・少人数教育の重視

国際理解

海外学術交流協定大学との国際交流に加え、国際学部ではより多様な取り組みを通じて、国際理解を深めています。例えば、世界中から募った学生と一緒に平和について学び交流を行う「HIROSHIMA and PEACE」（詳細は下記）、ドミニカ共和国にある広島東洋カープの野球学校での企業インターンシップ（42ページに詳細）、研究室での海外へのスタディーツアーなど、さまざまな機会を提供しています。また、国際学部では、1年次前期の必修科目である「国際研究入

門]をはじめとして、カリキュラムの履修を通じて、多くの国々や地域の言語、文化、政治、経済、ビジネスを学ぶことにより、国際理解を深められるよう工夫しています。さらに、国際学部の全教員に占める外国人教員、海外の大学院で学位を取得した日本人教員の割合がとても高く、国際学会、国際調査、国際プロジェクト等への参加経験が豊富な教授陣による指導と、そのネットワークを活用した海外研究者による学内での講演などを通じ、国際的な取り組みに触れることができます。

少人数教育の重視

1学年100名の定員に対し、40名以上の教員を擁する国際学部では、少人数教育を重視しています。大学では、高校までとは違い、「明白な正解」が必ずしもない中で、学修と研究を進めていくことが必要です。それを可能とするための基本的なトレーニングを行うのが、必修科目として開設されている「基礎演習 I・II」と「発展演習 I・II」です。1クラス10名程度で、1年次、2年次の2年間にわたり、読解力、分析力、記述力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、調査能

力を高めるための演習指導を受けることができます。3年次では「専門演習 I・II」（いわゆる「ゼミ」）、4年次では「卒論演習 I・II」が必修となっており、研究室に所属して教員から指導を受け、各自の専門領域に関する学修と研究を行います。40名以上の教員の中から、自身の関心に応じて専門演習、卒論演習を履修することができ、両演習とも教員1名と数名の学生で構成されることがほとんどです。さらに、複数の専門演習を選択でき、興味や関心に応じて、少人数で深く学ぶことが可能です。

Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

多様な国の学生と英語で「ヒロシマ」「平和」を学び、語り合う



幅広い専門分野からの体系的学び

世界中から学生が集い、「ヒロシマ」と「平和」を学び語り合う講座が国際学部にあります。それが2003年に始まった夏期集中講座HIROSHIMA and PEACE（以下H&P）です。非核と平和について基礎から最新の研究成果まで、国際政治学、歴史学、文学、環境学、メディア研究、社会学といった幅広い

専門分野から学びます。また、被爆証言を聞き、8月6日の平和記念式典に参列し、被爆地広島ならではの体験を海外からの参加者と共有し、学びを深めていきます。この講座はすべて英語で行われます。



留学でも得がたい「H&Pの国際体験」

2003年から2016年までの受講生の国籍（日本を除く）は計49カ国で、毎年10カ国以上の学生が参加しています。また、ウエルカム・パーティーに始まり、バーベキューや花火といった学生主催のイベントも企画され、参加者の交流は深まります。プログラム終了後も交流は続き、過去の受講生はロンドンで開かれた反核集会で「同窓会」を開きました。広島での学び、語り合い、平和の意識を共有することは、海外研修や留学でも得ることができない貴重な国際体験となることでしょう。



H&P本番に向けた英語討論能力の強化 Preliminary English Training (PET) Program

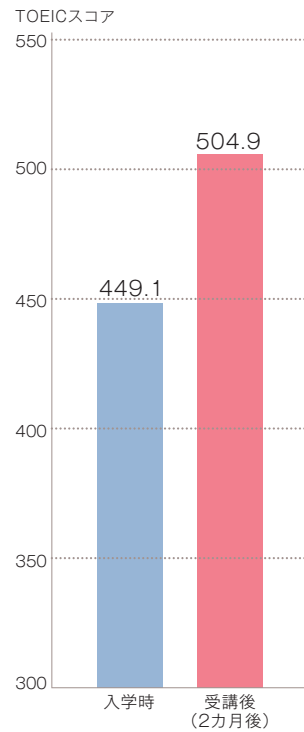
H&Pの国際学部受講生は、H&P本番前に約3カ月間の事前英語研修（PET）プログラムを受講します。このプログラムは、広島や原爆、平和問題について基本的語彙を学び、英語の討論能力、表現力、そして発信力を高めます。また、期間中に終日英語漬けの研修（English Only Day）を実施し、H&Pへの参加意欲と参加者の連帯意識を高め、本番に向けての確実なスキルアップにつなげます。

実践的な英語力を鍛える

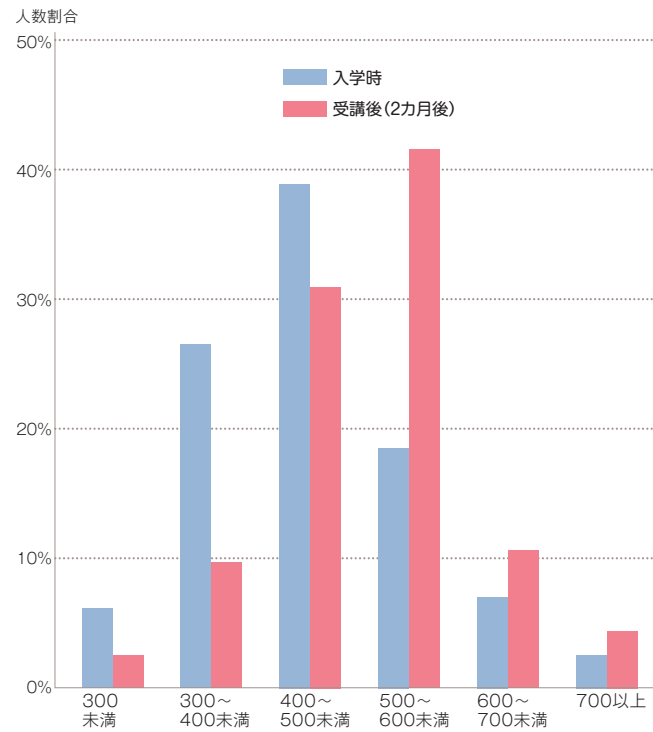
語学センターや自宅のコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法、語彙を集中的に訓練するeラーニングによる授業です。週1回の一斉授業の形態を取らず、指定された期間中、各自の都合のよい時間に自分のペースで学習を行います。教材は4つのレベルに分かれており、各自の英語力に適した教材が配信されます。学習期間の開始前と終了後にTOEIC® Listening & Reading IPテストを受験し、英語力および学習効果を客観的に測定します。グローバル化する社会で活躍するために必要な英語基礎力を確実に高めていきます。下のグラフは、2016年に「CALL英語集中」を受講した国際学部1年生のTOEIC IPスコア平均の推移とスコア帯別人数割合

の分布を示したものです。入学時に比べ、受講後のスコアは55.8点アップし、504.9点になっています。スコア帯別人数割合の分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が底上げされていることが分かります。TOEICを運営する国際ビジネスコミュニケーション協会発行の『TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2016』によると、全国の大学1年生のTOEIC IPスコア平均は427点ですが、本学国際学部1年生のスコアは入学時点ですでに大学1年生の全国平均を上回っています。また、大学4年生の全国平均は502点ですが、国際学部1年生は前期終了の時点でそれを上回る学習成果を上げています。

TOEICスコア平均の推移



スコア帯別人数割合の分布



英語の受容技能を訓練する「CALL英語集中」と発表技能を鍛える「英語応用演習」

eラーニングを利用した「CALL英語集中」により、リーディングとリスニングを中心とした英語の受容技能を訓練するとともに、1クラス10名前後という、大学共通教育としては異例の少人数授業「英語応用演習」で、発表技能であるスピーキングとラ

イティングの指導を受けます。「英語応用演習」は能力別クラス編成がなされ、各レベルに適したテキストを使用して指導が行われます。

中国内外に注目され始めた少数派「客家」を巡る近現代の分析と追究

中国近代史 華僑論
准教授 飯島 典子

華僑の中でも、とりわけ少数派であり、そのアイデンティティを地域ではなく「よそ者」という概念に求める客家(はっか)という集団を研究しています。中国革命の英雄に客家が多い、優秀な集団であるという賛辞もある一方、排他的だという批判もあり、まさに俗説と毀誉褒貶が混在、その実態はよく分かっていませんでした。しかし1990年以降、彼らは独特な文化を持つ集団として中国内外の注目を集め始めています。彼らはいつ頃から「客家」と名乗るようになったのか、なぜ今だに蔑視がありながらも近年客家であることをカミングアウトする人びとが多いのか、現在中国政府はどのように彼らの文化を保護、宣伝しているのかなど、多くの疑問があります。こうした彼(女)らを巡る近現代の動きおよび現状を、客観的に把握、分析して華僑研究に貢献しつつ、「蔑視される概念集団」という視点からも彼らの動向を捉え、一つの集団に対する蔑視と賞賛がどのように起こるのかも追究することを目標としています。



「マサイの戦士」のこれから
現代アフリカにおける開発援助と社会変容

環境社会学 国際開発論 アフリカ地域研究
講師 目黒 紀夫

東アフリカに位置するケニアのサバンナで、マサイの人たちの家に泊ってもらいながら調査をしています。最近の関心事は「マサイの戦士」のこれから。インターネットで検索すると、赤い布を体に巻き、槍を持ちたり跳びはねたりしているマサイの戦士の画像がいくつも見つかります。彼らは21世紀の今でも「伝統的」な暮らしをしているようです。しかし実際には、多くのマサイの戦士は学校に通っているし、腕時計や洋服を身に着け、ケータイやスマホを持ち歩き、メールやSNSを毎日使っています。そんな「現代的」なマサイの戦士も、外国人観光客や国際援助機関の前では、わざと「伝統的」なフリをします。なぜなら、そうした方がよそ者は喜び、いろいろな援助をしてくれるからです。アフリカは「伝統的」だと思い込み援助をする人たちと、「現代的」な生活を希求するアフリカの人たち。果たして国際的な開発援助はアフリカで「発展」を実現しているのか？そもそもアフリカの人たちが求める「発展」とはどんなものなのか？人びとの意見はさまざまだし、その意見も時間とともに変わっていきませんが、それを追い続ける中で「援助」や「発展」、「貧しさ」や「豊かさ」の意味を考えています。



ハワイ大学マノア校
英語・文化研修

学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校での研修は、ホームステイでハワイの生活にとけこみ、英語とハワイの歴史・文化を学びます。午前中は英語集中授業を受けます。ハワイ大学の学生が会話の練習相手もします。午後は歴史・文化に焦点を当てフィールドスタディーで真珠湾アリゾナ記念館や博物館を訪問し、ハワイの歴史と文化に触れます。



モスクワ大学
ロシア語・文化研修

ヨーロッパ最大の都市へ渡り、世界各国から集まった学生と一緒に寮で生活しながら、ロシア最古の大学であるモスクワ大学においてロシア語・ロシア文化と歴史を学びます。午前中はロシア語の集中講義を受けて、午後は赤の広場や宇宙開発博物館など、世界一流の美術館や博物館を訪れ、さまざまな体験を通じて、異文化への理解を深めます。

オルレアン大学
フランス語・文化研修

協定校であるフランス・オルレアン大学で、フランス語・フランス文化の集中講義を4週間にわたって受講します。ホームステイをしながら一般のフランス人の日常に接し、異文化を体験します。オルレアン市内見学、ロワール古城やモンサンミッシェルへのフィールド・トリップもあり、フランスの歴史、文化、言語を総合的に学べるプログラムです。



広島東洋カーブ
企業インターンシップ
(ドミニカ共和国)

国際学部はカーブアカデミーでの企業インターンシップ(半年ごとに1名:事前研修1カ月、現地研修5カ月)に参加できます。カーブアカデミーは、広島東洋カーブがドミニカ共和国に設置した野球学校です。ドミニカ研修では、スペイン語を活用しながらアカデミーの業務を補佐し、現地で自分の「知りたい」ことを積極的に探究していきます。





国際学部 国際学科 4年
幸山 佳樹
佐賀県立佐賀北高等学校出身

野球が好き。海外で活動してみたい。そんな僕にはぴったりのインターンシップ。

3年生のとき、広島東洋カープ・ドミニカカープアカデミーでの企業インターンシップに参加しました。ドミニカでは現地の選手に日本語を指導したり、プロ野球球団の職員にヒアリングし経営調査を行ったりするなどして5カ月間を過ごしました。スペイン語は大学の授業の他に個人的にも学んでいましたが、ドミニカで話されるスペイン語には独特なクセがありとても苦労しました。現地の人と積極的に交流を続けた結果、2カ月ほどで次第に耳が慣れ

ムズにコミュニケーションができるようになりました。帰国後、そのとき知り合った現地の方の勧めもあり、大学を4カ月間休学しドミニカを再訪。朝は語学学校に通い、夕方からは球場でプロ野球選手にインタビューを行いながら語学力を磨いていきました。自分が話すスペイン語が通じるという体験は大きな自信になっています。日本以外の世界を経験することは自分の視野を広げてくれます。留学することで新しい自分との出会いを楽しんでください。



国際学部 国際学科 4年
小川 美由紀
広島県立高陽高等学校出身

ここでしかできないことがやりたい。フランス留学で得た大切な力。

3年次の前期を使いフランスのオルレアン大学に半年間留学しました。オルレアン大学では1~2週間程度の休みが頻繁にあるのですが、「座学は日本でもできる。ここでしかできないことがやりたい」と、休みには旅行や学生の交流会に積極的に参加。交流会でみんなに「お好み焼き」を振舞ったときに「おいしい」と喜んでもらえたことが特に印象に残っています。大学のカリキュラムが4カ月間で終了するため、残りの2カ月間は、家の手伝いなどをす

る代わりに食事と宿を提供してもらった「Workaway」というサービスを利用。フランスの家庭に住まわせてもらい、ベビーシッターやドアの修繕などをしながらさらに語学力を磨いていきました。それまでは寮で自炊をしていたので、フランスの家庭料理を堪能することができ密度の濃い経験ができました。日本が恋しくなったりもしましたが、フランスで頑張った体験は私の人生を支えてくれる大切な力になったと感じています。



国際学部 国際学科 3年
Jhang Moonsun
韓国出身

留学生サポートなどの活動を通して、日韓交流の輪を広げていく。

韓国の服飾系の大学に入学しましたが、日本の言語・文化・政治・企業経営などについて関心を持ち、留学を決意しました。広島市立大学の国際学部のプログラムはとても幅広く多彩な知識を得ることができると実感しています。現在は、広島韓国教育院での業務に携わりながら大学での学びを深めています。広島韓国教育院は、韓国の大学へ進学を希望する日本人学生を支援するなど、主に教育に関するサポートを行っています。毎年11月に開催さ

れる「日韓広島スピーチ大会」では運営を行い、楽しみながら日韓交流の輪を広げています。また、韓国人留学生の支援を目的とした広島県韓国人留学生会では、広島市立大学の留学生代表を務め、日本での暮らしのサポートやイベント企画などを行っています。将来は企業の広報部門に就職することを希望していますが、その目標を達成するために現在の活動を生かすことができるよう、しっかり考えながら進んでいきます。

国際学部 国際学科 2年
水野 椋太
愛知県立春日井高等学校出身

学生と教員との距離の近さにびっくり。学びに対する意識が変わった。

高校卒業後、地元の大学で法学を学んでいましたが、規模の大きな大学であったためか、学生と教員の間で距離を感じていました。また、周りの学生に対しても学びに対する意識の差を感じるようになり、大学の再受験を決意しました。広島市立大学の「ライブキャンパス」で授業に参加した際には、学生と教員との距離の近さに驚くと同時に、学びの内容も興味深く、非常に印象に残っています。入学後は、自分の疑問や興味について、親身に話をして

もらえる教員に出会い、大学での学びに対する意識が大きく変わりました。今はライブラリー・アシスタントとして大学の図書館でカウンター業務に携わり、いろいろな本に囲まれて知識を増やしています。今後は自分の視野をさらに広げるため、留学プログラムに参加し未知の世界を訪れたいと考えています。大学は入ってからが大切。「自分が学びたいことは何か」「どこを目指して学んでいくのか」をしっかり意識してください。



情報科学部

Information Sciences



情報科学部

Information Sciences



情報科学で未来を切り開こう

情報科学部長 角田 良明

広島市立大学は広島市の西風新都に誕生し、23年が経過しています。情報科学部は情報科学の幅広い分野の多数の教授陣をそろえ、中国・四国地域を代表する情報科学の学び舎として知られています。世界で生活するヒトだけでなく、自動車などのモノもネットワークで即座に結ばれる時代になり、情報の重要性はますます大きくなっています。情報は世界の政治・経済・文化に多大な影響を及ぼす時代なので、グローバルな視点で情報を捉え、世界や地域で発生している課題の本質を理解し、それを解決する技能や資質などが必要になっています。

情報科学部では、情報科学の基礎的な科目からグローバル社会で活躍するための実用的な科目まで学べる学習環境を提供しています。これらの科目を自主的かつ積極的に修得することにより、知識や技能だけでなく、思考力や判断力、主体性や協働性などの将来、実社会で役に立つ能力や資質も身に付けることができます。西風新都の風光明媚な自然環境の中で、時代の最先端を走る情報科学を学び、未来を切り開くリーダーになることを目指しましょう。

高度情報化社会を支える「情報通信技術」の分野をリードする能力を養う

求める人物像

1

情報科学に興味があり、
情報科学をより深く学びたいと考えている人

2

情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な人

3

困難な問題に挑戦し、
解決しようとする意欲と熱意を持つ人

教育方針

◎学生が興味関心、適性に基づいて 専門分野を選択できる仕組みの提供

入学後、情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを提供します。

◎情報科学に必要な基礎学力の育成

情報科学を専門的に学ぶ上で基礎となる数学、プログラミング、英語などの学力を十分身に付けます。

◎情報通信技術を活用できる技能の養成

先端的な情報通信技術(ICT)を知的生産の道具として活用できる能力を身に付けます。

◎専門分野に関する体系的な知識の修得

教育内容を厳選、体系化した上で、効果的な専門教育を行います。これにより、専門分野に関する体系的な知識を修得します。

◎体験的・総合的学習を重視した教育プログラムの実施

21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、実習、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した教育プログラムを実施します。

◎知識や学力の多様化した学生への効果的な教育の実施

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育を実施します。少人数教育を推進するとともに、習熟度別クラス編成、グループ学習などを導入します。

「情報科学の分野で

自分の適性を見つけ

十分な学力や技術力を身に付けて

科学技術の進歩に貢献することを

目指す気概がある人」の入学を

期待しています。

高度情報化社会を支える

「情報通信技術」(ICT)に関する

研究開発を担う研究者および

専門技術者を養成するため

右の教育目標を定めています。

情報科学部



情報工学科

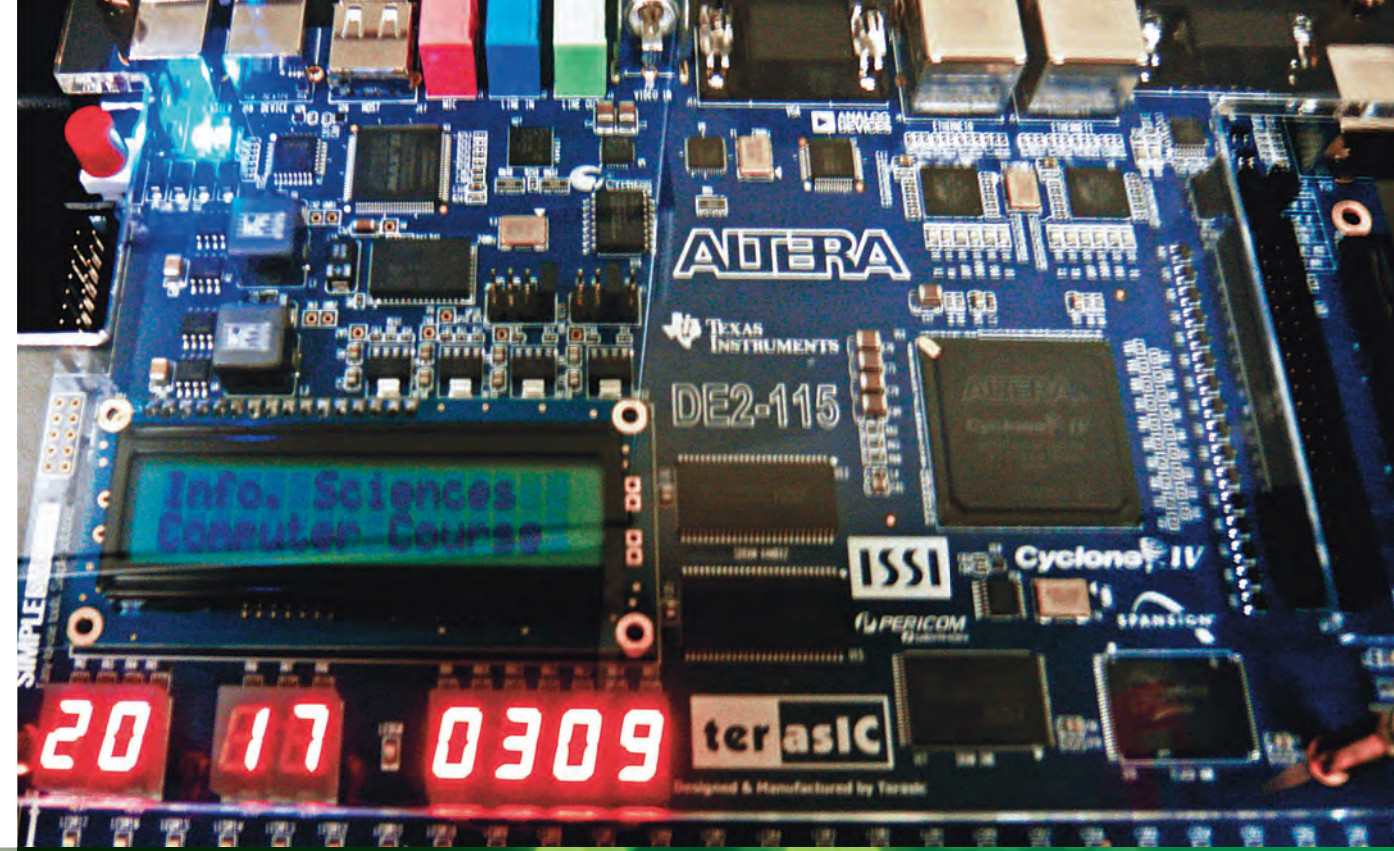
コンピュータコース
P052

ネットワークコース
P053

コミュニケーション基盤コース
P054

さまざまな情報通信システムの基本となるハードウェア(回路など)とソフトウェア(プログラムなど)の仕組みや作り方を勉強します。

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に勉強します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術や新しいコミュニケーション技術を開発したり、効率的に使用したりできる人になります。



情報科学部 情報工学科

●年次チャート



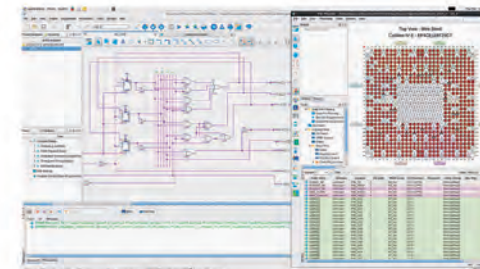
※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

コンピュータコース

「ナカミ」を学ぶ

ハードウェアとソフトウェアの基礎を学び、めまぐるしく変化する情報化社会の中で即戦力として活躍するための勉強をします。

コンピュータはハードウェアと呼ばれるものとソフトウェアと呼ばれるものから作られています。ハードウェアとはコンピュータを構成する回路などを指します。このハードウェアが高速に動作することで人が計算すると何年もかかってしまう計算を一瞬で計算することができます。一方、ソフトウェアはハードウェアに対して指示を与える指令書です。このソフトウェアが賢くなることで、高い計算能力を持つハードウェアを効率的に使うことができます。これらのハードウェアとソフトウェアの両方がそろって、現在のような高度な情報化社会が実現できています。コンピュータコースではコンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについて深く勉強します。

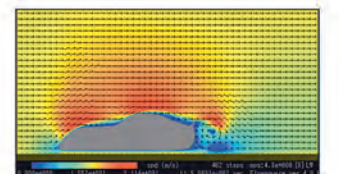


パスワード照合回路をツールを用いて設計している様子

研究紹介

エンジン動作を速く 正確にシミュレート

自動車やそのエンジンの開発では、今日では主にコンピュータ・シミュレーションが行われます。昔は実際に自動車を試作してテストすることで、改良を繰り返していたのですが、その場合よりずっと費用を抑えて短期間でできるからです。しかしながら、そのためのシミュレーションは、たとえコンピュータであっても、上手にやらないと時間がかかったり多くの誤差が生じたりします。例えば、1秒間のエンジンの動作を一般的なパソコンでシミュレーションすると、2000秒以上かかることがあります。私たちの研究では、その1秒間の様子を10秒以下でシミュレーションするためのハードウェアとソフトウェアの研究をしています。



自動車の周りの空気の流れをシミュレーションしている様子

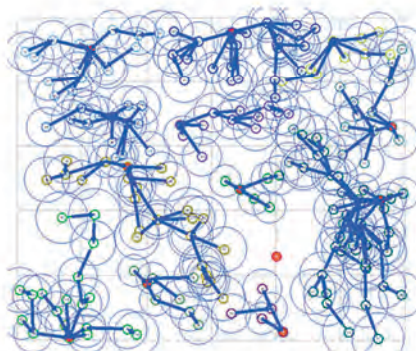


ネットワークコース

「つなぐ」を学ぶ

コンピュータ同士をつなぐ技術について学び、ユビキタスネットワークなど、最新のネットワークに対応するための勉強をします。

現在のコンピュータは単独で使われることはほとんどなく、ネットワークを通じてお互いつながっています。例えば、自動車の中には数百個以上のコンピュータが搭載されていますが、それらはネットワークを通じて接続されていて、お互い必要な情報を交換することで自動車の運転を快適にしています。このコンピュータをつなぐ技術は元々は線と線を直接つなぐ有線方式が主流でしたが、現在では電波を使っ



スマートフォンや車など移動するコンピュータ間のネットワーク接続が変化する様子を可視化

研究紹介

ネットワークにつながる自動車の安全を確保

自動車に関する研究としては自動運転が有名ですが、自動運転は、エンジンや前方の様子などの情報を取得するセンサーが車内のネットワークを通じて集められることで実現されています。このように、いろいろなモノがネットワークにつながることで便利になる反面、遠隔からネットワークを経由して自動運転の車が乗っ取られるようなリスクも増えてきます。そこでネットワーク通信の暗号化や信頼できる情報のみ取得する認証の仕組みを確立することで、安全・安心な社会の実現に向けて研究や実験を行っています。



GPSアンテナ 携帯電話ネットワークにつながるアンテナ
車内ネットワークの様子を表示
車内ネットワークと外部との通信車内ネットワークの実験環境

コミュニケーション基盤コース

「伝える」を学ぶ

価値の高い情報を効率的に伝える技術について学び、さまざまなモノがつながる情報化社会に対応するための勉強をします。

インターネットの登場によって「コミュニケーションの高度化」が始まりました。例えば、それまでは人と人が文章でやり取りするには手紙を送る必要がありましたが、インターネットによってメールという形で一瞬で文章を送れるようになりました。現在でも、このコミュニケーションの高度化は進んでおり、現在のインターネットにはコンピュータだけでなく、センサーや冷蔵庫など、ありとあらゆるモノがインターネットでつながれた社会になっています。このような社会では「何を」伝えるのが大事になります。コミュニケーション基盤コースでは、ネットワークを通じて伝える技術について深く勉強します。



ネットワークを介して、遠隔会議をしている様子

研究紹介

移動中でも動画をスムーズに再生

人のつながりのみならず、身の回りのすべてのものがつながるのが前提のインターネット。インターネットでは情報を小さな単位(パケット)に分割して送るのですが、家、移動中、学校や職場など使うネットワークが変わるとそのたびにパケットが少しずつ消失し、通信が切れてしまいます。つまり、移動中に動画を再生していると、動画の再生が止まったりしてしまいます。そこで、使うネットワークが変化しても一瞬たりともつながりが切れず、快適・安全に通信する方法を研究しています。



どこでもつながるネットワーク

知能工学科

知能ソフトウェアコース
P056

知能メディアコース
P057

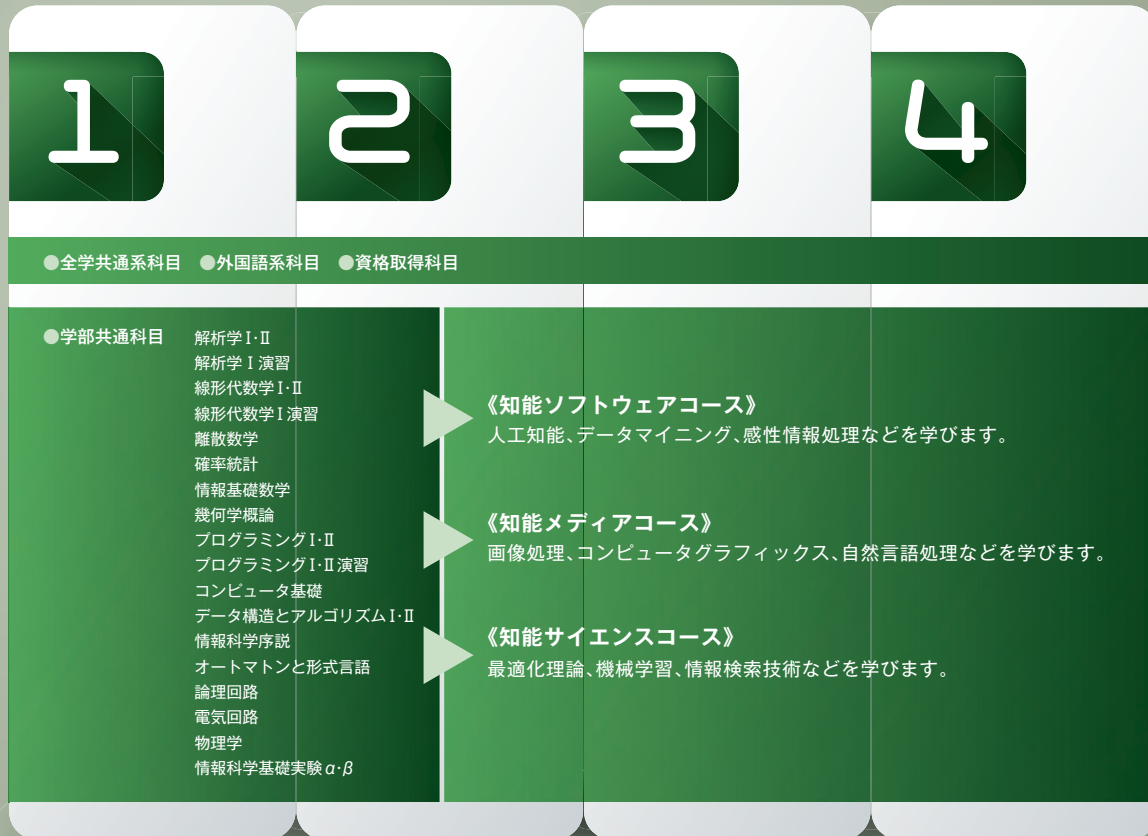
知能サイエンスコース
P058

人と人、人と機械のコミュニケーションを円滑にしたり、創造的活動の手助けをしたりするための、人工知能などの知的なシステムの仕組みについて学びます。

知能工学科では、人が目で見たり話したり言葉を理解するのと同じようにコンピュータに五感を備えるための音声・画像認識技術や、囲碁や将棋の棋士のように高度な思考ができる人工知能技術、膨大なデータから法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術などの基礎を学ぶことができます。



●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

知能ソフトウェアコース

知能をつくる

知能ソフトウェアコースでは、コンピュータを鍛えて
どんどん賢くするための機械学習や、私たちの勉強やトレーニングを
楽しく効果的なものにするための学習工学などについて学ぶことができます。

人間の知的能力をコンピュータで実現するため、人間の脳に対応する知識・思考・学習などに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。例えば、インターネットで買い物をする時他のオススメ商品を紹介してくれるようなシステムでは、上手に推薦するために、過去の膨大な販売履歴から法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術が用いられています。このように社会の中の非常に多くのデータから重要な知識や規則を抽出する、問題解決のためのさまざまな解決方法の中から効率的に適切な解を見つけ出す、コンピュータ自身が自分で問題解決のための知識を獲得する、人間の持っている感覚や経験をコンピュータで実現して社会に役立つ有用な規則を発見することなどを対象としています。そのため、これらの知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学びます。

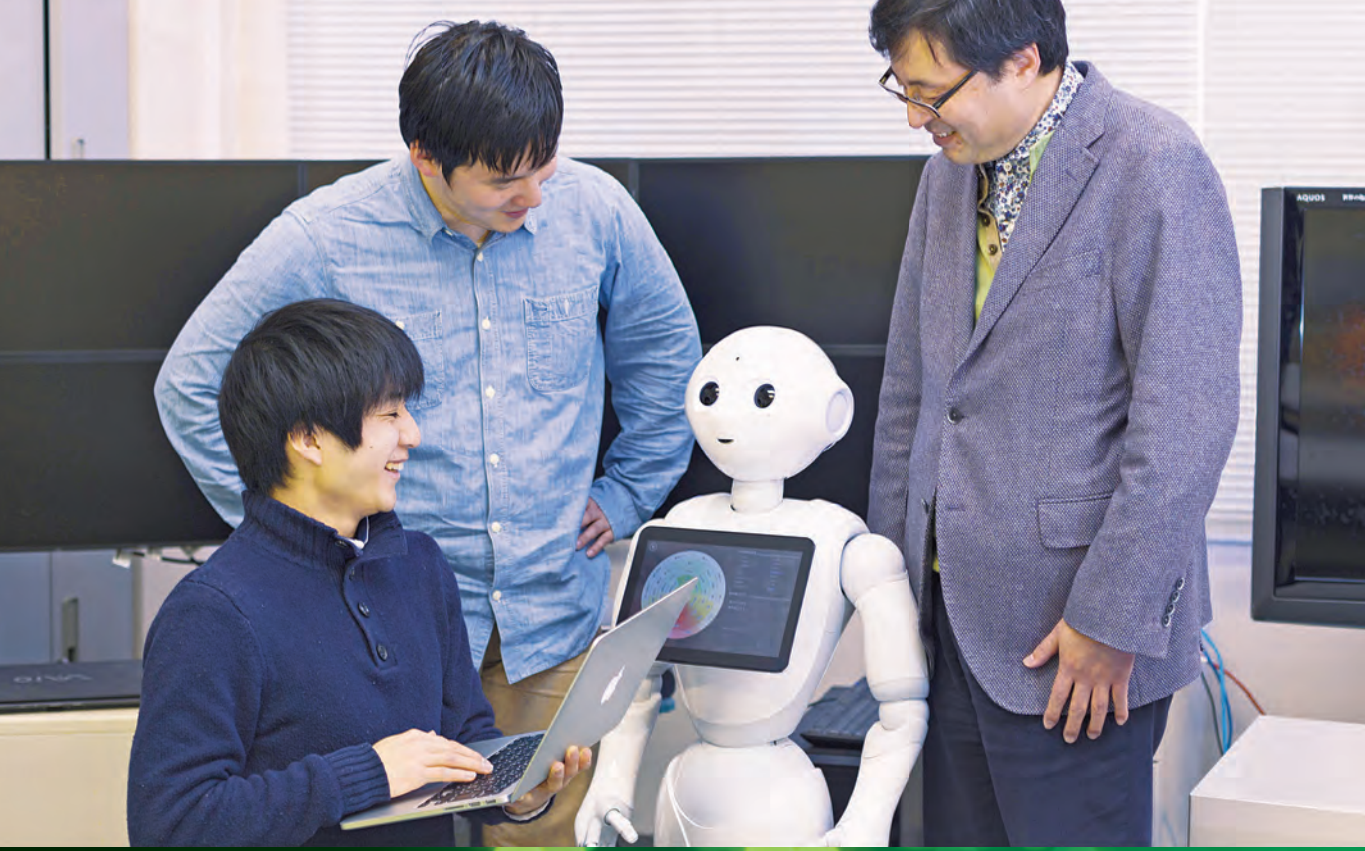
研究紹介

VR/AR技術を用いた
先進的な学習支援システム



VRやARの技術を活用して仮想空間の中で能動的に学習活動が行えるシステム開発を研究しています。学習者がいつでもどこでも楽しく安全に化学の実験をしたり、その他の科目のスキル学習を自発的、能動的に行えたりできることを目指しています。





知能メディアコース

コンピュータに「五感」を

知能メディアコースでは、画像や話し言葉・書き言葉の認識・理解技術のほか、リアルで魅力的な映像を自由に作り出すコンピュータグラフィックス技術について学ぶことができます。

前の車にぶつかりそうになったら自動的にブレーキをかけてくれる自動車が増え、いよいよ自動運転車の実現も近づいています。これには私たちの代わりに歩行者や周りの車をしっかり見てくれる「機械の目」が必要です。

人間の知的能力の中でも人間の目や耳などに対応する人間の感覚や知覚、人間とコンピュータ間のコミュニケーションなどに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。具体的には、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理を中心とします。例えば、画像や映像から物体を抽出・計測する、実際の映像と違和感のない人工的な映像を作り出す、人間とコンピュータが自然な言語で会話することなどを対象としています。そのため、これらのメディア情報処理技術に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、自然言語処理などを学びます。

研究紹介

CGで世界を豊かにする技術、AR(拡張現実感)

原爆ドームにスマートフォンのカメラを向けると、画面の中に被爆前の建物がCG(コンピュータグラフィックス)により浮かび上がるアプリを開発しています。このように、CGを用いて現実世界を豊かにする技術をAR(拡張現実感)といいます。昔の建物が本当にその場によみがえったように見せるには、高精細な映像を作り出すCG技術が必要になります。さらに、カメラの向きが変化しても現在の原爆ドームとCGがずれないようにするために、カメラに写った画像を高速に処理し、画像の中のドームの位置を求める画像認識技術が用いられます。



知能サイエンスコース

コンピュータの賢さを支える

知能サイエンスコースでは、ぴったり同じでなくとも似たものを見つけ出すパターン認識技術、動物の群れから発想された計算法、さらにその基礎となる統計学や微分方程式などの数学を学ぶことができます。

コンピュータは正確に計算するのは得意ですが、あいまいな判断や動物のように動的に変化する行動は不得意だと思いませんか?このような人間の知的能力を理解し実現するために必要となる数理モデル、解析モデル、アルゴリズムなどに着目した知能情報処理に関する基礎技術の教育研究を行っています。例えば、アリは個々は単純でも集団になると高度な仕事ができます。このような動物の群れから発想された計算法や生物進化のモデルを理解し知能情報システムの機能や性能を最適化するために応用すること、データを解析し有用な知識を抽出するためのアルゴリズムを考案すること、読解しにくい暗号化や効率の高い符号化のための数学的な基礎を学び安全で効率的な通信に応用すること、渡り鳥の影響と病原体の進化を考慮した感染症のシミュレーションモデルを構築して感染予防のために利用することなどを対象としています。そのため、これらの知能情報処理に必要な数理モデル化、最適化アルゴリズム、統計的情報処理、確率的情報処理、シミュレーションなどを学びます。

研究紹介

自分の好みが発見できる「対話型進化計算」

人には好みがあり、好きな絵、音楽、配色などは人それぞれです。コンピュータと対話しながら自分の好みに合うものを探るのが「対話型進化計算」です。例えば、スーツ・シャツ・ズボンの好みのカラーコーディネートを決定できます。まずコンピュータが複数の候補を表示します。人はそれらを評価し好みをコンピュータに伝えます。コンピュータは生物進化のメカニズムにより評価が良いものを組み合わせる新しいコーディネートを生成し表示します。人とコンピュータが協力し、評価と進化を繰り返すことにより好みのものを見つけます。



システム工学科

人間・ロボット共生コース
P060

インタフェースデザインコース
P061

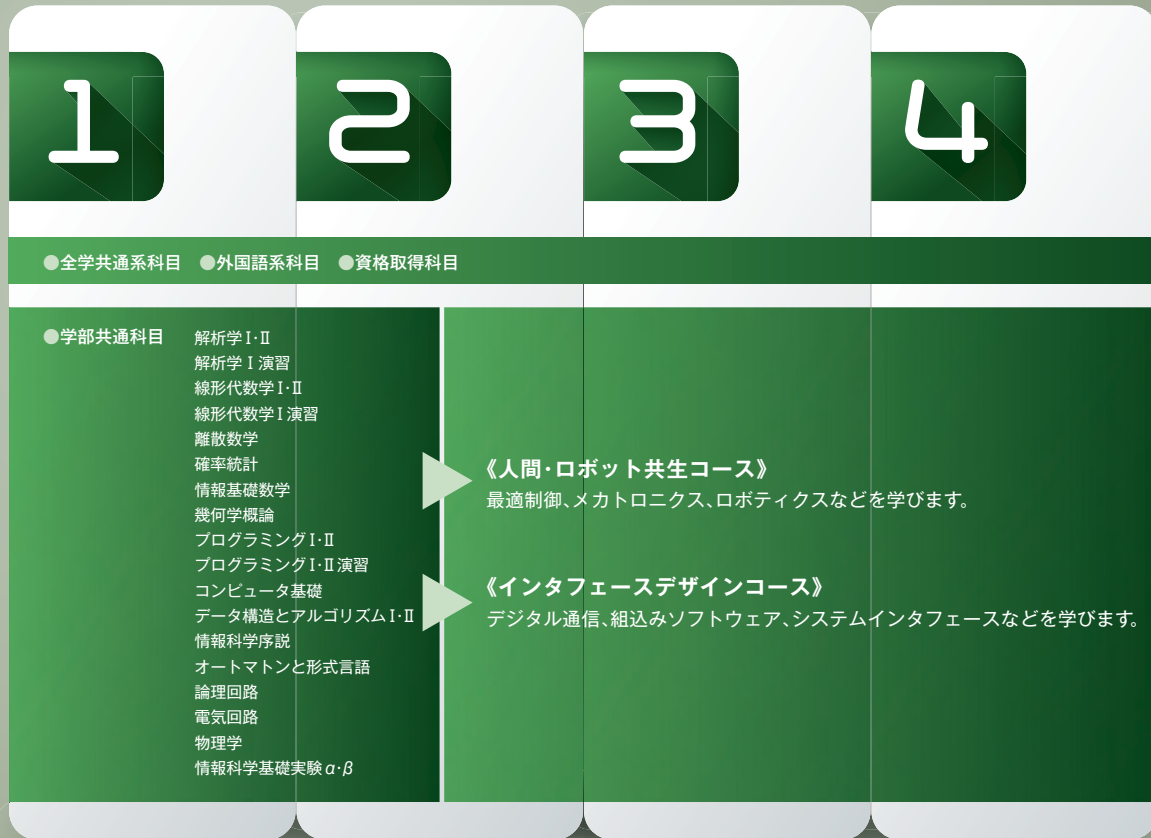
人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現

システム工学科では、人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに、人間がロボットや情報機器をより快適に使うためのインタフェースデザインに関する技術を広範囲に教育・研究します。



情報科学部 システム工学科

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

人間・ロボット共生コース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り
人間・ロボット共生社会を実現

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに人間とロボットが共生する社会を実現するためのさまざまな要素技術を広く教育・研究します。

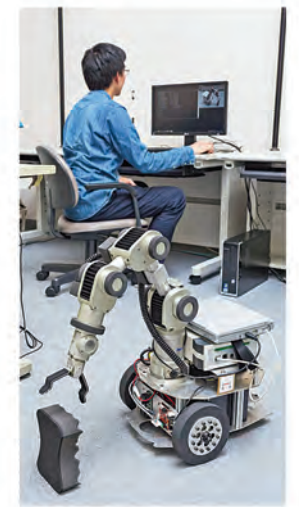
深刻な少子高齢化社会を迎える我が国では、労働者人口の激減や高齢者支援に対応するため、人間社会のあらゆる場面でロボットが活躍する時代がもうすぐ到来します。本コースではこのような「人間・ロボット共生社会」の到来を念頭に、家庭・介護福祉施設・病院・オフィス・工場等で活躍するさまざまなロボットを開発するためのシステム化技術と、それらの基礎学問であるメカトロニクス・制御工学・ロボティクス・プログラミング・数理科学等に関する教育・研究を行います。ロボットを教材にソフトとハードの両方を修得することができ、自動車・家電・機械・IT・ネットワーク機器等のメーカーをはじめ、さまざまな情報技術業界で即戦力として活躍可能なエンジニアを育てます。



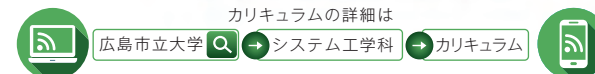
研究紹介

実世界クリッカー

体の不自由な被介護者が周りの実物体操作に関する意思を簡単かつ正確に介護支援ロボットに伝達するための介護支援システムです。実世界にある物体を、パソコン内のアイコンと同様に、クリックやドラッグ&ドロップすることでロボットに簡単かつ正確に指示を出すことができます。



カリキュラムの詳細は





インタフェースデザインコース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り
人に優しいインタフェースをデザインする

技術的に高度化し続ける現代社会において人が快適に機械と共存するための
さまざまな形態の専門分野で、インタフェースデザインの方法論を確立し、
具現化するためのさまざまな技術を広く教育・研究します。

世の中に無数に溢れる機械や情報機器は誰でも使えるほど優しい設計にはなっていません。本
コースでは、人間・機械・コンピュータを有機的に結び付けることで、「いつでも、どこでも、だれ
でも」直感的に使うことができるような優しいインタフェースの実現を目指し、それに必要な
デザイン技術を学びます。特に、障がい者・弱者・高齢者支援、環境(自動車など)への応用を狙
い、ヒューマンインタフェース・人間工学・音響工学・リアルタイムシステム・セキュリティ
等の基礎技術を修得します。それらを基に、リアルな音質に迫る人工的音響空間のデザ
イン、直感的で効率的なコンピュータ操作インタフェースデザイン、情報機械を効率的
に動かすためのプログラムデザイン等の研究を進める中で、技術とデザインの両者
を理解する骨太な人材を育成します。



眼球運動測定装置

研究紹介

電力線通信(PLC)

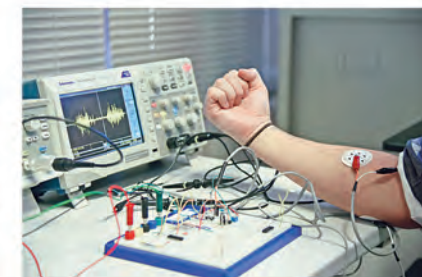
スマートグリッドは情報通信技術(ICT)を活用した次世代の送電線網であり、電力線通信(PLC)はそれを支える通信方式の1つです。電力線通信では既存の電力線を通信路として使用するため、導入コストが極めて低いという利点があります。ところが、電化製品の稼働状況により通信路特性が変動するため、高効率な通信は困難です。本研究では家電モニタリング機能を利用することで、安定かつ高効率な電力線通信の実現を目指しています。



医用情報科学科

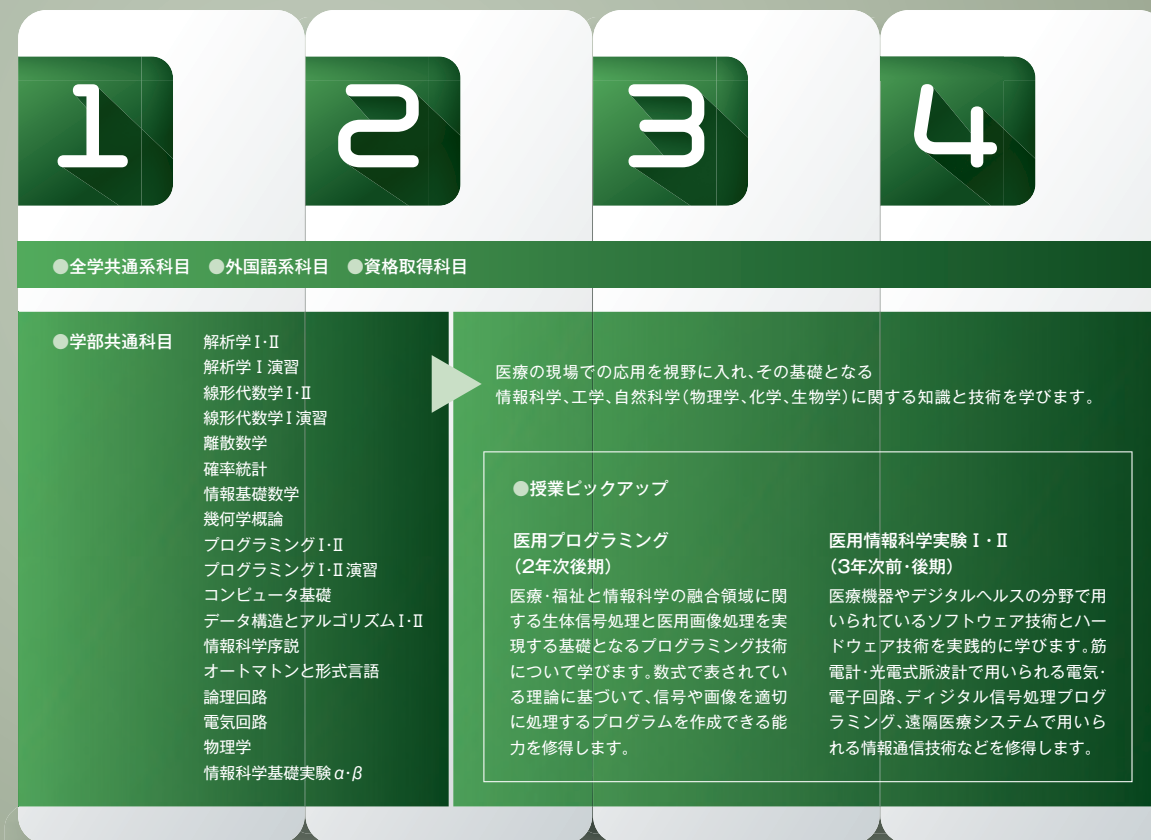
情報科学・自然科学・工学に関する十分な教育とそれを越えた学際色豊かな専門教育

医用情報科学科では、豊かで安心・安全な社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する学問を基礎とし、その上でバイオインフォマティクス、医用画像処理、医用ロボット工学、生体情報工学、医用情報ネットワークといった融合領域の専門知識・技術を学びます。本カリキュラム構造を用いることで、医療、生命、環境といった現代社会に係る諸問題を既存の学問体系の枠を超えて、俯瞰的に取り組むことができる人材を育成します。さらに大学間連携事業である「臨床情報医工学プログラム」を活用することで、医療現場での実践的な知識も身に付けることができます。



医用情報科学実験の様子(筋電計の製作)

●年次チャート



※ 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。



情報科学部 医用情報科学科

医療の未来を情報科学で切り開く

「バイオ情報学」「医用画像工学」「医用ロボット」「脳情報科学」「医用情報通信」の5つの研究室で、医用情報科学、生体情報科学に関する最先端の研究を行っています。

研究室紹介



医用情報科学科 ホームページ

バイオ情報学	医用画像工学	医用ロボット	脳情報科学	医用情報通信
<p>計算と実験の両方のアプローチで、情報科学と生物学の学際・融合領域の教育・研究を行っています。タンパク質、酵素などの分子レベル、微生物などの細胞レベル、植物やヒトなどの個体レベルの広い範囲の生物を対象に、生物の持つさまざまな能力を利用し、生命現象の解明と人間生活への利用を目的とした研究開発を目指しています。</p>	<p>X線CT、MRIなどの医用画像により、生体の形や動き、その個体差、疾患による変化を捉え、医療や医学をサポートする技術の実現を目指しています。解剖学的知識などの計算機内での数理表現に基づく医師と同等以上の観察眼や知能、学習能力を持つ機械の実現、および基礎医学に役立つ技術・知見の創出を目指しています。</p>	<p>機械・電気電子・情報の融合を図り、かつその出口として医療を見据えることで、これまでにない新たな医療・福祉システムの実現を目指しています。具体的には、マイクロ・メカトロニクス技術を用いた超小型医療デバイス、無痛薬剤投与デバイス、高齢者見守り支援システム、ウェアラブルデバイス等の創成に挑戦しています。</p>	<p>先進的な脳機能計測解析技術を開発し、それを医療・福祉・アミューズメント・脳科学等の分野に応用展開することを目指します。脳活動に伴う光や電磁気などの物理現象を斬新な手法で捉え脳信号を高精細で可視化する技術や脳神経系と外部機器とのインタフェースにより身体機能の拡張やアシストを実現する技術を開発します。</p>	<p>情報通信技術と医療・医学の融合による新たな医療・医学ヘルスケア技術による社会の創生を目指します。具体的にはBody Area Networkを用いた医療・ヘルスケアネットワークシステム、生体センサシステムによる医療・ヘルスケアシステム、多機能ウェアラブルバイタルセンサとウェアラブルマルチ伝送システム等の実現を目指します。</p>

カリキュラムの詳細は
 広島市立大学 医用情報科学科 カリキュラム

臨床情報医工学プログラム



臨床情報医工学プログラムとは？

- 本プログラムは、広島大学、広島工業大学、広島国際大学と本学の4大学連携で実施している大学間連携共同教育推進事業です。
- 広島大学の医学に関する授業、広島工業大学の医療機器に関する授業、広島国際大学のチーム医療に関する授業などを受講できます。
- 地元の主要な病院（広島大学病院、市民病院、県立病院など）で、実際に医療現場での実習を受けることができます。
- 広島市内を中心とした県内の医療機器関連の企業での研修（インターンシップ）を経験できます。
- 情報の知識や技術だけではなく、医療、医工学、医療理工学の知識を兼ね備えた人材になることができます。

幅広い基礎力を培う講義

連携大学提供科目(学士課程)

- 広島大学
 - 医歯薬保健学
- 広島工業大学
 - 医用工学と医療機器
- 広島国際大学
 - 保健医療学概論



臨床情報医工学プログラムでは、座学を遠隔地双方向講義システムにて行っています。このシステムで本学にいながら、広島大学の医学に関する授業、広島工業大学の医療機器に関する授業、広島国際大学のチーム医療に関する授業などを受講できます。

※必修科目の医歯薬保健学、医療系実習は医用情報科学科の卒業単位として認められます。

実践力を鍛える実習・演習

- 夏季休暇を利用して約1週間、実際の医療現場での実習を行います。4大学合同で行われるので実際の現場に触れられるだけでなく他大学の学生と交流を深めることができます。
- 実習を通じて現場で求められることを学べるだけでなく、特別研修の機会を通してグループディスカッションや研究成果の発表を行いグループワークやディスカッションの力を培います。

医療系実習



医学系、歯学系、薬学系、保健学系の4つの分野を対象に、医療現場での実習を行います。実習を通じて、学修目標がより明確になり、主体的な学びの姿勢も養われます。

*各大学のカリキュラム編成・更新の都合上、本プログラムの内容は予告なく変更・廃止されることがあります。

臨床情報医工学特別研修



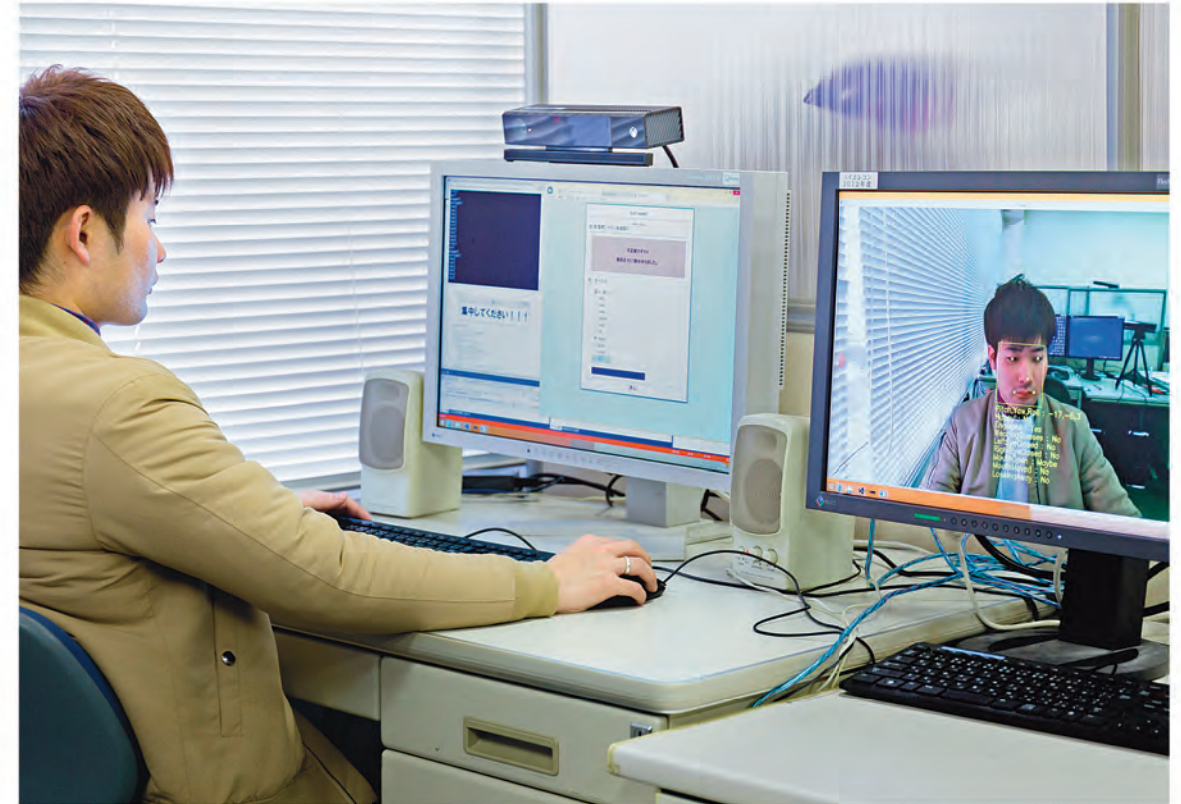
異分野の学生グループが1つのチームとして、それぞれの専門分野の知識・経験を持ち寄り、それまでの体験で発見した課題を分析し、解決策を導き出す過程を学べます。



エアジェットで新たな可能性を
食品・薬品搬送からゲームやメディアアートまで

システム工学科 人間・ロボット共生コース
ロボティクス研究室
教授 岩城 敏

複数のエアジェットの方向と噴出量を調整し物体に噴きつけることで、物体の位置と姿勢を非接触に操ります。平面上の1個の物体に対しては、位置(2次元平面水平方向2自由度)および姿勢(垂直方向回転1自由度)を、さらには複数物体の2自由度(XY)位置を操作できます。また、空間中に物体を浮上させて、複数のエアジェットをリレーさせることで広範囲で物体を3次元移動させることができます。エアジェットの噴出方向は水平方向・垂直方向に回転する装置で制御され、噴出量はPCで制御される弁で調整されます。物体の位置・姿勢は、カメラにより計測され、それらが指令する値になるようにPCで計算されます。本技術は、衛生上・品質上の観点から、極力傷つけないようデリケートに扱うべき食品・薬品等を搬送する装置に応用できます。また、見た目の面白さからゲームやメディアアート等のエンタテイメント系への応用も期待しています。



教育現場を人工知能でサポート
パソコン前での学習状態を把握して、「1対1」の授業を実現

知能工学科 知能メディアコース
知的メディア工学研究室
教授 高橋 健一

教育現場において、eラーニングや多数の生徒を相手に授業を行っている際など、講師が生徒の学習状態を把握することが難しい場合があります。そのような場合に、人間の身体の動き、音声、顔の動きや表情など、検出したい情報をプログラミングにより比較的容易かつ正確に認識することができるKinect(※)を活用する研究を行っています。生徒の学習状態を識別し記録することで、授業中の生徒の行動を把握でき、より生徒の興味を引くような授業内容や授業方法に改善することができます。実験(写真参照)では、生徒をKinectで撮影し、生徒がどのような状態であるかを識別しながら、モニターでその正確さを記録しています。ここでは生徒の状態として、「本を読む」「ノートを取る」「寝る」「スマホを触る」「質問をする」「よそ見をする」を取り上げています。今後はさまざまなパターンを設定することで、より正確なデータを取得することが可能になります。また、その新たな活用方法の提案が期待されています。

(※)キネクト、Microsoft社の製品





情報科学部 システム工学科 4年
山際 納月
広島県立三次高等学校出身

何気なく聞く「音」にも付加価値を。そのためにもっと研究を深めたい。

高校生の時に、この大学の出前講義で「サウンドデザイン」という分野を知り、「音」が人にもたらす影響について興味を持ちました。プログラミングなどの知識はなく、入学後初めて取り組みましたが、3年次には基板のはんだ付けからコントローラーの製作、制御プログラムの構築まで、すべて自分で行って「自走式ロボット」を製作。ロボットが動き始めた瞬間はとても感動的でした。インターンシップで自動車業界の企業を訪れた際には、車のエンジン音が

運転手に与える影響について学び、「音」は「もの」の付加価値を高めることができる存在であることを知りました。将来は「音」によって付加価値を高める製品開発に携わりたいと考えています。サークル活動では、楽器の演奏をしていた経験を生かし軽音楽部に入部。部長として分野の異なる個性的な3学部の学生をまとめる苦労もありましたが、自分の成長につながる貴重な経験となりました。



大学院 情報科学研究科
(博士前期課程)情報工学専攻 2年
久保田 直弥
広島県立祇園北高等学校出身

試行錯誤の繰り返し。乗り越えてきたからこそ自分の自信に。

情報工学の魅力は、現代社会で重要な存在であるコンピュータを、構築する基盤の部分から学べることです。普段は人目につきにくい部分ですが、「システムが成立するためには基盤が不可欠である」というところにやりがいを感じています。学生だけでプロジェクトを立ち上げ、基盤から実際に動くシステムを制作した「自主プロジェクト演習」は強く印象に残っています。2人1組で協力して進行了ましたが、細かい設定部分で意見の食い違いがある

など、制作工程は試行錯誤の繰り返しでした。しっかり話し合いを行い問題点を共有し、作業を積み重ねていくことで改善してきました。学会にも積極的に参加しています。国際会議「SASIMI2016」は英語で発表を行うため緊張の連続でしたが、他大学や企業の方と関わりを持つことができ有意義な経験になりました。大学での経験は、すべて自分の自信につながっています。今は、11月の国際会議参加に向けてさらに学びを深めています。



情報科学部 知能工学科 3年
大道 博文
広島県立五日市高等学校出身

プログラミングだけじゃない。幅広く学ぶことで見えた新しい道。

ゲームプログラマーになるため、専門学校への進学を考えていました。高校の先生から「まずは情報科学について幅広く学んでみてはどうか。ゲームプログラマーになるのはそれからでも遅くない」と助言を受け大学進学を決めました。入学後「人工知能」について学ぶ中で、プログラミングだけでなく、コンピュータが自動的に分析し学習するシステム「ディープラーニング」について興味を持つようになりました。この大学でさまざまな分野に触れながら学び

を深めることで、ゲームの世界以外にも将来の進路として新しい選択肢を得ることができています。大学では自分が興味のあるものには自発的に取り組んでいくことが大切です。今は人工知能とVR(Virtual Reality: バーチャルリアリティ)を組み合わせたシステムの開発を考えています。面白い世界が開けるのではないかと期待しています。夢や目標を大事にすること。それは、自分が行き詰まったときに、進む道を示してくれるはずですよ。



情報科学部 医用情報科学科 4年
神原 真貴
広島県立海田高等学校出身

医療現場で本当に求められているシステムや機器を開発したい。

広島県内の4つの大学が連携して実施する「臨床情報医工学プログラム」に参加しています。このプログラムは大学間の交流が多く行われ、合同合宿では「災害時の医療」という課題に対して班単位で機器の立案・製作を行いました。私の班では「災害時の救急医療」というテーマを立て、一般の人でも簡単に利用できるトリアージシステム(負傷者を重症度や緊急度などによって分類し治療や搬送の優先順位を決めるシステム)の機器を提案しました。また、実

習で医療機関を訪れた際には、手術室など最新の医療施設や機器について学びました。医療の現場を実際に見て触れることで、医師から本当に必要とされるシステムや機器の設計・開発に携わりたいと強く感じるようになりました。これから入学する皆さんは、今は将来どんな分野に進むのか迷っていても大丈夫です。医用情報科学科で3年次後期に行われる「研究室体験」などを通して、きっと自分に合った将来の進路を見つけることができます。



芸術学部

Arts

芸術学部

Arts



これからの社会と芸術文化を創造するために

芸術学部長 南 昌伸

芸術は、人に感動と共感を与え、新たな価値観や示唆を生み出します。近年では、地域社会と連携したさまざまなアートプロジェクトが多く見られるようになってきました。それは、芸術活動が社会と密接に関わることで、新しい関係性やネットワークを生み出し、活性をもたらしていく芸術特有の有用性があるからです。当学部では、美術、デザイン工芸の両学科における基礎力を重視し、専攻、分野の、より専門的な知識や技術の修得と、新たな表現の獲得を目指します。大学内外、地域社会や海外と連携した多角的な教育の中で、自身の制作を通して、揺るぎない礎を築いていってください。主体的に学び、広い視野で国内外の芸術・文化を捉え、将来の活躍の場を獲得してほしいと思います。現代の複雑な社会環境の中で、柔軟に対応できる判断力と創作力を養い、社会における芸術の役割と必要性を話し、これからの社会と芸術文化を創造していきましょう。

自己表現の可能性を追究するために、理論と実技を身に付け、感性を育む

求める人物像

1

創作活動に必要な基礎的な表現力を持ち、それをさらに伸ばしたいと考えている人

2

独自の表現方法を見つけて自分のものとするために、多様な素材や技術を学びたい人

3

地域社会や国際交流を通して、社会と関わりながら表現活動を行いたい人

教育方針

創作活動の基本となる基礎実技を

しっかりと修得し

多様な技術を総合的に学んだ上で

地域社会や国際交流でも

アートを通して活躍できる

能力を育んでいきます。

◎創作活動を続けるために基礎実技を重視

自己の表現を追究する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の修得を重視した教育を行っています。

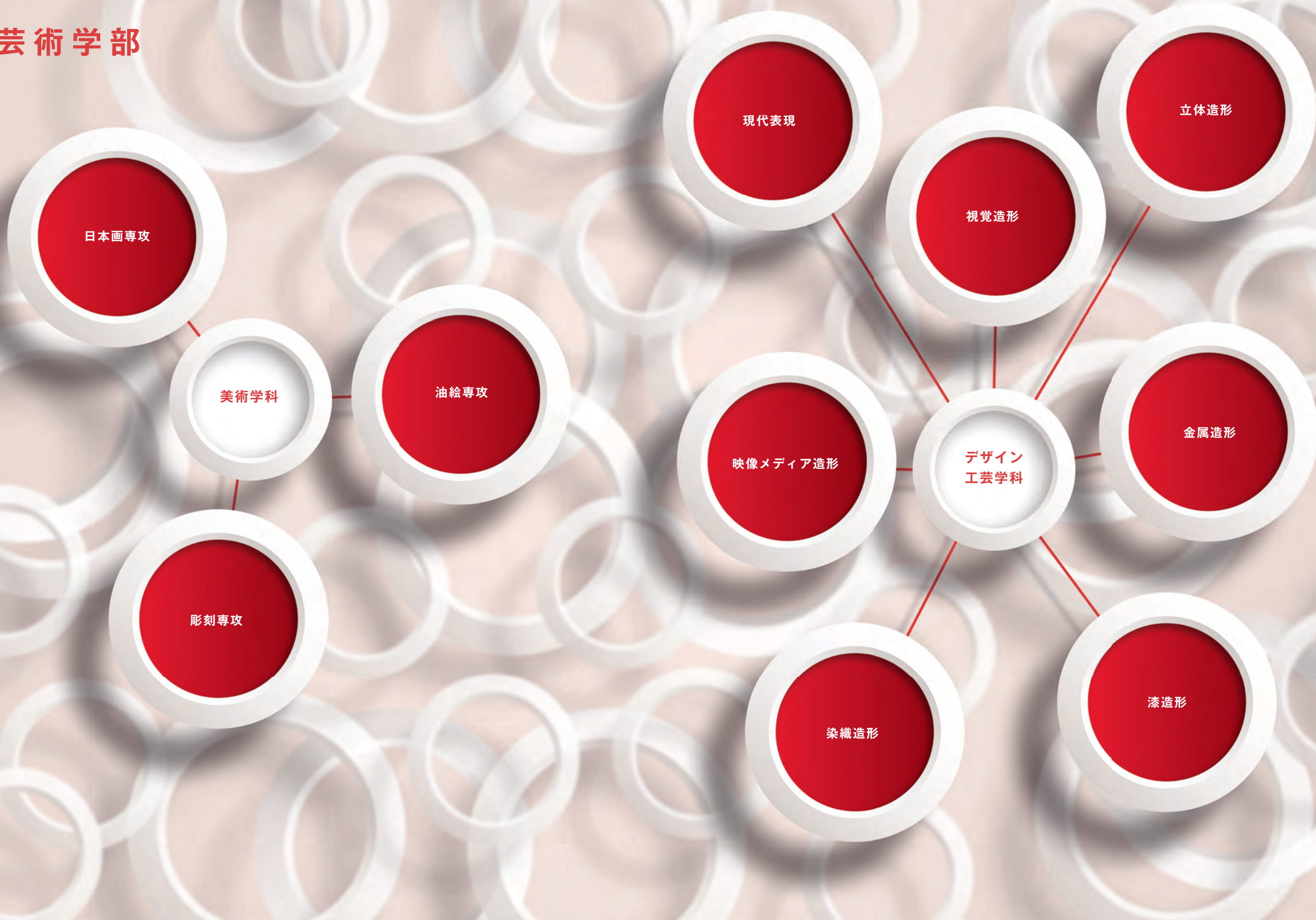
◎多様な技術修得のための多角的・総合的な教育

独自の表現方法と出会うために、過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる、多角的で総合的な教育を行っています。

◎地域と国際を軸に芸術の社会的役割を学ぶ

地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を知り、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供しています。

芸術学部



美術学科

日本画専攻
P076

油絵専攻
P077

彫刻専攻
P078

基礎技術修得と幅広いカリキュラムで、創造者としての感性を養い、時代に貢献する人材を育成

美術学科は、純粋芸術の専門的な教育・研究を行います。芸術の創造者としての基盤となる感性を養い、的確な造形表現をするための能力の充実を図ることができる基礎教育を重視します。日本画・油絵・彫刻は、それぞれの分野において造形の体系を形成した歴史や哲学、科学などがあり、人文学的な要素についても学ばなければなりません。それらの確固たる造形性を修得した創造者を目指して、実技演習のみならず基礎の教養の充実を図ります。それとともに、現代を思考し、専門領域のみならず幅広い視野で芸術を理解できるようなカリキュラムを組み込み、これからの社会に創造者として発表する上で必要な能力を育て、新たな時代を形成し貢献する人材を輩出することを目指しています。

●年次チャート



芸術学部 美術学科

日本画専攻

基礎教育から独創的な表現に至る指導で、創造性に富んだ人材を育成する

●目標

日本画の伝統的絵画表現という側面と、現代を生きる芸術家としての自由な表現とを両立した、広い視野を持ち、芸術表現の可能性を追究する21世紀に生きる現代日本画作家の輩出を目標としています。4年間の多彩で多様な授業を通して、高い知識、確かな技術を修得すると同時に創造性、独自性に富んだ卓越した人材を育成することを目標に、これからの文化芸術の創造・発展に貢献することを理念としています。

●授業概要

4年間の授業の中で、写生、技術研究等の基礎教育から、独創的な表現に至る段階的な指導を行っています。1年次では材料の扱い方や制作を主に基礎力を高め、2・3年次では写生旅行や古美術研究旅行等によるスケッチ取材や文化財の実地見学の体験を通じ創作の幅を広げます。4年次には、今までの授業の集大成となる卒業作品を制作。各学年とも表現者としての基礎を身に付けるため、デッサンや写生を重視。また、古典模写や、専門的な裏打ち技法や金、銀箔の授業も随時開設するなど、効果的な教育プログラムとなっています。



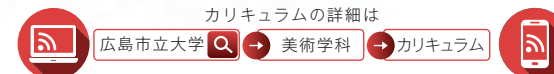
●卒業後の展望

日本画専攻では、優秀な作家の育成とともに、教職課程、学芸員資格等の取得にも積極的に取り組んでいます。教育機関や研究施設における指導者、研究者として芸術文化の振興に携わり、地域の文化に貢献しています。より専門的な技術や高い芸術性の修得を求める学生は大学院への進学を希望しますが、多くの卒業生が公募展や個展等で積極的に作品発表を続け高い評価を得ています。

アトリエ紹介

日本画専攻では1年間を通して各学年1つの教室で学びます。同級生と日々研さんを重ねて課題に取り組んでいきます。また大学祭の準備や展示など学生生活を通じて最も長い時間を過ごす場所です。課題は主に50号から80号の作品を制作し、4年生になると卒業制作として150号の大作に取り組めます。お互いが刺激し合いながら送る学生生活は、きつかけがえのない体験となることでしょう。

カリキュラムの詳細は





芸術学部 美術学科



芸術学部 美術学科

油絵専攻

絵画技術の的確な修得をそれぞれの強固な基盤に。
そして芸術の新しい造形と表現の可能性を探る

●目標

油絵は西洋の伝統的絵画造形の代表です。油絵を学ぶことは、その根底に流れる西洋の歴史や多様な精神文化も学び知ることになります。西洋の絵画を本質的に理解するため、造形基礎としての写実のみならず、芸術の多様性を知り、やがては新たな自己の表現を目指すことができる教育を目標にしています。油絵を学ぶことで自ら現代を広い視野で見ることが出来る人材の育成を理念とします。

●授業概要

油絵を中心に据えながら西洋美術の理解と研究成果を得られるよう、段階的なカリキュラムを編成しています。1～2年次は、デッサンと油絵制作により重点的に造形力を鍛え、銅版画・木版画制作と油絵材料・技法演習を通し、歴史に裏付けられた西洋美術の基礎を学びます。3年次には自由制作研究により表現者としての問題意識の萌芽を促します。古美術研究ではイタリアでの実地研修を経験し、西洋美術の生きた歴史に触れて専門性を高めます。そしてここまでに構成演習などで芸術の多様性にも見識を広げ、4年次に集大成としての卒業制作を行います。



●卒業後の展望

作家として高い評価を得る卒業生も多く輩出していますが、卒業生が自立する道はそこだけにあるわけではありません。さらに専門性の高い研究の機会を求める者は大学院進学や海外留学を検討します。また、専任・非常勤の教員や学芸員として教育・研究分野へ従事することの他に、培った造形力を生かせるデザインやCG、アニメ業界など多くの選択肢があります。他にも数え切れないほどの社会参加の形はあり、たとえば芸術とは関係のない業界への進路を選んだとしても、卒業生がその根幹として生涯もち続けられるものは、絵画修練で培った思考力と技術力です。

版画工房紹介

版画は美術作品として以前に、複製を作り社会に情報を伝播するメディアとして古くから使われ、印刷技術と関係しながら発展してきました。版を介して間接的にイメージを作り上げる「刷る」という行為には、能動的に直接支持体へと描き出す行為とは違い、計画性を保ちながらも画面に現れた偶然性を受け入れるといった、絵画創作の思考を問い直す内容も含まれます。本学版画工房においては、木版、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーンの基本四版種に加え、多様な版画技法へのアプローチを可能にする充実した設備をもって、専攻の枠を超えた工房制作の機会を提供しています。また、版画制作者の健康に配慮した「Non-Toxic技法」(ノン・トキシック技法)を導入しており、有機溶剤などの人体に有害な薬品を使用しない版画制作を行っています。

彫刻専攻

基礎実習と実材研究を通して
新たな彫刻表現を探究する

●目標

常に実在物や現実空間と対峙することを必要とする彫刻専攻では、塑造実習と実材実習(木・石・金属・ミクストメディア・テラコッタ)を中心に、古美術研究旅行、彫刻論等を通して、素材や作品と時間や空間を共有しながら体験的に学ぶことをカリキュラムの核としています。また、古代から現代までの芸術表現を研究することで、現代社会における芸術の役割を認識し、国際交流・地域連携に積極的に取り組みながら、地域文化をリードする国際性豊かな人材を育成します。

●授業概要

彫刻の基礎となる塑造実習では、4年間を通して人体をモデルに骨格・構造などの仕組みを把握し、自然から彫刻芸術の基礎的な形態を学びます。また実材実習では、1・2年次に実材の基礎的知識と技術を身に付けることを目的として学習・制作に取り組み、3年次以降は各自がそれぞれの実材を選択し、課題に沿った制作活動の中から自己表現の方法を学びます。併せて東洋・西洋の古典、現代までの多様な芸術表現を学習することによって、自らの創造基盤をつくり上げます。



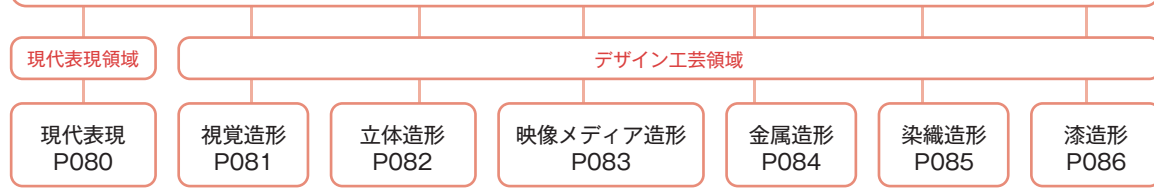
●卒業後の展望

学部卒業後は、毎年多くの学生が進学を希望し、さらに高度な創作・研究を進めていきます。また、教職関連や造形力を生かせる職業に就きながら、作家としての自立を目指し、広島を中心に個展を開催したり、公募展やグループ展、プロジェクトに参加したりして、発表や活動の場を広げていきます。さらに、海外の芸術大学へ留学する学生もおり、国際的視野を持ち、併せて地域に根差したさまざまな面で活躍しています。

アトリエ・工房紹介

彫刻専攻では、学部棟内に各学年個別のアトリエや資料室を持つ他に、約2,500㎡の敷地内に木彫工房、石彫工房、金属工房、ミクストメディア工房の4つの専用工房を持っています。各工房内に3tクレーン(合計3機)が、野外には20tクレーン(1機)が設置され、常備する3tフォークリフトとの組み合わせで、大きな作品の制作にも対応できます。各工房には専用機械や電動工具を充実させ、学生の追加費用負担を軽減するよう努めています。また、3Dプリンターや3Dモデリングソフト等デジタルメディアの制作環境の整備にも取り組んでいます。

デザイン工芸学科



確かな造形表現のための基礎を重視しながら、創造的な活動および表現のできる能力を育てる

デザイン工芸学科は、社会と生活に関わる造形芸術の総合的な教育と研究を行うために、創造力、造形力を身に付け、確かな造形表現が行えるよう基礎教育を重視しながら、今日の社会における新しい表現と、長い歴史に培われた造形表現の双方を検証して、より専門的な造形表現へと展開していきける学科です。7つの分野を設け、幅広い表現を展開する専門領域の特徴を効果的に教育体制の中に反映させることで、広範な活動領域において柔軟に対応し、創造的な活動および表現のできる能力を育て、新たな時代の形成と社会に貢献していくことができる人材の育成を行います。



芸術学部 デザイン工芸学科

●年次チャート

1	2	3	4
●全学共通系科目 ●外国語系科目 ●資格取得科目	●現代表現領域 ●現代表現 ●視覚造形 ●立体造形	●映像メディア造形 ●金属造形 ●染織造形	●漆造形 ●卒業制作
1年次ではデザイン・工芸の基礎実技を通して幅広い表現法を修得します。	2年次から各専門分野に分かれて実技実習を行います。	卒業制作は、学部4年間の実習と創作研究活動の集大成として成果の発表を行い、自らの創作活動を確立し、社会へのメッセージを発信するものです。制作に当たっては十分な準備と時間をかけて、持てる力を限界まで引き出し、意欲的な表現を探究します。また本学芸術資料館等における卒業制作作品の展示を出発点として、将来の創作活動の方向性を自覚するプロセスともなります。	
●専門基礎科目	専攻に関わらず、創作活動の基盤となる幅広い分野の基礎知識と技法を学びます。		

現代表現領域

現代表現

先端的表現の実践と理論構築を学び、現代社会の要請に応える表現を創造する

●目標

現代表現分野では、先端的表現の実践と理論構築を学んで、現代社会の要請に応える表現者の育成を目指します。現代美術の作品制作に加え、作品を発表するために必要なキュレーション(企画展示)とマネージメント(管理運営)のスキルも学びます。世界の美術作品の大多数は、現代美術の領域で作られています。世界各国の美術大学で教えられているのも、現代美術の作品制作です。この分野では、将来、日本でも中心的な領域になる現代美術について専門的かつ体系的に学ぶことができます。また、現代美術の領域では、社会や政治、歴史の問題に積極的に取り組む作家が多く、現代美術を学ぶ場所は重要なポイントです。広島は、史上初の被爆を経験した都市であり、世界で最も知られた都市の一つです。現代表現領域は、日本と世界の諸問題に真剣に取り組む、国際舞台で活躍するアーティストの輩出を目指しています。

●授業概要

複数の教員による領域横断的な教育体制を通じて、実技(作品制作)と理論(企画展示、管理運営)の双方を学びます。2年次では、作品制作を主とした課題を通して、制作されたものとコンセプトの整合性を計る基礎を身に付けていきます。3年次ではアートプロジェクトの企画を行います。グループワークを中心としたリサーチから定期的なディスカッションを通して、展覧会やイベントを作り上げる一連のプロセスを修得します。4年次では、個々の学生に応じた表現の指導を行い、これまでの活動の集大成として卒業制作に取り組めます。完成した作品は公開プレゼンテーションを行い、外部の講師による公開講評も実施します。さらに、作品撮影からカタログのデザインまで実践することで、将来の作家活動を広範に支える取り組みも行います。

●卒業後の展望

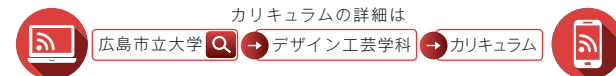
海外への留学生が多い現代表現領域では、日本国内にとどまらず世界で広く活躍するアーティストを多数輩出しています。また、従来の作品制作やデザインの枠を押し広げる先端的な表現者としてキャリアを積み卒業生もいます。そして、美術館やギャラリー、アートプロジェクトなど、表現者を支え、社会と芸術を結び付けるアートマネージメントの現場で、専門的な知識と経験を生かしながら活躍する卒業生も輩出しています。

ラボ紹介

現代表現分野の「CA+Tラボラトリー」は、展覧会やレクチャーなど、多目的に使用できるホワイトキューブの空間に加え、学内外におけるプロジェクトの報告やディスカッション、ミーティングのためのプレゼンテーション・ルームも備えています。また、海外や国内で開催された現代美術に関する展覧会カタログや文献などを3,000冊以上収蔵しています。現代表現分野で学ぶ学生たちは、これらの蔵書を自由に閲覧することができます。



カリキュラムの詳細は





芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

視覚造形

ヴィジュアルコミュニケーション・デザインで、
社会の課題を創造的に解決する

●目標

デザインとは、計画的に課題解決方法を考え、その実現のために必要な手法を選択し、実現する創造的活動です。今日その対象領域は、生産・製造業に限らず、私たちの暮らしそのものや、社会のあり方といった具体的な形がないものにも広がっています。視覚造形では、こうした広範なデザインの中で、特にヴィジュアルコミュニケーション・デザインを中心とした、課題解決方法とその新しい表現方法について探究しています。さらに、社会的な創造活動であるデザインには、実社会の中に主体的に課題を発見し、他人と協調しながら、その課題解決に取り組む能力も必要です。視覚造形では、さまざまな実習課題や学外デザインプロジェクトを通じて、こうした能力を身に付け、卒業時には、問題の本質を捉え、創造的な提案ができる人材を育成することを目標としています。

●授業概要

2年次には、写真撮影、ポスター、エディトリアルなどを通じて、グラフィックデザインの基礎を学ぶほか、関東・関西のデザインの現場を研修旅行で巡ります。3年次には、広告の企画・制作、公共デザイン、デザイン展の企画・実施など、より実践的な課題に取り組めます。4年次には、学生自らが選んだテーマで、ヴィジュアルコミュニケーション・デザインによる卒業制作に取り組めます。



●卒業後の展望

卒業生は、広告代理店や印刷会社におけるアートディレクター、クリエイティブディレクターのほか、グラフィックデザイナー、パッケージデザイナー、ウェブデザイナー、アーティスト、イラストレーター、漫画家などとして活躍しています。

スタジオ紹介

VCデザインスタジオは、フリーアドレスのワークデスクと広大な壁面を有し、学生に自由な制作環境を提供。デザインワーク用コンピュータや高精細大判プリンターなどを備えています。隣接する2Dプリントルームでは、冊子印刷や製本加工ができるため、課題制作や各種デザインプロジェクトに利用されています。さらに、学内のフォトスタジオと連携することで、高品質なグラフィックワークも可能です。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

立体造形

生活の中における人とモノの関係を追究し、
幅広い視野で本質的なモノづくりを創造する

●目標

立体造形分野は生活の中における人とモノの関わり合いをデザインすることに主軸を置いています。効率性や経済性を重視する現代社会においては、モノづくりに込められた心の大切さを見失いがちです。そこでデザインの本質を追究し、幅広い視野で本質的なモノづくりを創造します。「人とモノの本質的な関わりは何か」をキーワードに、生活と社会の中のモノづくりに対する、創造性豊かで自由な発想の導き出し方を学ぶことができます。

●授業概要

2年次では多様なテーマに対し、調査から構想、実制作までを通して、計画・造形・伝達などの表現に必要な基礎的な項目を修得します。3年次では機能と構造を軸に椅子のデザインと制作を実施、また各自が求めるモノづくりの領域を探る演習を実施し、その成果を公開展示します。4年次には各自が立てたテーマを軸に調査を行い、卒業制作に向けて具体化します。また、芸術資料館のコレクションに直接触れての調査、専門工房での専門技術の修得、地場産業の見学研修で知見を深め、デザイン能力、表現力向上を同時に進めます。



●卒業後の展望

自動車、家具、玩具・ゲーム、ファッション、Web、店舗設計などのデザインや企画開発といった生活に関わるさまざまな分野にデザイナーとして企業に就職し、身に付けたスキルを発揮する道があります。またアーティストやクリエイターとして独自に活動し、各方面で評価を受けている卒業生もいます。立体造形で培った創造性豊かで自由な発想をもとに、社会で幅広く活躍できる人材を輩出しています。

スタジオ紹介

3Dスタジオではデザインに関わるアイデア構築のための資料と、プレゼンテーションのために必要な空間と設備を学生に提供しています。またスタジオ内に3Dプリントルームを併設し、Shadeなどのソフトで製作された3Dデータを3Dプリンターで出力し、デザインの形や構造の検証を行うことができます。学生はここで練られたデザインを基に各専門工房を使用して作品のプロトタイプ制作に移ることで、基本的な素材の加工技術を修得することにも積極的に取り組んでいます。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

映像メディア造形

情報メディアを駆使した表現は、
現代社会に新しい視覚体験を発信する

●目標

映像を使った情報ツールは、いまや日常の中に当然のように溢れています。それらをコントロールし情報発信することには、適切な技術と知識が必要です。映像メディア造形では、社会のニーズに応えるための多様な映像表現を、若い感性からなる可能性から新しい視覚体験を創造することを目指し、創作研究を行います。映像という媒体を、「光」「音」「時間」「動き」というエレメントに分解してそれぞれの特性を研究し、多彩なデジタル技術を利用して新しいコミュニケーション表現として再構築していきます。また、多くの映像資料を基に映像リテラシーを養うとともに、CGやアニメーション、そしてICT技術を修得し新しい映像媒体でのアートやデザイナーの表現を創造していきます。

●授業概要

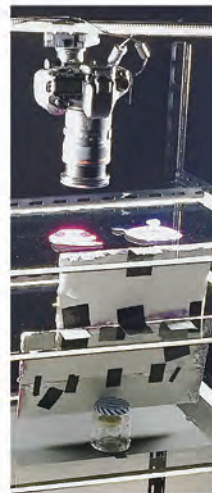
2年次では、映像の基礎的構造を理解するためにアニメーション技法を主に実習を行います。「動き」「音」「時間」などのモチーフをも使用して、映像を多様なアプローチで創造することを学びます。また、豊富な映像資料を基に映画的映像制作の実習も行い、総合表現としての制作も行います。同時にコンピュータでの各種アプリケーションソフト技術修得によるスキルアップも行います。3年次では、培った造形感覚を発展し、各自が目指す方向性のための創作研究を行います。また、実践的なグループ制作での演習も課し、社会性のある制作を行います。4年次は、卒業制作に向けて、各自の感性とスキルに合わせ計画から試作、実制作へと取り組みます。また、カタログ制作や映像パブリッシュメディアの制作も行います。

●卒業後の展望

卒業後の進路としては、映像制作会社、TV放送局、Web制作・デザイン事務所、ゲーム制作業界などへの就職がメインで、身に付けた技術や表現力を社会に向けて発揮しています。また、アーティスト、映像クリエイターとしてフリーランスながら多くの映像コンペティションで受賞、活躍している卒業生もいます。4年間の映像メディア造形分野での研究制作を通して培われた先鋭的感性、情報処理能力、人間力を生かしさまざまな分野で活躍する人材を輩出することを望みます。

スタジオ紹介

コマ撮りアニメーションの専用スタジオや、専有のコンピュータスタジオなど、学生が十分に制作に打ち込める施設を有しています。また、200インチスクリーン、7.1ch音響システムを完備したプレビュールームでの映像作品の講評では、より実践的な視点で作品を観ることができます。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

金属造形

金属素材との対話を通した確かな技術修得、
柔軟な思考が独自の表現を生む

●目標

人類が金属素材に出会って以来、金属の可能性への探究は、モノづくりへの挑戦から始まったと言えます。わが国の金属工芸には、先人たちが残した世界に誇れる素晴らしい表現技法が多く存在します。金属造形では、「彫金」「鍛金」「鑄金」といった金属工芸の伝統的技法の基礎を体系的に学び、応用技術を修得していきます。また素材や歴史的背景について理解を深め、自己の制作研究を通して感性を高め独自性を追究します。段階的に修得した確かな技術と柔軟な思考を基に、金属造形のジュエリー・クラフト・オブジェ・伝統的工芸といった幅広い領域の中から、現代における工芸、金属造形のあり方を考え、独自の表現と新たな方向性を探ります。

●授業概要

2年次は、手仕事を中心とする金属工芸の伝統的基礎技法を修得しながら、金属工芸の基本的な知識と技術を学びます。3年次は、課題制作を通じて、複合技術の修得と共に深い知識と高度な技術を学び、高い専門性と応用力を身に付けます。また3学年共通のテーマ制作では、制作から展示までのプロセスを総合的に学び、4年次の卒業研究に備えます。4年次では、各自の卒業制作について綿密な検討を重ね、予備研究、習作を経て4年間の集大成としての卒業制作を完成させます。



●卒業後の展望

卒業後の進路は、製品開発・製造を行う企業での企画開発、デザインなどの分野で才能を発揮する、あるいはジュエリーデザイナーや工芸作家として独自の表現を追究する作家として、また中学・高等学校の教員、専門学校の講師として学んだ技術を教える立場に立つなどさまざまな道に進むことができます。金属工芸を学び磨いた感性を生かし、すでに社会で活躍する多くの卒業生に続き、これからは幅広い分野で自己の創造力を社会で発揮することを期待しています。

工房紹介

ジュエリー作品をはじめ、彫金技法による繊細な制作を行う「彫金工房」、金属の絞り加工(塑性加工)を可能にした「鍛金工房」、鉄材の鍛造(熱間加工)を行うことができる「鍛造工房」といった3つの工房を設置しています。隣接する「金属加工室」では、機械による切削加工、曲加工、切断が行える各種大型機械や遠心鑄造機等を備えさまざまな金属加工を可能にしています。また「鍛金工房」「金属加工室」にはホイスト(2.7tクレーン)も配備され大型作品の制作や移動にも対応しています。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

染織造形

染織造形に関わる多様な素材や技術を修得し、
現代社会における新たな表現を探究する

●目標

染織は古来より人間の生活において基本的なものであり、生活を豊かにするものとして、身体や暮らしを華やかに彩ってきました。染織の素材である繊維と染料は、他の素材にはない光沢のある美しい色彩と優しい質感と秀でた可変性を併せ持っています。そしてテーマ、構成、色彩、素材、染色技術、織技術が融合した染織芸術が世界各地で創造されてきました。中でも日本の民族衣装である「着物」は他国に類を見ない高い水準に達しました。現在も日本の染織およびテキスタイルデザインやスーパー繊維の開発による新しい繊維造形は、その独特な美意識によって世界から注目されています。本学の染織造形分野では、日本の伝統技術から現代技術までを研究した上で、現代社会においてより重要になっている染織芸術の可能性を素材、技術、知識といった多角的な視野から考え、染織造形の未来を切り開くことを目標としています。

●授業概要

2年次では素材(繊維と染料)に関わる基礎知識を学び、染基礎実習(臙染、捺染)、織基礎実習(綴織、拵織)を通して染織造形の基礎技術を修得します。3年次は浴衣(型染)と浴衣帯(組織織)、染織プロジェクト、テーマ制作を経て、染めと織りの専門性を深め、創作活動を広げます。4年次は各自が卒業制作のテーマについて研究し、卒業作品を完成させ、自己表現の確立を目指します。なお3年間を通して公募展などにも積極的に出品しています。



●卒業後の展望

染織造形分野では、繊維、染色、織物に関わる知識と高度な造形力を体得し、現代社会における国内外の多様な分野で活躍できる人材を育成しています。すでに本分野からテキスタイル、グラフィック、インテリア、ジュエリーなどの各デザイナー、染織造形作家、染織文化保存、教員など幅広い分野でも活躍する人材を輩出しています。

工房紹介

染織造形では、染色を行う染色調合室、染の制作を行う染色工房、織の制作を行う織工房、デザインを作成するパソコン室、プロジェクトを進める制作室を完備し、日本の芸術大学において最も優れた染織工房の一つとなっています。染色調合室には染料と器具を備え、染色工房には各種の防染ができる設備と広い洗い場などを併設し、織工房には京都西陣において特別に製作された綴織機(50cm巾・90cm巾・200cm巾)18台などを設置しています。また、空間造形を制作するための展示設備や植物染料園があります。学部生、大学院生、留学生、社会人講座受講生、教員は、各工房を自由に使用して創作活動を行い、活気のある環境となっています。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

漆造形

ものづくりの必然性を追究し、
創造性豊かな表現を目指す

●目標

現代の日本を作り上げてきた戦後の高度成長は豊かな国として世界にも認識されてきましたが、多くの利便性や合理性など価値観が経済に集中した結果、画一化も進行し、人びとの間で「心の豊かさ」が軽視され、さまざまな社会問題が生じています。漆造形分野では、9千年以上におよぶ人と漆の関わりや、漆の技芸を学ぶことで、自然との共生をコンセプトに、現在も受け継がれるさまざまな漆の表現技法は自己を覚醒させ、現代人が失いかけているさまざまな問題から、ものづくりの本質まで、多くのものを導き出してくれます。工房での3年間では学びきれない奥の深い世界ですが、ここでの経験を生かし、現代社会に「心の豊かさ」を呼び戻してくれる、そんな学生を育成します。

●授業概要

2年次では、漆塗り基礎技術の修得として、多種多様な道具の仕立てや制作を始め、木地から漆色上げまで約40工程におよぶ本堅地を学びます。また、後期から蒔絵、螺鈿、彫漆等の加飾技法を修得します。3年次は、素地造形を中心とした轆轤(ろくろ)、乾漆を修得。特に轆轤は地場産業でもある宮島轆轤の技術を基本に、刃物の鍛造からの徹底指導を行います。また漆との複合的な創作研究や漆の歴史と自己表現のあり方を見直す古典研究を経て、3年次最後に発表するテーマ制作に挑みます。4年次は、学部の集大成として、個人の持つ感性を主に、素材、技術、知識、社会性など多角的な視点から研究内容を確認し、自由な造形表現の制作を行えるように指導しています。

●卒業後の展望

作家、保存修復、デザイナー、写真家、映像作家、高等学校講師、専門学校講師など幅広い分野で活躍する多くの人材が生まれています。今後もより多くの分野において漆を学んだ学生が活躍することを望んでいます。

工房紹介

漆塗りができる専門の漆工房を設置しています。その他、木材加工や塗装専門の工房などもあり、学生は積極的に使用しています。特に木材加工室においては宮島式轆轤機械を設置し、木材の製材から銅を鍛造した刃物制作、轆轤加工、漆塗りまでの一貫制作を実習に取り入れるなどの設備環境と指導方針は本学独自でもあります。また、広島漆の植栽や漆採取ができる実験林もあり、「自然」と「人」のつながりで生まれるものづくりの本質を体験しながら創作研究に生かす指導も行います。





目に見えるすべての「モノ」も、
見えない「コト」も

立体造形研究室
教授 吉田 幸弘

従来のプロダクトデザインという枠組みを超えて、目に見えるモノすべてがデザインの対象です。常に新しいモノを生み出す「創造」を追究しながらも、戦争で失ったモノを忠実に元の姿に戻す「復元」にも関わり、新旧入り混じった世界を体験できる「タイムマシン」のような研究室です。シャレオ地下街のストリートファニチャー、鷹野橋の歩道橋、宇品橋、猿猴橋、横川の「かよこバス」など多くのプロジェクトに参加しましたが、共通するのは「一人では成し遂げられない」こと。地域の思いをくみ取り、一緒になって「モノ」をつくりながら、同時に、人とのつながりやモノづくりの楽しさなどが広がっていくというような「コト」を動かす。それらすべてが「デザイン」なのだ、肌で感じながら学んでほしいと思います。



猿猴橋復元完成記念として猿猴橋で開催された祭り「えんこうさん」の様子

作品に関わる人びととの
つながりを、彫り、深める

彫刻研究室
教授 ウォーゼン,チャールズ

「瀬戸内国際芸術祭」に参加しました。このプロジェクトは、国内外からアーティストが集まり、芸術活動を通して地域との交流を図る企画です。アートに触れながら、大自然の素晴らしさや野生動物との遭遇といった体験が、価値観や世界観を変えてくれます。まさに、アートが人生を面白くしてくれることを実感できるプロジェクトです。作品をつくるには、環境を尊重する気持ちと地域の人びとの協力が欠かせません。作家はあくまで作品を構成する鎖の一部。材料一つ一つから、関わる人びとの想いと力、作品を展示する環境まで、全てが連鎖するようにつながり、初めて一つの作品として完成します。その過程が彫刻の醍醐味。作家は作品をつくりながら人とのつながりも「彫刻」しているのです。



2トンのテトラポットを躍らせた作品「ひとりおどり」の設置チェックをしている様子

生涯を表現に捧げる先達と
触れ合う641特講

油絵研究室
准教授 諏訪 敦

私の研究室には現代絵画を標ぼうする学生が集まってきました。スタイルはさまざま。そんな学生たちとともに自然発生的に始まったチーム、「641 LABO.」は、本分である制作や展示活動の他に、外部から「表現する大人たち」を招き、641特講という市民にも開かれた講演やワークショップを開催するイベントを続けています。これまでには舞踏家・工藤丈輝、大阪市立自然史博物館・なにわホネホネ団、学芸員・立島恵、音楽パフォーマンス劇団・時々自動、オリエントミスト・鯨井謙太郎、日本画家・マコトフジムラ、アートユニット・QU4RTETSなど、さまざまな方たちを招きました。そして昨年度末、美術批評家・黒瀬陽平を招いたイベントの開催で13回を数えましたが、学生たちにとって生涯を表現に捧げる



芸術学部641諏訪敦研究室での、学生たちのミーティング風景

先達と接した経験が、クリエイティブであり続けることを自分たちの問題として引き寄せ、志向する契機になればと私は願っています。



記者発表でプレゼンをするマツダ(株)前田常務執行役員(本学客員教授)

「マツダ・広島市立大学芸術学部
共創ゼミ」開設

～世界に誇れるモノづくりを！
広島発の新たな価値を提供する
人材育成～

芸術学部は、マツダ株式会社との協働により、新たなモノづくりと新たな時代を形成し得る人材を育成し、広島が世界に誇れるモノづくりを輩出する地となることを目指し、2017年度から新たに共創ゼミを開設しました(当面は2019年度まで)。

対象は、芸術学部2年次以上の学生、大学院芸術学研究科の学生等で、2017年度は、さまざまな学年・専攻の18名の学生が受講します。マツダ株式会社からの派遣講師と芸術学部教員の指導のもとで演習を行い、受講者にモノづくりのスキルを多角的に身に付けさせます。2017年度は、マツダ株式会社が世界最大規模のデザインの祭典等に出展する作品制作を題材として、道具について考察し、新たな価値(モノ)を創り出す考え方を学びながら、質の高い造形に仕上げしていく創作のプロセスを修得することを目指します。これらを通じて、広島発の新たな価値を社会に提供する人材の育成に取り組みます。



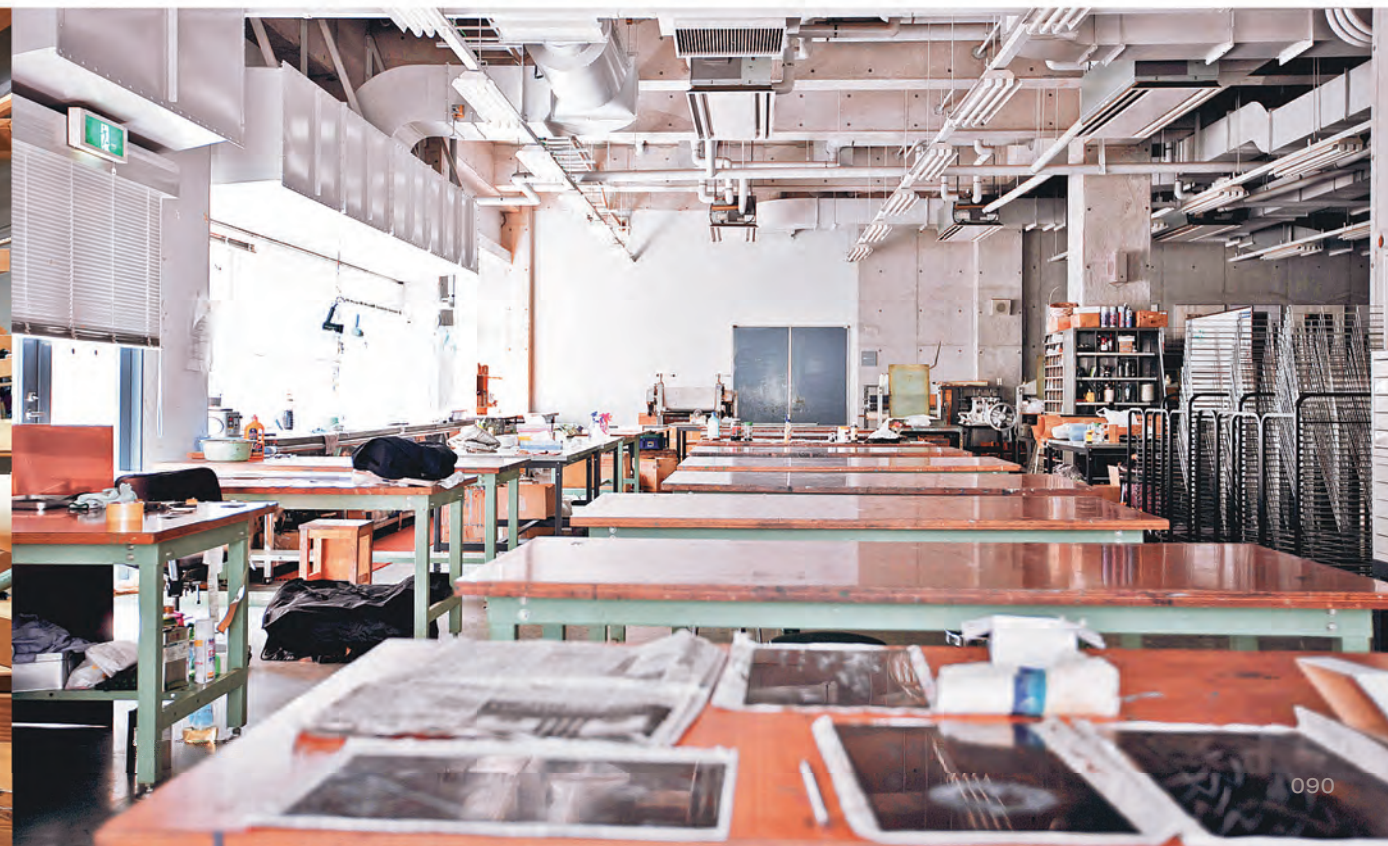
創作工房

- 石彫工房
- 木彫工房
- 金属工房
- テラコッタ窯場
- 鍛金・鍛造工房
- 彫金工房
- プラスチック塗装工房
- 織工房
- 染工房
- 漆工房
- 版画工房
- フレスコ室
- 石膏デッサン室
- 金属加工室
- 木材加工室
- CA+Tラボラトリー
- VCデザインスタジオ
- 2Dプリントルーム

- 3Dスタジオ
- 3Dプリントルーム
- メディアワークスタジオ
- アニメーションワークスタジオ
- コンピュータールーム
- フォトスタジオ
- アートシアター

実習アトリエ

- 日本画アトリエ
- 油絵アトリエ
- 彫刻アトリエ
- デザイン工芸実習室





芸術学部 美術学科 彫刻専攻 4年
矢坂 知嗣
明星学園高等学校出身

やらない後悔より、やって後悔。どんなことでも夢があるから挑戦できる。

街中に美術館が複数あり、文化的魅力も高い広島の地に引かれて入学を決めました。入学後は「悩むよりも行動する」ことを常に意識し、アートプロジェクト、インターンシップ、教育実習、サークル活動など、興味のあるものには積極的に参加しています。まずは行動。やらないで後悔したくはありません。1人で作品制作を行うことが多かった自分にとって、「大塚竹林パイオニアプロジェクト」(竹を素材にした作品を制作し展示するアートプロジェク

ト)に参加し、仲間と協力して制作を行った体験は、とても印象に残っています。完成したときの達成感と喜びは忘れられません。また、インターンシップで小学校を訪れた際には、子どもたちと接することの大変さを実感すると同時に得るものも多く、将来教師になるという夢を持つきっかけになりました。自分が置かれている状況に満足せず、さまざまなことに参加し交流を深めていくことで、自分の視野が広がっていることを実感しています。



芸術学部 デザイン工芸科 2年
田中 優菜
岡山県立岡山操山高等学校出身

学びや体験を通して成長を実感。幅広い分野に挑戦し続けたい。

瀬戸内海の似島(広島市南区)で1泊2日の研修に参加した際には、島にある自然のものだけを使い即興で作品を制作しました。また「島で芸術祭を開催すると仮定した場合、指定された予算内でどのような作品を作ることができるか」をテーマにプレゼンテーションを行いました。自分の作品イメージと予算をうまく折り合わせるのがいかに大変なことなのかを学びました。酒都・西条(東広島市)のイベント「ART in 酒蔵」では、小さなしめ

縄を編み合わせ、子どもが入れるほど大きなドーム状の作品を展示。作品として必要な耐久性などあらためて学ぶことが多く貴重な体験になりました。芸術以外の分野では、お薦めの本の魅力を持ち時間内で語り、観戦者が一番読みたくなった本を投票で決める「ビブリオバトル」に挑戦しました。大学での学びを生かすことで、中四国代表として全国大会へ出場することができ成長を実感しています。



芸術学部 美術学科 日本画専攻 3年
亀川 果野
熊本県立熊本第二高等学校出身

描くだけでなく、素材から知る。そうした学びに魅力を感じた。

高校生のときに日本美術院の公募展「院展」を訪れ日本画の美しさに引かれたことが、日本画の道へ進んだきっかけです。その出品作品の作者に、広島市立大学の教員が多く含まれていることを知り、この大学を選びました。入学して感じたことは、大学の施設はとてもきれいで設備が整っているということ。制作に集中して取り組むことができる環境です。日本画制作には無くてはならない岩絵の具や和紙を自分たちで作ったことは、とても印象に残っ

ています。岩絵の具の元になる岩を細かく砕き、普段私たちが使っている粉末状の顔料をつくります。和紙も自分たちですきました。描くための材料として接するだけでなく、素材や製法を実感することはとても重要な経験になりました。課外活動では、天文学研究会に所属し部長を務めています。人々を引っ張る「こと」について迷うことがあります。そんな時には基本を見直し、一つずつ積み上げていくことが大切だと考えています。



芸術学部 美術学科 油絵専攻 4年
定村 瑠子
富山県立南砺福野高等学校出身

イタリア研修で感じた歴史や文化の違いが、自分の視野を大きく広げる。

絵を描くことは好きでしたが、高校卒業後は美大ではなく教育の道へ進みました。進学後、初等教育の図画工作を学ぶうちに「美術の世界をもっと深めたい」と思うようになりました。基礎のデッサンから学び直し、2年かけて念願の広島市立大学へ入学。油絵の古典技法をはじめデッサンを通してものを考えさせるなど、基礎を大切にすカリキュラムが組まれていることが魅力でした。油絵専攻では3年次にイタリアでの古美術研修があります。イタリ

アは、教会の壁や天井一面に絵画が描かれているなど街全体が美術館のようでした。スケールの大きな歴史や文化に触れ、日本との違いを実感しました。このときの経験で自分の視野は大きく広がりました。大学で課題だけをこなして過ごすのはもったいない。大学の施設・設備・サポートなどのすべてをうまく利用することで、自分の道を見つけることができると思います。私はこれからも自分の「美術」を探究し続けていきます。



芸術学部の学生らが竹を素材として制作・展示した「大塚竹林バイオニアプロジェクト」でのライトアップセレモニーの様子

地域に貢献する広島市立大学

広島市の公立大学として、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指している本学は、
研究・教育等を通じて、地域貢献につながるさまざまな活動を行っています。

市大英語 eラーニング講座



独自のeラーニング英語学習システムを利用し、「リーディング・リスニング・文法」「スピーキング」「ライティング」「小学校英語教育指導者養成」「通訳ガイド養成」の各プログラムを学習する市民対象の自習型講座。特に、地域の社会人にとって、英語の「学び直し」の機会となっています。



市大生による パソコンなんでも相談室



情報科学部の学生たちがボランティア講師となり、地域のパソコン初心者の方を対象に、ワード・エクセルなどのソフトの使い方からSNSやスマホに関する質問まで、パソコンに関するさまざまな相談にのっています。地域の人たちから喜ばれているだけでなく、学生自身の勉強にもなっています。



「光の肖像」展



芸術学部美術学科油絵専攻の教員と学生・卒業生たちが、広島市の被爆者の方たち取材し、肖像を描いて展示する研究プロジェクトです。被爆者やその二世・三世の肖像を描くことで、風化しつつある被爆体験と失われつつある絵画芸術の価値と意味を問いかける展覧会となっています。



動物園ラッピングトラム



芸術学部の学生が、アストラムラインのラッピングデザインを行いました。広島市安佐動物公園で取材を行い、飼育されている動物(31種類)や足跡を配した、明るく楽しいデザインとなっています。2015年7月から広島市内を運行し、「アサズーライン」の愛称で市民に親しまれています。



デザインマンホール



広島市からデザインを依頼され、本学芸術学部が制作しました。例えば、マツダスタジアム周辺地区に設置されているものは、カープ坊やをモチーフとし、広島らしさが感じられる紅葉を配しています。背景のストライプは、デザインした当時のカープのユニフォームの模様が意識されています。



お好み焼 ショートムービー



芸術学部デザイン工芸学科・映像メディア造形分野の学生たちが、オタフクソース(株)とコラボレーションしてショートムービーを共同制作。オタフクソース(株)が全国から募集する「お好み焼の思い出エッセイ」の作品をベースに、学生たちがそれぞれの表現で映像作品化しています。





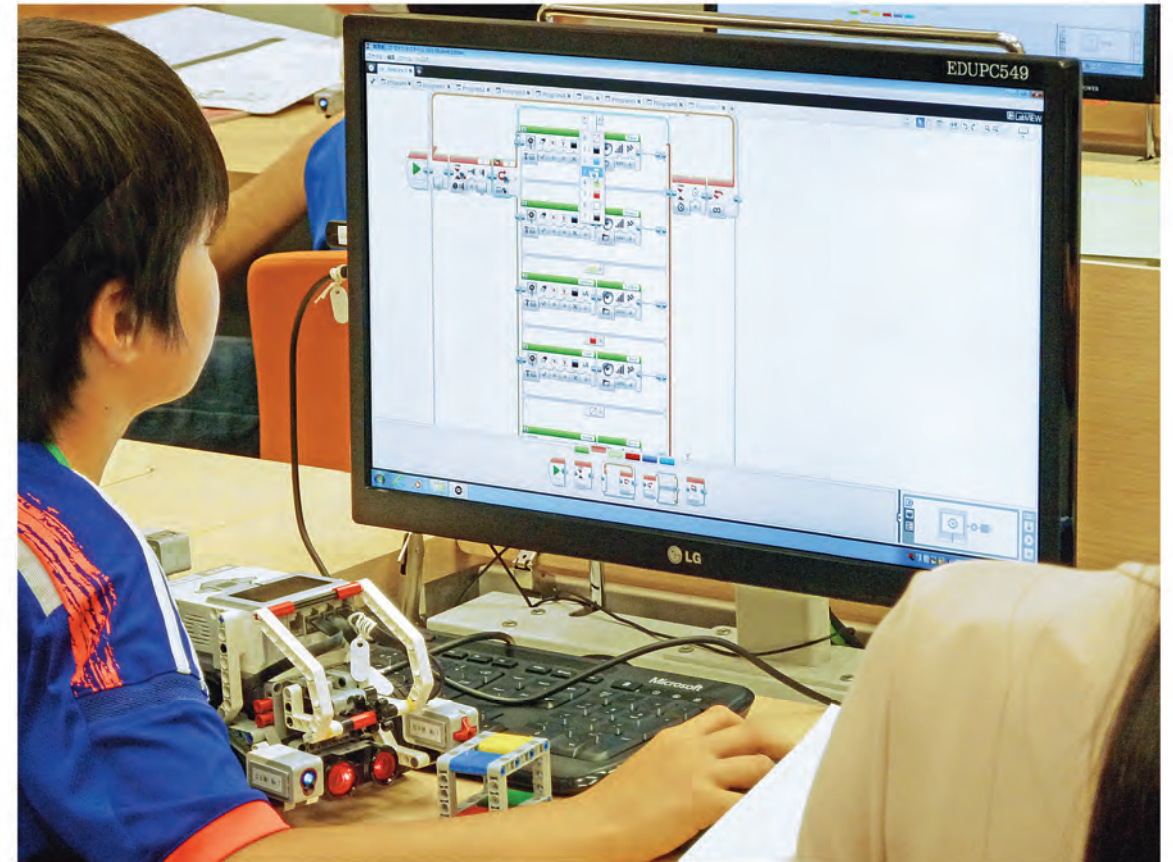
空店舗を活用した現地活動拠点「M98」

基町プロジェクト



大学生・小学生・地域の方々とのコラボレーションによる「クリスマス・ディスプレイ」

「基町プロジェクト」は、2013年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取り組みです。若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。実施に当たり広島市立大学と中区役所が連携し、2014年度から試験的な活動を開始し、「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を策定しました。2015年度よりこの基本コンセプトに基づいて、長期的な目標を見据えたプロジェクト活動に取り組んでいます。また、本プロジェクトは、広島市が2015年に被爆70周年を迎えるに当たり、被爆100周年を見据えて実施する「まちづくり先導事業」の1つに選定されました。プロジェクトでは、地域に〈学び〉、〈創造〉、〈交流〉の3つの場を創出することを柱として、さまざまなプログラムに取り組んでいます。



プログラミング等を学ぶ講座の様子

CS(ひろしまコンピュータサイエンス)塾



情報科学部の教員が中心となって指導に当たり、未来の科学者の卵を育成する教育プログラムです。卓越した意欲・能力を有する児童を見つけ出し、その力をさらに伸ばすことを目的としています。数学や理科はもちろん、さまざまな分野の学問が結び付いた「情報科学」を基礎の積み上げにより理解することは容易ではありません。そこで、小学5年生の段階から保護者と一緒に、「ラインレースロボット」を題材として、体験を重視した実験・実習を行うことで、高度で発展的な情報科学の知識や技術に年間を通じて継続的に触れる機会を提供しています。また、取り組みの中心は小学5、6年生の児童ですが、保護者も同一プログラムに参加することにも大きな特徴があります。これにより、取り組みの効果が単に参加児童だけでなく、家庭にも波及することが期待できます。本学のさまざまな特性を最大限に生かし、効果的な取り組みを実施している特別教育プログラムです。





町家を活用して開設したCOC+宮島教育研究施設(サテライトハウス宮島)での木板画合宿

COC+

文部科学省に選定された「地(知)の拠点大学」としてCOC+事業で地域社会に貢献

地域の創生や活性化には若い世代の力が不可欠です。公立大学である本学は、地域に定着し貢献する学生を育成していくことが、これまで以上に重要な使命となっています。2015年度に、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の実施校に選定され、地域が必要とする人材を育成するプロジェクトを進めています。本学が中心となって、広島地域の大学等8校と協働し、広島広域都市圏の市町に尾道市を加えた25の自治体や地域の企業と連携したコンソーシアム(協議会)を形成して事業を行っています。COCはセンター・オブ・コミュニティの略称です。まさに地域の拠点的な大学として位置付けられる存在となっています。

学生の地域志向マインドを育て地元で活躍する人材を送り出す

学生が地域に定着するには、市や町の魅力や課題に触れる中で、この地域に暮らして自己実現が可能だと思えることが前提になります。そうしたマインドを育てるためには、地域志向型の教育プログラムにより、学内での講義はもちろんのこと、地域の現場に向かいさまざまな活動を経験することによって、地域への理解や学習を深めていく必要があります。このため、2016年度から新しいカリキュラムとして、COC+「地域貢献特定プログラム」を設け、広島市の観光学や地域再生論入門、地域課題演習・地域実践演習などの科目群を整えました。また、参加大学等と協働した教育研究事業として、芸術学部による各地域でのアートプロジェクトを進めているほか、2014年度から広島市と取り組んでいる、基町プロジェクト事業との連携を図っています。COC+教育研究施設として、宮島に町家を活用した「サテライトハウス」も設けました。さらには、地域の観光振興に寄与するため、「観光関連データベース」を構築して、観光情報学をはじめとした教育研究に活用したり、学生と地元企業を結びつけるインターンシップ等の強化も進めています。こうした取り組みにより、この地域への愛着と認識を深め、ネットワークの形成力や企画力を持ち、専門性を効果的に発揮できる人材の輩出を目指しています。



北広島町茂津地区で実施するアートプロジェクトの視察



宮島伝統産業会館での、ろくろの技術習得



広島市中区基町地区のM98 (eat) を活用したグローバルキッチンプロジェクト



「地域課題演習」授業風景



「広島市の観光学」授業風景

広島市立大学COC+ 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業



●COC+参加大学等 9校が連携

- 広島市立大学 ○広島経済大学 ○広島修道大学
- 広島大学 ○広島工業大学 ○安田女子大学
- 尾道市立大学 ○広島国際大学 ○広島商船高等専門学校

広島・山口Area25



- 対象地域は、広島広域都市圏の市町と尾道市の25自治体

地域に定着し貢献する人材の育成

●育成を目指す人材像

地域の特性や 課題を理解 している	ネットワー クを形成、調整 できる	総合的 視野から 企画できる	専門性を 効果的に 発揮できる
-------------------------	-------------------------	----------------------	-----------------------

広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」

事業テーマは、地域の観光振興・活性化

●広島市立大学COC+の人材育成のため取り組み

- ①地域志向の教育カリキュラムを実施
広島市の観光学、地域再生論入門、地域課題演習など多彩に開講
- ②観光関連データベースの構築
集積した観光情報を教育研究や観光の振興に活用
- ③参加大学等が協働し教育研究事業を実施
学生による各地でのアートプロジェクトや地域活動など
- ④インターンシップの強化
地元企業の魅力を知る機会を増やす取り組みなど

学生の地域内就職率の向上を目指す

大学院

Graduate School

大学院の目的と特色

■大学院の目的

- ① 高度な学術知識や能力を修得した研究者および専門職業人の育成
- ② 21世紀の地球社会の多種多様な課題を発見、解明、解決するとともに、世界平和の構築に貢献する人材の育成
- ③ 最先端の学問領域を究め、社会の多様性と変化に即応しうる知性と感性と創造性を併せ持つ人材の育成
- ④ 地域と連携し社会に開かれた教育・研究の推進によって、多様化する地域社会の充実と発展に貢献する人材の育成
- ⑤ 高度な学際的関心と旺盛な知的好奇心を持ち、専門的学術研究を志向する社会人のための生涯学習の支援

■教育・研究の特色

1

高度な専門的教育・研究

- 専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究方法を取り入れた教育・研究を行います。
- 最新の学術情報に接するとともに、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2

高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

- 高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を超えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
- 物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

3

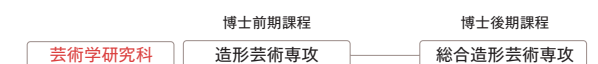
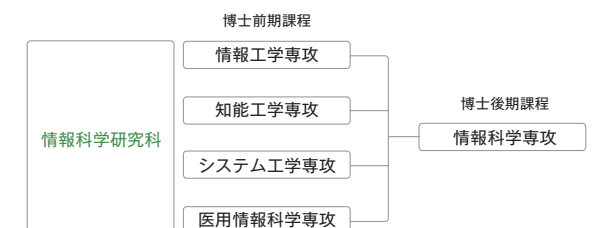
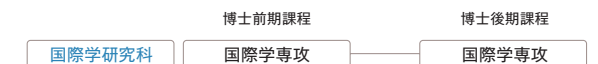
論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

- 論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
- 研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

■大学院組織図

自己の研究をより深め、
視野・思考の幅を広げる大学院の研究

最先端の学問領域を究め、知性と感性と創造性を研ぐための学問の場である広島市立大学大学院。3つの研究科のそれぞれが、専門分野の高度な研究につながる授業科目群を設置するとともに、学際的な知識を修得して調和のとれた人間形成を図る科目群「21世紀の人間と社会」を開設。社会の指導的役割を果たす能力と人間力を育てていきます。



全研究科共通科目群

学際的な視野から、明日の地球社会を見つめる

全研究科共通の選択必修科目群「21世紀の人間と社会」は、人文科学、社会科学、自然科学、芸術学など、既存の縦割りによる学問領域を超えて、より広範な学際的領域で編成されています。これらの科目群を通してさまざまな分野の本質に触れることで、学問研究に対する調和のとれた思考と柔軟な批判精神を養うと

もに、修得した専門知識を再構築する機会となります。このように、大学院では専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、常に、新鮮な視点、多様な問題意識、柔軟な判断力を養う、先を見通しにくい21世紀の社会に役立つ調和の取れた教育・研究を行っています。

■開設授業科目

<p>◎国際関係と平和 広島平和研究所長 吉川 元</p> <p>20世紀の平和と安全保障の概念の変容について講義するとともに、冷戦後になぜ、新しい安全保障の概念や活動が展開されるようになったのか、その背景を考察します。そして、21世紀の平和と安全保障を俯瞰します。</p>	<p>◎日本論 教授 佐藤 深雪</p> <p>20世紀初頭に、夏目漱石は、自己本位と則天去私に基づいた個人主義によって独自の立脚点を得ました。ヘンリー・ジェームズにおけるヨーロッパとアメリカの関係と対比しながら、漱石の「私の個人主義」と「現代日本の開化」を中心に論じ、「日本」について考察します。</p>
<p>◎道具論 教授 及川 久男 ほか</p> <p>道具がどのような存在であるかを論じます。道具存在論、道具が開く文明と文化の歴史、過去と現在、未来論、形態と機能、美意識の国際比較、美術、工芸とインダストリアルデザインとの違いなど、道具を使う立場、つくる立場、考える立場、商う立場にとっての道具のありようの見方を論じます。</p>	<p>◎人間論A(人文・社会科学) 准教授 柿木 伸之</p> <p>人間は歴史的・社会的・文化的・哲学的・教育的存在です。この前提に立って、人間学的視点から、また人類学的視点から人間論を展開します。現代社会は加速度的に急激な変化をしており、人間の本質、生き方、あり方を探究することは、極めて重要な意味を持ちます。</p>
<p>◎人間論B(自然科学) 非常勤講師 戸山 和久</p> <p>人間の大きな特徴は「心」を持っていることだといわれてきました。一方で、人間は動物であり、さらに究極的には物質にすぎません。こうした唯物論的な見方に立った上で、人間の心をどのように捉えていけばよいのか、心の科学と心の哲学の交差する領域の問題を考えていきます。</p>	<p>◎科学技術と倫理 非常勤講師 石田 三千雄</p> <p>科学倫理や技術倫理、科学者・技術者の責任、技術の文明論的考察、生命操作技術の倫理や生命倫理学の倫理性、科学技術と公共性、市民の関与、技術倫理の仮題、技術者倫理教育の現状などを論じます。</p>
<p>◎情報と社会 非常勤講師 橋 啓八郎</p> <p>私たちが生活している社会は情報化社会、電子社会等と呼ばれて久しい。現状では情報化、ITと称されている電子技術、情報通信技術によるコンピュータおよびそれら結び合うネットワークシステムが重要な社会基盤と考えられ、それらの発展により私たちの生活や社会情勢が大きく変化しつつあります。本講義では経済、法制度、倫理、文化、国際関係等に情報関連技術の発展により、どのような問題が生じるのか、今後どのように対処すればよいかを検討します。</p>	<p>◎都市論 教授 吉田 幸弘 ほか</p> <p>グローバル化やマルチメディア技術の普及とともに都市はますます不可視となってきました。機械化、ネットワーク化する都市は、他方で生命体としての人間のエコロジー回帰を促してもいます。そもそも都市とは何だったのか、歴史の原点に遡り、かつ未来都市を構想しつつ、また視野を広く地球規模に広げて、世界に知られる都市広島においてこそ論じなければならない、21世紀の都市像とそのデザイン方法について実践事例や現地見学を含めて講じます。</p>

大学院での教育・研究

国際学研究科

国際学部での学びは、大学院の国際学研究科に進学することで、より高度で先端的な研究へと発展させることができます。国際学研究科には、2年間学んで修士の学位取得を目指すコース(博士前期課程)と、修士を取得した上でさらに3年間研究を続けて博士の学位取得を目指すコース(博士後期課程)が設置されてい

ます。大学院では、近年の研究成果と研究手法を取り入れ、高度な専門教育を行うとともに、研究領域を越えた広範な横断的視点から学際的な研究を指導します。そして、論理的、創造的、独創的な考え方をもち、幅広い学識と豊かな人間性を備えた人材を育てることを目標としています。

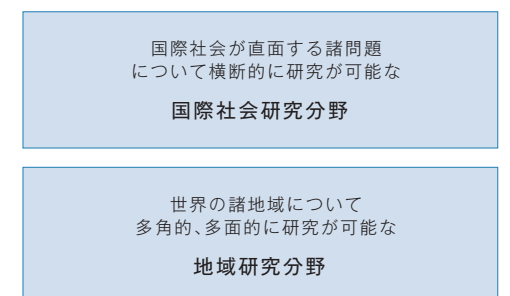
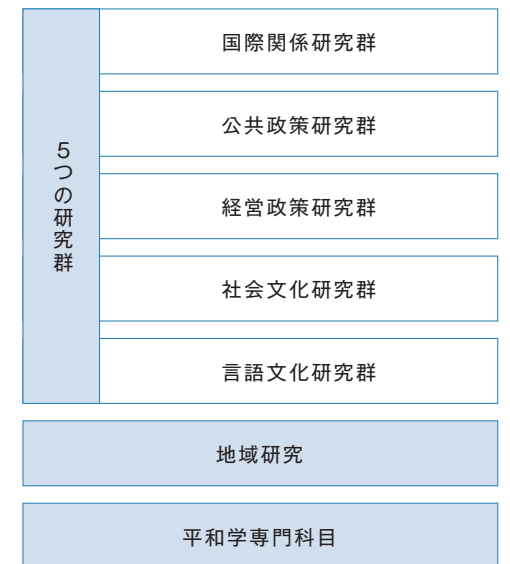
■博士前期課程

国際学研究科の博士前期課程では、5つの研究群、地域研究、そして平和学を学ぶための科目があります。

5つの研究群の内訳は、国家、民族、国際組織、NGOなどの動きを観察する「国際関係研究群」、公共関連組織、民間企業、NPOなどの役割・機能について考察する「公共政策研究群」、経営知識、理論、実践の学修を目指す「経営政策研究群」、文化の相互交渉と個人間の相互行為から人類社会を分析する「社会文化研究群」、そして、言語と文化や社会の幅広い関わりに多様な視点から迫る「言語文化研究群」があります。地域研究では、既存の学問、またはそれを横断する視点から地域を観察します。また、平和学を学ぶためのコア科目やピース・インターンシップなども用意されています。以上の研究群、地域研究、または平和学専門科目から所定の科目と、全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文等を作成し、それが認められれば修士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。また、中学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(英語)を取得していれば、所定の科目を修得することで、それぞれの英語の専修免許状を取得することもできます。

■博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程と比べてさらに専門性が高く、高度な教育、指導を受けながら研究を進めます。そのために博士後期課程では、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭に、包括的な2つの専攻研究分野で教育課程が編成されています。それらは、国際社会が直面する諸問題について横断的に研究が可能な「国際社会研究分野」と、世界の諸地域について多角的、多面的に研究が可能な「地域研究分野」です。博士後期課程においても、所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、その内容に応じて、博士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。



情報科学研究科

情報科学研究科は、21世紀の「情報技術」の先端的分野・情報科学と諸学問との学際分野において柔軟な発想と開発力で貢献する人材養成が目標です。そのために、創造性、自立性を養う

自主プロジェクト演習など、科学技術の高度化と多様化に対応したカリキュラムを編成しています。情報科学研究科における人材育成の目標は以下の4つです。

<p>1</p> <p>コンピュータおよびネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材</p>	<p>2</p> <p>知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材</p>
<p>3</p> <p>広範な価値観のもとでシステム全体の高性能化と協調を図る広い視野を持った研究開発能力を身に付けた人材</p>	<p>4</p> <p>分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材</p>

■博士前期課程

情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、医用情報科学専攻の4専攻からなり、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータとネットワークを創生する能力、②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し、それをシステム化する能力、③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力、④さまざまな分野間の研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力、⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材を養成します。

全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士(情報工学または情報科学)の学位を取得できます。

■博士後期課程

情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4系から構成され、以下のような教育・研究を行っています。

- 情報工学系:次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
- 知能情報科学系:人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
- システム科学系:複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
- 医用情報科学系:情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究

前期課程と同様に所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、博士(情報工学または情報科学)の学位が授与されます。

芸術学研究科

芸術学研究科は、高度な文化芸術の創造・発展に貢献することを理念とし、美術、デザイン、工芸に関する卓越した創作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を

果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を養成することを目的としています。芸術学研究科は、人材育成の目的を達成するため、次のような特色を持った教育・研究を行っています。

<p>1</p> <p>古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究を行っています。</p>	
<p>2</p> <p>新しい素材や技法への研さんを深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究を行っています。</p>	
<p>3</p> <p>現代社会に対応する芸術領域の研究として、創作への深い理解に基づいた理論や歴史の教育・研究を行っています。</p>	
<p>4</p> <p>理論の習熟を基にした創作を探究し、創造表現およびその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究を行っています。</p>	
<p>5</p> <p>地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究を行っています。</p>	

■博士前期課程

博士前期課程では、美術、デザイン、工芸に関する幅広い知識と高度な技術、深い感性を体得させ、その基礎となる豊かな学識を養うことにより、将来、作家、デザイナー、教育者、研究者、学芸員(キュレーター)、ギャラリストなどの領域において指導的な役割を果たすことができる、幅広い視野と高度な表現力を持った人間性豊かな専門家を養成することを目標としています。

■博士後期課程

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造・表現の技術と理論を研究し、芸術文化に関する幅広い識見を有する芸術家および研究者を育成します。他領域との融合を重視し、学際的な識見を持ち、円満な人格と豊かな人間性に貫かれ、併せて時代に対応する創造性豊かで国際的視野を有する人材を養成することを目的としています。

広島平和研究所

Hiroshima Peace Institute

広島市立大学に広島平和研究所が設立されたのは1998年4月のことです。当研究所は、被爆地・広島で平和を模索し、平和を創造するための学術研究機関として重要な役割を担っています。なぜ戦争は勃発するのでしょうか。なぜ核兵器の廃絶ができないのでしょうか。なぜ世界各地で武力紛争が絶えず、多くの人々が貧困に苦しんでいるのでしょうか。なぜ平和であっても、多くの国で政府は国民を虐げ、人権を侵害するのでしょうか。平和と人間の安全保障とは、いったいどのような関係にあるのでしょうか。

平和創造にも人間の安全保障にも、多くの課題があり、さまざまな障害が横たわっています。こうした疑問の解明に取り組む

ことが広島平和研究所に課せられた使命です。そして得られた平和研究の成果を学生たちとも共有しています。

平和外交を展開してきたはずの日本なのに、その日本を取り巻く東アジアの国際関係は、今日、世界でもっとも緊張する地域の一つであり、これまで以上に平和創造は喫緊の課題として私たちに突きつけられています。

平和創造と人間の安全保障の実現には、政治と外交が重要な役割を果たします。その政治と外交を動かすのは、まさに皆さんの平和観であり、学術的に裏打ちされた見識です。広島市立大学でわれわれとともに平和について学びませんか。

広島平和研究所長 吉川 元

●国際平和文化都市広島の「知」の拠点

世界初の核兵器による被爆を体験した「広島」の地に生まれた総合大学として、本学では、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、附置研究機関である広島平和研究所を設置しました。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造に取り組んでいます。

●市民、そして世界への情報発信

広島平和研究所の活動状況は、随時ウェブサイトやニュースレターなどにより世界に向けて情報発信しています。研究成果は、「国際シンポジウム」や「フォーラム」および「連続市民講座」等の開催や、紀要「広島平和研究」、「広島平和研究所ブックレット」等の出版物、論文などにより市民に広く公開しています。

●学部・大学院教育への参画

本学の学部教育では、「平和研究Ⅰ/Ⅱ」、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A（ヒロシマと国際平和）」、「広島からの平和学：実践の方法」、「平和インターンシップ」、「国際化時代の平和」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」、「HIROSHIMA and PEACE Fall Seminar」、そして「歴史学」、「法学（日本国憲法）」の各講義を研究所教員が担当しています。また、平和構築・核兵器廃絶のための優れた研究・研究者を育成するために、大学院博士課程前期・後期の教育にも参画し、研究成果を教育に還元しています。



担当科目紹介

◎広島からの平和学：実践の方法

広島における平和の取り組みは、被爆体験を出発点としつつ、世界の多様な課題にも目を向けてきました。本講義は、広島の平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ2年生以上を対象とし、広島の経験を生かして平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶことを目的としています。広

島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学びます。最終レポートでは、自ら参加可能な実践活動案に関する提言をまとめます。

◎平和インターンシップ

広島市周辺に存在する広島平和記念資料館、広島市郷土資料館、広島市現代美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学

しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題をより多角的に学びます。本インターンシップは、「広島からの平和学：実践の方法」の後期日程でも実施します。

◎平和研究Ⅰ/Ⅱ

広島平和研究所教員による国際学部向けのオムニバス形式の講義です。[Ⅰ]では、現代の世界において平和を創造するために何が求められているのかを学問的に追究するために、平和研究に関する基本的な概念や枠組み、方法論を修得するとともに、当分野における問題点、課題などを学びます。広島・長崎をはじめとして戦争体験に根差している地域の視点を

主眼に据えつつ、国家から個人に至るさまざまなレベルから平和を創造するためのアプローチを考察していきます。[Ⅱ]では、平和および紛争研究の具体的な事例について、広島平和研究所各教員の研究成果を参考にしながら学び、現代の国際社会が直面する課題について考えます。

附属施設

Facilities



附属図書館

附属図書館長 塩田 芳文
(特任教授)

図書約33万冊、雑誌約400誌、視聴覚資料約1,600タイトルをコンピュータで集中管理。必要な所蔵資料をスピーディーに手に入れることができます。館内には無線LAN環境が整備されており、Web情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできます。また、新しく開設されたラーニング・commonsでは、ディスカッションもでき、多様な学習や交流に役立つ場となっています。地域にも開放された、多彩な空間を持つ図書館です。



語学センター 語学センター長 渡辺 智恵(国際学部教授)

各教室にCALL(コンピュータ支援による言語学習)システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、eラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL英語集中」や「eラーニング英語」の教室としても利用されています。自習室では、約4,500点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK語学講座のテキストやCDが利用可能です。新たに開設されたランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気での外国語での会話や交流を楽しむ場として利用されています。

情報処理センター

情報処理センター長 石田 賢治(情報科学研究科教授)

高性能なネットワーク通信機器を備え、さまざまなネットワークサービスを提供しています。実習室にはパソコンを約160台設置し、1年生の必修科目である「情報基礎」の教室や自習スペースとして活用されています。教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できます。実習室以外では、学内のあちこちでメールやWeb閲覧ができる無線LAN、休講・補講情報が確認できるデジタルサイネージ、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備も整備しています。



キャリアセンター

キャリアセンター長 井上 智生(情報科学研究科教授)

学生自らがキャリア(進路)について考え行動できるように、求人情報などの就職関連情報を随時提供することに加え、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を多数招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。



国際交流推進センター

国際交流推進センター長 松本 良徳(特任教授)

学生の海外留学派遣および留学生受入に関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けても、熱意のある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り開いていこうとする学生を後押ししていきます。

芸術資料館

芸術資料館長 藁谷 実(芸術学部教授)

教育・研究のための参考資料として、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチほか、国内外の作家の作品を収蔵しています。また、研究成果としての作品群「光の肖像」シリーズ、デザイナーズチェア67点など、幅広い分野の収集を行っています。企画展や研究発表展の開催、国内外の美術館への作品貸出により、コレクションを一般に公開しています。学生は授業や展覧会でこれらの作品を鑑賞することにより自らの制作に生かし、創作の水準を上げるよう努力しています。





県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

社会連携センター 社会連携センター長 竹澤 寿幸（情報科学研究科教授）

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでいます。その対象は、地域住民、地元企業、広島市をはじめとする行政機関などさまざまです。社会貢献活動の中心的役割を果たす「社会連携センター」は、大学と社会、人と人をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携・地域連携の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。また、2015年度から文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を実施しています。



産学連携研究発表会



ヒロシマピースキャンプ2016

◎社会連携センターが支援する産学連携・地域連携の取り組み事例

研究成果の産業界への還元を通じた社会貢献

研究成果の社会還元を推進するため、企業等と連携した共同研究や技術相談を実施しています。

- 産学連携研究発表会
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談

行政や市民団体との協働による社会貢献

地域住民や広島市と協力しながら地域の活性化を目指します。

- 行政課題解決への協力
- NPO、市民等との協働事業
- 生涯学習支援
- 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 基町プロジェクト活動拠点施設「M98」での地域再生事業

知的財産の管理と活用

知的財産の権利化、管理、技術移転を行います。

公開講座の開催

市民を対象としたさまざまな公開講座を開催します。

- 一般市民向けの講座、中学・高校生向けのサマースクール、社会人向けの技能講座
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

◎2016年度公開講座

学部	区分	テーマ
国際学部	一般向け講座	イスラーム復興主義(過激主義)と中東情勢
	市大英語eラーニング講座	リーディング・リスニング・文法プログラム スピーキングプログラム ライティングプログラム
情報科学部	高校生対象講座	高校生による情報科学自由研究
	社会人対象講座	実践情報科学セミナー ●ヘルスケアIoTとその国際標準化動向 ●Android/mbedプログラミングによるロボット制御入門 講演会 ●土砂災害から身を守るためのICT技術 ●人間の言葉を理解するコンピュータ
芸術学部	一般向け講座	日本画、油絵、版画、彫刻、視覚造形、染織造形
	中・高校生向けサマースクール	日本画、油絵、彫刻、デザイン工芸
	社会人向け工芸・版画技能講座	金工、染織、版画、漆

◎2016年度県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

言語を通じて世界を知る

- 隣国ロシアとその言葉:対露イメージの変動とロシア語の特徴
- 日本人はラテン語・ポルトガル語をどのように受容したか〜キリシタン時代から現代の南米移民まで〜
- 英語圏の風刺漫画を通じて2015年を振り返ろう
- グローバル言語としてのアラビア語

ひろしま学を考える

- ひろしまの海がつかない人・物・情報—よみがえる中世の港町—
- サダコとイサム・ノグチから見るヒロシマ
- ひろしまの英学:明治期を中心に
- 中世・近世のひろしまの絵画

◎2016年度市大生チャレンジ事業

学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を助成しています。

テーマ	内容
伝統的板目木版画技法による宮島観光マップ製作のための調査研究	COC+プロジェクトの一環として、板目木版画技法による「宮島すごろく観光マップ」の製作のため、板目木版画およびすごろくの調査、研究を行う。
市大生によるパソコンなんでも相談室2016	大学で学ぶ情報科学の知識を市民や社会に還元するとともに、自身のコミュニケーション能力を向上させる。
地域交流と社会貢献を兼ねたランドアートプロジェクト	本学近隣にある竹林の整備を行いながら、伐採した竹を用いて作品の制作を行い、地域との関わりを深め、社会問題である竹害について考える。
地域商店街活性化への貢献	地域の文化発信拠点の横川シネマに学生がコンテンツを提供することにより、地域文化の発展に貢献する。
広島の中学・高校生を対象としたプログラミング教室	コンピュータの仕組みやプログラミングについて知ってもらい、将来を担う立派なIT技術者を教育することを目的とする。
ヒロシマピースキャンプ2016	平和記念式典に参加する国内外の来訪者のための臨時キャンプサイトを運営する。

学生座談会

テーマ

「広島で暮らすこと」

「この大学を選んだ決め手」「広島での暮らしで感じること」「学内イチオシの場所」など、東京・長崎・広島から集まった学生3人それぞれの視点から、広島や広島市立大学の魅力について話を聞きました。



情報科学部
情報工学科 2年
徳永 彩香さん
長崎県立長崎北陽高等学校出身

芸術学部
美術学科 3年
大村 知空さん
東京都立世田谷総合高等学校出身

国際学部
国際学科 3年
木谷 和さん
広島国際学院高等学校出身

——「広島市立大学」を選んだ理由・学びの内容

- 大村** 僕は、芸術学部で彫刻を専攻しています。彫刻専攻は4年間を通して、人体塑像を中心に与えられたテーマに沿って自由に制作を行っていきます。今は粘土の造形力など、しっかり技術が身に付いてきていると実感しています。高校時代は美術の道に進みたいと考えていましたが学費も大切な要素なので国公立の大学を探していました。広島市立大学は国公立の美術系の大学の中でも、寮を含めて施設や設備などの環境が整っている大学であることを知り入学を決めました。
- 木谷** アルバイト先で知り合った芸術学部の先輩が「作品制作に必要な道具や画材を購入するため最初にお金がかかる」と話していました。学費面は確かに大切なことですね。国公立の美術系大学って珍しいんですか？
- 大村** はい。レベルの高い学びができる大学を求めると選択肢は少なくなります。私大との学費の差は大きく、私大の1

年分がこの大学の4年分ぐらいだと思います。木谷さんの話のように画材費だけでもかなりの出費ですが、広島市立大学後援会からの助成金を活用することができるので作品制作や展示会への参加など積極的に活動できています。

徳永 県外から来ていると一人暮らしの生活費もかかるので助成金があるのはいいですね。私がこの大学を選んだのは、情報に特化した「情報科学部」があるからです。地元の長崎にはあまりない分野でした。情報数学系の基礎を学びながらサークルや大学祭実行委員会の活動にも参加しているため日々の勉強は大変ですが、基礎力があってこそ2年次以降の研究につながっていくのだと思います。これからはプログラミングについて深く学んでいくつもりです。

木谷 私は地元である広島市内にあって国際関係の学びができる大学を探していました。広島市立大学のオープンキャンパスに参加して大学の雰囲気の良いに引かれた

こともあります。国際学部には5つのプログラムがあり、その中から自分の興味のある分野が学べます。自分の知識の幅を広げていける環境だと考えました。将来は英語の教師になることも考えていたため教員免許が取得できることも魅力でした。今は言語・コミュニケーションプログラム系の科目を中心に学んでいますが、第2言語の習得にも力を入れています。



——広島ってどんなところ？

- 徳永** 木谷さんが県外に出ない選択をしたのには、何か理由があったんですか？
- 木谷** 広島県の外に出たいと思ったことがないんです。広島はごはんもおいしいし、風土も暮らしやすい。
- 大村** 広島に来て個人的に感じたことは、広島の人が一番「広島」を愛しているということ。地元愛の強さを感じますね。特にスポーツの面でより強く思います。
- 木谷** 広島には、野球、サッカー、バレー、バスケットボール…。さまざまなプロスポーツが盛んに行われています。スポーツは自分ですること観戦することも好きです。サンフレッチェ広島が好きなので、大学に近いエディオンスタジアムでよく観戦しています。地元が一体となってスポーツを盛り上げていこうとしているところは広島だからこそ感じます。
- 徳永** エディオンスタジアムは大学から見える場所にあるので身近にスポーツを感じることができますね。先ほど木谷さんが話していましたが、広島のごはんは確かにおいしい！私はやはり、お好み焼きが好きです。広島と関西で作りが違いますが、私は広島のお好み焼きのほうが断然好きです！甘くてトロっとしたソースも大好きです。
- 木谷** お好み焼き！私も好きです。広島で、「広島焼き」とか「広島風」って言うと嫌がられることを知っていましたか？

広島でお好み焼きといえば、そばやうどんが入るのが当たり前なんです。

- 徳永** ああ！聞いたことがあります。地元の人にとってのあのスタイルが「お好み焼き」だから、「広島焼き」だと別物になってしまうんですね。気を付けていきたいと思います。
- 大村** びっくりしたことといえば、コンビニで肉まんを買った、からしと酢醤油が付いてくること。東京では何も付かないんですよ。
- 木谷** え！！何も付かないんですか、驚きました。付いてくるのが当たり前だと思っていました。長崎は何か付いてきますか？
- 徳永** 長崎も酢醤油は付きますが、私は何も付けない派です。
- 木谷** そうなんですね。何気ないところにも地域によって差があるんですね。
- 大村** 広島は歴史遺産がたくさんありますが、宮島がすごく楽しかったです。宮島へ渡る船を下りたらすぐに鹿がたくさんいたこと。何より宮島の景色と鳥居には感動しました。潮が引いたときには鳥居の近くまで行くことができます。鳥居が地面に触れる根元を見たときは、大昔に海の中でこんな大木で鳥居を造ったんだと実感し、とても感動しました。
- 徳永** 彫刻専攻だからそういうところを見てしまうんでしょうね。私は広島を中心街や宮島、尾道などいろいろな場所を家族と巡りました。どの場所も山や川が近くにあり都会的な暮らしの中に自然が共存しているところが魅力的です。福山にも行ってみたいと思っています。
- 木谷** 宮島や尾道は広島に住んでいても行きたくなる場所です。宮島は最近おしゃれなカフェが増えてきていて県内の人もよく訪れています。尾道もこのごろ猫の町として観光客が増えていますね。
- 大村** 原爆ドームと平和記念資料館は想像以上に街中に建っ



ているんだなという印象でした。現代の街と歴史遺産を同時に感じることができる広島は特別な地だと思います。

徳永 私は長崎出身なので平和学習は身近な存在でした。長崎とは違う広島を知ることができ「この都市で学んでいる」ということを意識するようになりました。平和都市というメッセージは広島の方だと感じます。

木谷 県外で育った人の視点で広島についての意見を聞くことで、自分には当たり前になっていたことが特別だったということに気付きました。国際学部には夏休みの間に行われる「HIROSHIMA and PEACE」という平和を学ぶプログラムがあり世界中の学生が広島市立大学に集まって意見交換を行います。参加した私の友達は「大変だけどやりがいの方が大きい」と言っていました。



—— 個性的で、一見ばらばらに感じる3学部。交流の場は？

大村 サークル活動や寮生活の中での交流が多いです。特に寮は3学部の学生が集まっているのでたくさんの交流の輪が広がっています。

徳永 サークル活動は交流の場として大きい存在だと思います。私が所属する大学祭実行委員会は3学部から集まった学生が大学祭を盛り上げていきます。運営の現場では大変なこともあります。個性的な人たちが集まり力を合わせることで、充実した大学祭を行うことができたと思います。

大村 個性的な3学部があるところが市大らしさですね。文系と理系のどちらもあふる大学だから、大学祭では芸術学部や国際学部の学生が飾りつけや展示物などを作り、情報科学部の学生がプログラミングや電気系を使う機械的な部分を担当する。そうした3学部の連携で面白い大学祭になっていると感じます。

木谷 サークル活動はもちろんですが、体育や言語など共通科

目の授業でも他学部の学生との交流がありますね。一見ばらばらに思える3学部だけ一緒に何かをする機会は意外と多いですね。

—— 広島から海外へ。

木谷 去年の夏に短期研修でハワイ大学マノア校に行きました。そこでは日本とハワイのコミュニケーション方法の違いや文化について学びました。フラダンスも体験したんですよ。パールハーバーを訪れ平和について考える機会もあり、密度の濃い充実した経験となりました。皆さんは留学した経験はありますか？

大村 木谷さんの話を聞いてハワイに興味を持ちました。芸術学部ではフランスやドイツなどへ留学するチャンスがあるので積極的に利用していきたいです。留学の他にはアーティストを海外に派遣し国際交流を促す「レジデンスプログラム」があります。期間は1カ月からもっと長いものまでさまざまです。情報科学部はどうですか？

徳永 アメリカやシンガポール、マレーシアに短期留学するプログラムがあります。現地の文化を学びコミュニケーションを取ることを目的としています。私は英語に苦手意識があり海外に行ったことがありませんが、入学後、実践的な英語の学びが増えたことで「英語は楽しい」と思えるようになりました。これからは英語でのコミュニケーションを経験してみたいです。



—— 広島市立大学のお気に入りの場所

木谷 皆さんは、市大の中で落ち着く場所や好きな場所はありますか？私の場合は図書館です。施設も整っていてきれいだし、「いちこも」(図書館内の施設：ラーニング commonsの愛称)は図書館だけでなく友達としゃべりながら過ごす



ことができる！

徳永 普通の図書館は私語厳禁だけど「いちこも」は会話自由。私もテスト前にはみんなで教え合いながら勉強できるのでよく利用しています。

木谷 個人で集中したいときには「自習室」、みんなで話し合ったり教え合ったりしたいときには「いちこも」、という使い分けができるところがいいですね。

大村 この大学は広すぎず狭すぎず、ちょうどいい距離間が保てる規模の大学だと思います。何気なく歩いていると、こんな所があったんだという新たな発見もあります。芸術学部棟の中では隅っこに集まって秘密基地のようにして楽しんだりしています。彫刻の制作現場は山に近い場所にあるので、朝とても心地良く好きですね。

徳永 私は講義棟と情報科学部棟の間にある「長崎平和の鐘」のある場所が好きです。市大に入学してすぐの「キャンパスウォーキング」で構内を回って初めてその存在に気付きました。なんでここにあるの！と初めは驚きましたが、広島にいながら故郷である長崎を近くに感じるこ

ができてうれしいです。

—— これから入る人に向けて、メッセージ

木谷 国際学部では、平和についてのプログラムが充実しています。広島だから学べること、それがあふるのが市大だと思います。

徳永 情報科学部は、個性的な人がたくさん集まる学部です。プログラミングやゲームが好きで自分で実際にゲームを作ってしまう人とか、いろいろなものに興味を持った学生が集まっているところがとても面白いです。それと、ほかの大学の情報科学科に比べて女子の比率が高いほうだと感じます。分野が同じで学びたいことが同じという女の子同士で友達がつくれますよ！

大村 自分のやりたいことを伸び伸び学べる大学です。設備も整っているのでどんどん利用して4年間を過ごしてください。美術系の学生だけがいる美大ではなく、総合大学だからこそ交友関係も広がりますよ。



探そう「私」の広島三ツ星



数多くの名産や名所、季節の催し、そして広島を拠点に活躍するプロ選手たち。

広島はさまざまなジャンルの魅力で溢れています。

ここでは、地元の方も県外からの方も楽しむことのできる

広島の魅力を紹介します！

広島のお祭り

FESTIVAL

フェスティバル

広島3大祭りである、「とうかさ」「住吉祭」「えびす講」以外にも、

アジアで唯一のアニメーションフェスティバルや、日本最大級のパレードなど数多くのイベントが開催されている。



とうかさ

広島市中区にある圓隆寺の総鎮守である「稻荷大明神」のお祭り。毎年6月の第一金曜日から3日間開かれる。広島の初夏を告げるお祭りで、浴衣の着初め祭りとされている。



フラワーフェスティバル

1975年のカープセ・リーグ優勝パレードを機に毎年開催されるように。平和大通りおよび平和記念公園周辺をメイン会場に、花車のパレードやよさこいパレードなどが開かれる。



広島国際アニメーションフェスティバル

アジアで唯一のASIFA公認のアニメーションフェスティバル。世界4大アニメーションフェスティバルの一つで2年に1度、8月に広島で行われる。

広島3大プロ

PROFESSIONAL

プロフェッショナル

プロフェッショナル(広島3大プロ/P3HIROSHIMA)

広島が誇る広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープの3大プロが、「PRIDE(誇り)」「PASSION(情熱)」「PROSPECTS(期待)」の3つのPのもとに力を結集し、さまざまなコラボレーション活動を継続的に展開している。



広島交響楽団

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラ。



サンフレッチェ広島

1992年設立。「サンフレッチェ」は、日本語の「三」と、イタリア語で矢を意味する「フレッチェ(frecce(複数形))」を合わせたもので、毛利元就の「三本の矢」の故事にちなんで付けられた。



広島東洋カープ

原爆投下により壊滅的被害を受けた広島の復興をスポーツでも盛り上げていこうと1949年設立。広島城のことを「鯉城」と呼んでいたことなどから、「広島東洋カープ」というチーム名に。

広島の食文化

GOURMET

グルメ

中国山地に囲まれ、瀬戸内海をつつむように位置する広島。

山と海の両方から恵を受けて、牡蠣をはじめとした、たくさんのお名産品が生産されている。



広島レモン
(全国生産量1位)

瀬戸内の温暖で雨の少ない気候はかんきつ類の栽培に適しており、その中でも広島県のレモンは呉市、尾道市、大崎上島町などの島しょ部を中心に生産され、日本一の生産量を誇っている。



広島カキ
(全国生産量1位)

広島湾は島や岬に囲まれ、波が静かで潮の流れも適度にあり、高品質で安心・安全なカキの生育に良い条件がそろっている。殻付、剥き身を含め、全国出荷量の約6割を占めている。



お好み焼き
(人口1万人当たりの店舗数全国1位)
(ソース消費量全国1位)

お好み焼き店舗数は現在、広島市内に約900店舗、広島県内においては約1,700店舗もあり、広島の食文化として定着している。



探そう「私」の広島三ツ星

広島
交通機関

PUBLIC TRANSPORT

交通機関

およそ100年の歴史を持ち、いまでも広島を走る路面電車や、
新交通システムと呼ばれる「アストラムライン」など、歴史と現代の交通機関が調和している都市。



路面電車
(年間輸送人員、車両数全国1位)

1910年に広島電気軌道として開業。以来、100年以上広島市内を中心に運行が続いている。2013年には、年間輸送人員と車両数が全国1位となる。



日本初の国産乗合バス
「かよこバス」(横川～可部間)

1905年2月5日に日本で初めての国産乗り合いバスとして横川～可部間で運行が開始された。可部の「か」と横川の「よこ」を取り、「かよこバス」という名称になった。



アストラムライン
(新交通システムの営業キロ全国1位)

日本語の「明日」に英語の「トラム(電車)」を組み合わせて、路線を意味する「ライン」を加え、アストラムラインという愛称に。新交通システムとしての営業キロ数全国1位。

広島
特産品

LOCAL SPECIALTIES

特産品

広島県には多くの伝統工芸があり、被爆を乗り越えいろいろな技術を脈々と現在に伝えている。
さらに特産品で特に優れたものは「ザ・広島ブランド」として認定されている。



熊野筆
(毛筆、化粧筆、画筆の出荷額全国1位)

広島県安芸郡熊野町で作られている「熊野筆」。職人の手によって一つずつ丁寧に作られている。



宮島細工
宮島杓子・宮島彫り・宮島クロコ細工
(しゃもじ生産量全国1位)

江戸時代の終わり頃、厳島神社建設のために、鎌倉・京都から宮大工や指物師が招かれその技術の流れを工芸品としてくんだことが始まり。1982年に伝統的工芸品として国から指定を受けた。



広島針
(手縫い針生産量全国1位
縫針：国内生産量100%)

製造の歴史は遠く三百数十年前、広島藩藩主の浅野家が下級武士の手内職として普及させたことが始まり。手縫針、待ち針の全国生産量の9割以上を占める最大の針の産地となっている。

COC+
エリア

ART & OUTDOOR LEISURE

アート & アウトドアレジャー

Q 「COC+エリア」って？

本学では、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」により、広島・山口両県にまたがる25市町を「COC+エリア」(事業協働地域)として、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を進めています。広島市立大学の「COC+エリア」には、にぎわいのある都市部をはじめ数多くの観光地、瀬戸内海や中山間地の自然や田園など、たくさんの魅力があります。「こんな所があるんだ!」「今まで知らなかった!」など、気になる場所をどんどんチェックして、お気に入りの場所を見つけてみませんか？



COC+エリアの
美術館

1 ウッドワン美術館

マイセンやゴッホ、ルノワールなどを収蔵。隣接する温泉・スキー場なども魅力。

2 泉美術館

日本近代の洋画、日本画、中国陶器、彫刻、古美術、木彫などを落ち着いた空間で堪能。

3 ひろしま美術館

フランス印象派を中心にゴッホ・モネ・ルノワール・ピカソなどの巨匠の作品を常設で展示。

4 広島県立美術館

広島にゆかりのある画家の作品を中心に収蔵。隣接する縮景園の四季折々の景観も楽しむことができる。

5 広島市現代美術館

デザイン・建築・映像などの作品も積極的に収集した、現代美術の総合的な美術館。

6 東広島市立美術館

日本の近現代版画、現代陶芸を柱にし、郷土ゆかりの作家の作品も多数収蔵。

7 蘭島閣美術館

日本の近代絵画を中心に収蔵している、本格的木造建築の美術館。

8 たけはら美術館

竹原出身の池田勇人元内閣総理大臣が愛蔵していた「池田コレクション」などを収蔵。

9 耕三寺博物館

耕三寺耕三氏が母の菩提寺として建立したお寺の一部を博物館として公開。

市大生は鑑賞無料

《美術館キャンパスメンバーズ制度》

学生により多くの芸術作品に触れてもらうことを目的に、「広島県立美術館」および「ひろしま美術館」のキャンパスメンバーズ制度に加入しています。本学の学生は、学生証の提示でこれら2つの美術館の常設展・特別展(広島県美術展を除く)を**無料で鑑賞**することができます。



広島県立美術館



ひろしま美術館



10 平山郁夫美術館

広島出身の画家、平山郁夫の貴重な少年時代からの絵画やスケッチなどを展示。

11 尾道市立美術館

しまなみ海道を一望できるロケーションで、芸術・文化に接することができる空間。

12 和木町立和木美術館「アート・ウィング」

絵の展示だけではなく、家族向けのイベントも開催。

13 岩国美術館

戦国時代から幕末までの武士の武具や武家の生活を彩ってきた芸術品などを収蔵。

14 平生町歴史民俗資料館

遺跡や古墳が多い平生町で発掘された縄文時代の遺物が数多く展示。

15 久賀歴史民俗資料館

町の伝統文化を後世にも伝えていくため、町民が使っていた民具などの資料を展示。など



広島県は比較的温暖な気候で、年間を通じて晴天が多く、スポーツに適した環境です。

瀬戸内海沿岸では海水浴やマリンスポーツ、サイクリングなど、北部ではキャンプ、スキー、スノーボードなどアウトドアレジャーが楽しめます。



COC+エリアの
スキー場

1 スノーフィールドもみのき森林公園

広くて、なだらかな傾斜のゲレンデ。初心者や中級者に最適のスキー場。

2 女鹿平温泉めがひら

スキー場に、温泉・宿泊施設が隣接。最長滑走距離2,300mのロングコースが特徴。

3 恐羅漢スノーパーク

西中国山地国定公園。冬はスキー、夏はキャンプなど1年を通じて楽しめる施設。

4 芸北国際スキー場

天然雪のスキー場。西日本最大級の広さを誇る。

5 ユートピアサイト

日本最大級の人工造雪設備。雪不足の心配なく、西日本最速でオープン。



COC+エリアの
海水浴場

1 包ヶ浦海水浴場

世界遺産・宮島の中にもあり、歴史文化と自然を一度に体感することができる。

2 県民の浜海水浴場

「日本の渚百選」「日本の水浴場」にも選ばれたすばらしい景観を持つ。

3 大久野島海水浴場

うさぎ島でもっとも豊かな緑とうさぎに囲まれたきれいなビーチ。

4 瀬戸田サンセットビーチ

海水浴場のほか、キャンプ場などの施設が充実。夕日スポットとしても有名。

5 片添ヶ浜海水浴場

山口県内で最も早く海開きする海水浴場。環境省選出の「快水浴場百選」にも認定。

6 逗子ヶ浜海水浴場

青少年旅行村の中にある海水浴場。キャンプやサイクリングなども満喫できる。

Campus Calendar

キャンパスカレンダー

4月

- 春季休業
- 入学式
- オリエンテーション
- 市大キャンパスウォーキング
- 前期授業開始
- 交換留学生とのパーティー
- 情報科学部
新入生オリエンテーションセミナー

5月

6月

- ごみゼロ・クリーンウォーク
- プレ・オープンキャンパス(18日)

7月

- セタライブ
- オープンキャンパス(30日)

8月

- 前期定期試験
- HIROSHIMA and PEACE
- インターンシップ(~9月下旬)
- 夏季休業(~10月1日)

9月

10月

- 後期授業開始
- ライブキャンパス(9日)
- 通学路等クリーンキャンペーン
- ホームカミングデー(28日)
- 大学祭(28日、29日)

11月

- 防火・防災訓練の日

12月

- 冬季休業(~1月上旬)

1月

2月

- 後期定期試験
- 学年末休業(~3月下旬)
- 芸術学部卒業・修了作品展

3月

- 西風新都駅伝大会
- 卒業式、卒業・修了祝賀会

※2017年度のカレンダーです



入学式(4月)



市大キャンパスウォーキング(4月)



交換留学生とのパーティー(4月)



大学祭(10月)



オープンキャンパス(7月)



芸術学部卒業・修了作品展(2月)



セタライブ(7月)



HIROSHIMA and PEACE(8月)



卒業式(3月)



通学路等クリーンキャンペーン(10月)





Support 大学生生活サポート

学生の皆さんが安心して大学生生活を送れるように、大学としてさまざまなサポートを行っています。

1

経済面をサポート

● 特待生制度

2年次以上の学部生を対象として、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生に対して1人当たり年額200,000円の奨学金を給付する特待生制度があります。2年生から4年生の各学年10名の学生を特待生として選考し、奨学金を給付します。

● 奨学金制度

本学では「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っています。日本学生支援機構奨学金は、大学に在学する優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者に対して学費を貸与・給付するもので、無利子の「第一種」と、有利子の「第二種」があります。どちらも、出願者の中から、学力、人物、家計、健康を総合的に判断して、本学が日本学生支援機構に推薦します。また、自治体や民間団体などの奨学金で、大学を通して募集するものは、随時掲示して周知しています。

● 授業料奨学融資 利子補給制度

経済的な不安を抱える学生を支援するため、金融機関と提携し、授業料の融資を受けた学生に対し、在学中の利子を補助する制度を設けています。

● 入学科・授業料等の 減免・徴収猶予

入学前1年以内に被災した場合などの一定の要件で、入学科等の減免を受けることができます。(入学手続までにご相談ください。)また、「経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合」には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。

2

生活面(住居)をサポート

キャンパス内に学生寮があり、自宅からの通学が困難な学生のために提供しています。学生寮は4棟からなり男女各48室の個室を整備しています。入居期間を2年間として、毎年、男女各20名程度の新入生が入居しています。使用料は月額5,900円(共益費年額1,000円、光熱水費の実費は別途徴収)で、管理人も常駐していることから、経済的で安心できる居住スペースとして人気があります。また、1階はバリアフリーとなっており、車椅子で生活されてい

る方も安心して寮生活を過ごせます。入寮している学生同士の交流も盛んで、各種イベントが企画されたり、外国人留学生も入寮していることから国際交流の場にもなっています。学生寮以外の住居についても、アパート、ワンルームマンション、下宿などの賃貸情報を、学生の皆さんがいつでも閲覧できるようにしています。なお、2018年度からは、新たに国際学生寮(17・18ページに詳細)を設置する予定です。

3

課外活動をサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行うための経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報も随時提供しています。毎年6月には、市内一円で行われるごみゼロ・クリー

ンウォークに参加したり、秋には通学路等クリーンキャンペーンに参加したりするなど、幅広く活動機会を提供しています。その他、テントやクーラーボックスなどのキャンプ用品、ビデオカメラなどの視聴覚機器、そしてソフトボール用具やテニス用具などの運動用具等の無料貸出も行っています。

4

心身の健康と安全・安心をサポート

心と体の両面から快適な学生生活を過ごすことができるように、さまざまな配慮をしています。学生の「癒しの場」にもなっている「保健室」ではケガや病気の応急処置と健康相談を、落ち込んだ時の「支え」になる「相談室」では心配事や悩みを聞いたり「自分探し」を手伝ったりする学生相談を行っています。また、セクシュアル・ハラスメントを含む、学内のハラスメントの発生防止を図るため、

教職員10名をハラスメント相談員に任命し、苦情の申し出や相談に応じています。さらに、トレーニング方法などを体育教員がアドバイスする「スポーツ相談」も実施しています。他にも、通学中、授業中、またはクラブ活動中にケガをした場合などのために、傷害保険・賠償責任保険に加入したり、個人ロッカーの無料貸出を実施したりするなどのサポートをしています。

ラグビー部紹介 Message

私たちラグビー部は土曜日を含む週3日を練習日として活動しています。夏には合宿、秋冬にはリーグ戦、時には7人制ラグビー大会にも出場しています。大学の部活動ではありますが、練習日が多いため厳しいイメージを持たれます。しかし、選手とマネージャーの仲が良く、楽しく活動しています！

ラグビーと聞くと、「きつい」「ケガが多い」という印象が強いと思いますが、皆さんが想像したりテレビで見るとようなラグビーはしません！私たちは一人ひとりの能力に合わせた練習や体作りを行います。大学からラグビーを始めた！という初心者も在籍しています。

イメージだけで敬遠せずに、ぜひ一度、私たちの活動を見に来てください！ラグビーに対する印象が変わること間違いありません！

皆さんの大学生活が実り豊かなものになるよう、ラグビー部が彩りの一部となれたら幸いです。

トラック・フィールドでお待ちしています！



Clubs & Circles

クラブ & サークル

Sports (体育系)

[クラブ]

- サッカー部
- ラグビー部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- トライアスロン部
- 剣道部
- 男子バスケットボール部
- 弓道部
- アーチェリー部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- 水泳部
- 女子バレーボール部
- 合気道部
- ダンス部
- 女子バスケットボール部
- 卓球部
- T.A.S(ソフトテニス)
- 少林寺拳法部
- Olive(フットサル等)
- 空手道部

クラブ・サークルは、自分の可能性を広げるとともに新たな「つながり」をつくるきっかけにもなります。本学では、定番のクラブ・サークルに加えて、平和活動を行うクラブなど、ユニークなものも多数あります。学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しており、活発な活動を行っています。



サッカー部



硬式テニス部



トライアスロン部



弓道部



アーチェリー部



陸上競技部



ワンダーフォーゲル部



男子バレーボール部



女子バレーボール部



合気道部



ダンス部



空手道部

レゴマス部紹介 Message

レゴマス部は主にレゴブロックやロボット製作をする部活です。レゴマスというのはレゴマインドストームの略で、マインドストームというのはレゴ社が販売している教育用ロボットシリーズのことです。今年で3年目、部員数20人弱で週1回程度活動しています。部員は情報科学部生が多いですが、芸術学部生も何人かいてレゴブロックやポスターのデザインなどで活躍しています。今は大体半分がレゴブロック、もう半分がロボット製作をメインに活動しています。レゴブロックはLEGO Digital Designer (LDD) というレゴブロックの設計用フリーソフトを使ってパソコン上で設計します。レゴマス部では年に何度かこのLDDを使って部員内でのデザインコンテストを開催しています。ロボット製作では、マインドストームをレゴブロックと似た要領で組み立て、プログラミングすることでロボットとして動くようになります。簡単ではありませんが勉強しながら取り組むので、やりがいがあると思います。年に1度、大会への出場を目標に頑張っています。



Clubs & Circles

クラブ & サークル

Culture (文化系)

[クラブ]

- 茶道部表千家
- 裏千家茶道部
- 自主制作映画研究会
- Music Art Club (軽音楽)
- 電子音楽部
- マンドリン・ギター部
- 吹奏楽部
- 演劇部
- Table Game 研究会
- 上田宗箇流茶道部
- CREATIVE (創作活動)
- マスコミ研究会
- ねっこ広島 (環境ボランティア)
- Pret-a-Porter (ファッション)
- S2 (平和活動)
- レゴマス部
- アカベラ部regalo
- HIF (国際交流)
- 天文研究会
- Sign (手話愛好会)
- 落語研究会 落花生
- プログラミング同好会

[サークル]

- にっこり
- 熊猫 (パンダ) 会
- Bird's eye view (鳥瞰図)
- いちだい猫の会
- 版画部
- 美術部

- 大学祭実行委員会

秋に開催する大学祭の企画・運営をする組織です。



茶道部表千家



自主制作映画研究会



Music Art Club (軽音楽)



吹奏楽部



マンドリン・ギター部



演劇部



上田宗箇流茶道部



CREATIVE (創作活動)



ねっこ広島 (環境ボランティア)



S2 (平和活動)



Sign (手話愛好会)



- 1 本部棟・国際交流推進センター・キャリアセンター・保健管理室
- 2 講堂
- 3 図書館・語学センター棟
- 4 学生会館
- 5 エネルギーセンター
- 6 芸術資料館
- 7 芸術学部棟
- 8 工房棟
- 9 講義棟
- 10 国際学部棟
- 11 情報処理センター
- 12 情報科学部棟
- 13 情報科学部棟別館・広島平和研究所・社会連携センター
- 14 体育館
- 15 グラウンド
- 16 トラック・フィールド



講堂
壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部教員たちの作品を生かした、本学ならではの施設です。大小のホールと、国際会議も可能な同時通訳設備や大型スクリーンがあるなど、機能も充実しています。



保健管理室(保健室・相談室)
心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾病の予防」と「健康相談」、「カウンセリング」を中心に健康の維持増進を図ります。

Campus Map

キャンパスマップ



学生会館
学生食堂、喫茶、そして売店などがあります。売店は2016年度にリニューアルオープンし、いちだいいちば(愛称「いちいち」)と命名されました。



学生食堂



体育館
バスケットコートが2面使用できるアリーナや、本格的なトレーニングルーム等を備えた施設です。授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多目的な利用が可能です。



学生寮
他県など遠方からの入学生に対して安価な住居を提供しています。1・2年生の男女、100名弱が同居して共同生活を営んでいます。キャンパス内にある学生寮の1階はバリアフリーになっており、車イスの方でも安心して利用できます。外国人留学生も同居しており、国際交流の場になっています。



グラウンド、トラック・フィールド
全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能なグラウンド、トラック・フィールドがあります。クラブやサークル活動以外にも利用することができます。

広島市立大学 サテライトキャンパス



所在地：広島市中区大手町四丁目1番1号
大手町平和ビル9階

本学の市中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進のため、市中心部にサテライトキャンパスを開設しています。セミナールームやPCルーム、小教室などを備えており、各種講演会、セミナー、公開講座を実施するほか、学生と地域住民との交流の場としても活用しています。

就職

Careers

進路支援の2つのポイント

1

大学をあげての支援

学生のキャリア形成支援・就職支援は、文字どおりキャリアセンターが中心となって全学的に取り組んでいます。大学説明会・情報交換会・合同企業説明会の開催、大阪・東京・岡山方面の企業研究ツアーの実施、各種就職支援セミナーの開催、保護者対象の教育・進路説明会の実施など、さまざまな角度からの就職支援を、後援会と連携・協力しながら取り組んでいます。

2

きめ細かな個別指導

教員と学生の距離が近い本学は、就職支援でもその環境が生かされた細やかなサポートを実現しています。キャリアセンターでは、就職活動だけでなく個別の進路相談に対応しています。志望や適性に沿って一人ひとりに合った指導を行い、キャリア形成を支援しています。

キャリア・就職サポート

■ インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置付けています。単に体験するだけでなく、実習と事前セミナーや報告会とを組み合わせるものを目指し、インターンシップ研修の充実や協力企業

の開拓にも取り組んでいます。また、広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動も行っています。



広島東洋カーブ 企業インターンシップ(国際学部生対象)

広島東洋カーブは、カリブ海の国、ドミニカ共和国に、地元の若手野球選手たちを育成する施設(カーブアカデミー)を設置しています。ここで現地のスタッフと一緒に仕事をしながら、さまざまな体験をすることができます。また、インターンシップを通じて、自ら期限を

決め、スケジュール管理を行うことや予定外の事態にも臨機応変に対応できるように準備しておくことの重要性など、社会人として大切な事柄を学ぶことができます。

在日米国総領事館 インターンシップ

在日米国総領事館(大阪)の学生インターンシッププログラム(電話での顧客対応、データ入力、企業リサーチ、展示会等のイベント補助など)への参加を通じ、学生が異文化に触れる機会や国際的に活躍

する人材と交流する機会を提供しています。学内で公募・選考し、年2回(夏休み・春休み各1名、約1カ月間)派遣しています。

広島市有給長期 インターンシップ

広島市が2014年度から実施している有給のインターンシップです。企業と学生が雇用契約を締結し、夏休み期間中の1カ月程度、受入企業の実際の職場で働きながら与えられた課題に取り組むインターンシップです。参加学生には受入企業から賃金が支払われるた

め、企業の一員として責任を持って働くことが求められます。また実際の業務に従事することで、働くことについての具体的なイメージを持つことができます。

■大学説明会・情報交換会

大学説明会では、約250社の企業の採用担当者を招待して、学生および教職員が一体となって本学の概要や各学部、研究科の特色などを紹介しています。情報交換会では、学内外で活躍している学生によるポスタープレゼンテーションや

芸術学部卒業生・修了生作品のパネル展示を通じて、学生の意欲や資質をPRしています。学生によるプレゼンは企業の方から好評をいただいています。



■就職支援パートナーシップ制度

本学は、「就職支援パートナーシップ制度」に参加しています。この制度は、在籍する大学がある地域とは異なる地域で就職（Uターン、Iターンなど）を希望する学生のために、各大学がサポート（地元の求人情報の閲覧、学内合同企業説明会の情報提供、就職相談、就職ラウンジの利用など）を行うものです。

パートナー大学

- ◎横浜市立大学 ◎兵庫県立大学 ◎信州大学 ◎名古屋市立大学
- ◎北九州市立大学 ◎大阪市立大学 ◎都留文科大学
- ◎静岡県立大学 ◎福井県立大学 ◎国際教養大学

■キャリアアドバイザー

キャリアセンターには2名の経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しています。随時個別相談に応じ、模擬面接やエ

ントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

■学内合同企業説明会

企業の採用担当者と学生の情報交換の場として実施しています。2017年3月には2018年3月卒業・修了予定の学生を対象に3日間で198社の企業の参加がありました。「市大生を採用したい」と熱望される企業ばかりで、毎年、この説明

会の参加企業に多くの学生が内定し、就職しています。近年では本学卒業生が採用担当者として参加することが多くなり、人のつながりが広がっています。



■キャリア形成・実践科目

「キャリアデザイン」、「キャリアサポートベーシック」は、キャリアセンターが提供するキャリアデザインのための全学共通科目です。進路や職業選択に向けて、大学で何を学び、大学生活をどう過ごせばよいかを考えながら、キャリアデザインを実現するため、特に働くことと就職に関する具体的な知識・スキルを学びます。外部講師や卒業生を招いての講義も組み込まれています。他にも適職診断や礼儀・マナー講座などさまざまなセミナーを実施しており、これらが互いに連動して実践力を身に付けられるようになっています。





国際学部 国際学科4年
引地 有希

キャリアセンターで何度も背中を押していただきました。

どうしても行きたかったインターンシップにエントリーシートで落選しました。「駄目だった理由が知りたい」と思った私は、初めてキャリアセンターに駆け込みました。エントリーシートの添削以外にも、就職活動や社会人マナーについて一から丁寧に教わりました。就活が本格化した頃、面接練習の最中に、張り詰めた想いが溢れ出して涙が止まらなくなったこともあります。しかし、どんなに言葉が詰まっても、最後まで話を聞いてもらえ、何度押しかけても、納得がいくまで、そして自信が持てるまで、アドバイスし続けていただきました。一番うれしかったのは、面接前日、「あなたなら大丈夫」と笑顔で送り出してもらえたこと。キャリアアドバイザーの方に出会えたからこそ、胸を張って会場に向かうことができたのだと思います。将来のことで何か迷ったとき、まずキャリアセンターを訪ねてみてください。今までたくさんの学生を指導してきた心強いアドバイザーの方々が、夢に向かう皆さんの背中を押してくれることでしょう！



情報科学部 知能工学科4年
浮田 真人

合同企業説明会でやりたいことが決まりました。

私は就職活動を行う際、多くの企業説明会に参加することに力を入れました。それは、私が企業のことをよく知らず、自分の将来の業種に迷っていたからです。そのため、大阪や東京での合同企業説明会や大学でも開催されている学内合同企業説明会など多くに参加しました。そこで、さまざまな業種の話聞くことで、初めのうちは漠然としていたやりたい仕事の像が、次第にはっきりしていきました。そこから、企業別で開かれる説明会に参加し、企業の雰囲気を感じ、働きたいと思う企業を選びました。面接では、多くの企業の話聞いていたこともあり、なぜ、この仕事がやりたいのかを詳細に話すことができました。これから就職活動をする人には、将来を決めるのは難しいことですが、多くの企業を見て、納得してから選んでほしいと思います。



芸術学部 デザイン工芸学科4年
野添 ゆかり

インターンシップで企業を知ることができました。

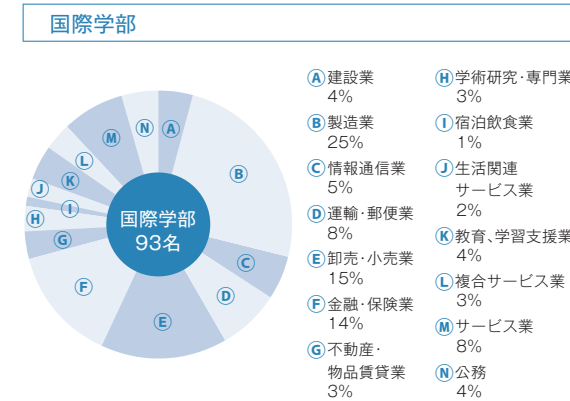
私は大学でデザインについて学んでおり、在学中に制作した作品をまとめたポートフォリオの作成を始めました。初めて就職活動を意識し始めたのは3年次の5月頃からです。私は、自分が興味のある職種に絞り、就職活動を行いました。中でも、実際にインターンシップへ参加した企業では、他県・他大学の就職活動生と交流し、大学では得ることのできないさまざまな刺激を受けることができました。デザインすることに対して企業がどのような意識を持って取り組んでいるのかも知ることができ、入社したいという気持ちがより大きくなりました。私は最終的に、インターンシップを行った企業にご縁をいただき、入社することを決めました。気になる企業があれば、ぜひインターンシップに参加し、就職活動に生かしてほしいと思います。

※学年は取材当時

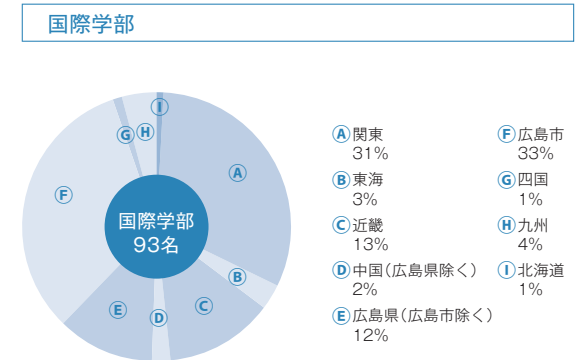
2017年3月大学卒業者の学部別就職状況

区分	国際学部	情報科学部	芸術学部	合計
卒業生(名)	111	203	81	395
就職希望者(名)A	93	126	39	258
就職決定者(名)B	93	124	36	253
就職決定率 B/A×100(%)	100	98.4	92.3	98.1
(参考)進学者(名)	7	66	22	95

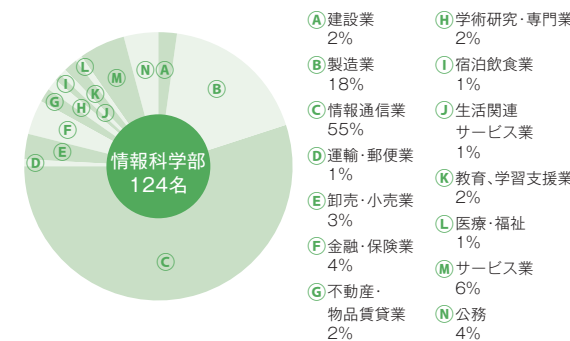
業種別就職状況



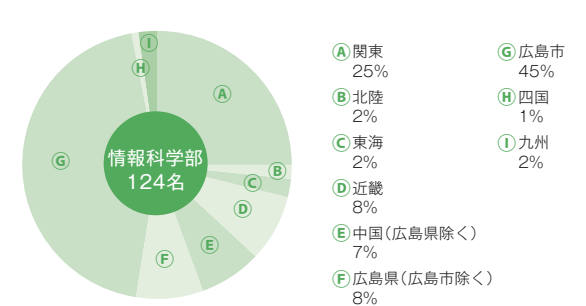
地域別就職状況



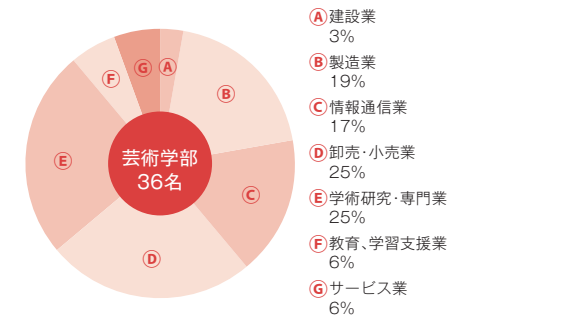
情報科学部



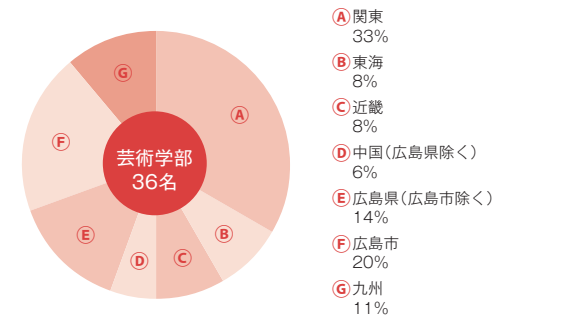
情報科学部



芸術学部



芸術学部



国際学部

国際学部卒業生は、国際機関、企業、公務員、教員、国内外の大学院など、幅広い進路で活躍しています。

企業に就職

各プログラムから提供される専門科目、そしてそれらを複数のプログラムから選択して学修することにより、専門性と幅広い視野を兼ね備えた国際学部の卒業生は、国内外の数多くの企業で活躍しています。

主な就職先(五十音順)

- | | | | |
|---------------------|------------------|---------------------|-----------------------|
| ●アサヒビール(株) | ●JFEスチール(株) | ●西日本高速道路(株) | ●(株)百十四銀行 |
| ●(株)アシックス | ●(株)JTB中国四国 | (NEXCO西日本) | ●(株)ファーストリテイリング |
| ●味の素(株) | ●重慶長安鈴木汽車有限公司 | ●西日本電信電話(株)(NTT西日本) | ●(株)フジクラ |
| ●イオン(株) | ●(株)商工組合中央金庫 | ●日産自動車(株) | ●富士ゼロックス(株) |
| ●(株)伊予銀行 | ●(株)新潮社 | ●日本銀行 | ●富士通(株) |
| ●岩谷産業(株) | ●新日鐵住金(株) | ●日本航空(株)(JAL) | ●(株)船井総合研究所 |
| ●(株)ウッドワン | ●住友生命保険(相) | ●(株)日本政策投資銀行 | ●(株)プリンスホテル |
| ●(株)エイチ・アイ・エス | ●積水ハウス(株) | ●日本通運(株) | ●マツダ(株) |
| ●エーザイ(株) | ●セコム(株) | ●日本郵便(株) | ●(株)ミカサ |
| ●SMBC日興証券(株) | ●全日本空輸(株)(ANA) | ●日本アイ・ピー・エム(株) | ●ミスノ(株) |
| ●(株)NTTドコモ | ●ソニー損害保険(株) | ●(一財)日本国際協力センター | ●(株)みずほフィナンシャルグループ |
| ●(株)エフピコ | ●ソフトバンク(株) | ●日本生命保険(相) | ●三井住友海上火災保険(株) |
| ●大塚製菓(株) | ●損害保険ジャパン日本興亜(株) | ●日本放送協会(NHK) | ●(株)三井住友銀行 |
| ●オタフクソース(株) | ●第一生命保険(株) | ●(株)日本旅行 | ●(株)三越伊勢丹 |
| ●オリックス(株) | ●大陽日酸(株) | ●野村證券(株) | ●三菱重工業(株) |
| ●(株)オンワード樺山 | ●大和証券(株) | ●バイエル薬品(株) | ●三菱UFJ信託銀行(株) |
| ●カルソニックカンセイ(株) | ●高砂熱学工業(株) | ●パナソニック(株) | ●三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) |
| ●関西エアポート(株)(関西国際空港) | ●武田薬品工業(株) | ●バンドー化学(株) | ●(株)明治 |
| ●キュービー(株) | ●(株)中国新聞社 | ●広島アルミニウム工業(株) | ●明治安田生命保険(相) |
| ●(株)共同通信社 | ●中国電力(株) | ●広島エフエム放送(株) | ●(株)もみじ銀行 |
| ●麒麟ビール(株) | ●(株)中電工 | ●広島ガス(株) | ●(株)モルテン |
| ●(株)クボタ | ●ツネシホールディングス(株) | ●(株)広島銀行 | ●(株)リクルートホールディングス |
| ●KDDI(株) | ●(株)ディスコ | ●広島信用金庫 | ●(株)リコー |
| ●コカ・コーラウエスト(株) | ●東海旅客鉄道(株)(JR東海) | ●広島テレビ放送(株) | ●(株)りそな銀行 |
| ●(株)サタケ | ●東京海上日動火災保険(株) | ●広島電鉄(株) | ●リョービ(株) |
| ●サノフィ(株) | ●TOTO(株) | ●(株)広島東洋カーブ | ●(株)ワールド |
| ●サントリービバレッジサービス(株) | ●東洋ゴム工業(株) | ●(公財)広島平和文化センター | |
| ●(株)サンフレッチェ広島 | ●西川ゴム工業(株) | ●広島放送(株) | |
| | | ●(株)ヒロテック | |

公務員・教員

広島を中心に、公務員や教員として活躍している卒業生を多数輩出しています。

主な進路は、広島県内では

- 広島市 ●広島市教員 ●広島市消防局 ●廿日市市 ●東広島市 ●福山市 ●三次市 ●三原市 ●広島県 ●広島県警察本部 ●広島県教員

また、広島県外では

- 岡山県 ●倉敷市 ●岩国市 ●東京都教員 ●香川県 ●警視庁 ●外務省 ●厚生労働省 ●国土交通省 ●防衛省 ●法務省

など多岐にわたっています。

大学院に進学

より専門的な学修や高度な研究を目指す卒業生は、大学院に進学しています。

博士前期課程を修了した卒業生は、企業、国際機関、教育機関などで活躍しています。

また、博士後期課程に進学して大学教員として活躍している卒業生もいます。

Voices(卒業生)



Voices
(卒業生)

すぐそばにある異文化体験

広島市立舟入高等学校

菅原 康裕

2013年3月 国際学研究所 博士前期課程 国際学専攻 修了

「自分中心の世界を脱して、相手を理解することを学んだ」。引率した海外研修の感想として、こんなことを言ってくれた生徒がいました。「常識」とは何だろうか。「異文化理解」とは何だろうか。私はこの大学で文化人類学という学問と、素晴らしい恩師たちに出会いました。自分の「常識」という見慣れた世界から一歩踏み出し、他者の「文化」という未知なる世界に触れることで見えてくるものがある。この大学での経験は、私を新しい世界に引き込んでくれました。人はそれぞれが異なった価値観を持っています。外国という異文化に触れることで学んだ、相手を理解したいという姿勢は、実はすぐそばにいる友だちを理解しようとする 것과何も変わらなかった。文化人類学の哲学を、目の前の高校生が実体験として発見し、成長していくこと。そんな姿に気付くことができたのは、まさにこの大学での経験のおかげなのだと感じています。

想像力を働かせ、世界中の点を結ぶと見えてくる世界が変わる

青年海外協力隊(JOCV)
コミュニティ開発 モロッコ派遣

中本 彩希子

2014年3月 国際学部国際学科 卒業

私は、青年海外協力隊員としてモロッコで活動しています。活動内容は、村落部の就学できない女子の現状を調査し、就学・生活支援を行うことです。女子が就学できない理由を「貧困」や「慣習」とひとくりにまとめて対応するのではなく、一人ひとりの声を注意深く聴き、背景をよく知った上で課題に取り組んでいます。私の中東世界との出会いは大学時代にあります。在学中にシリアへの旅行とエジプトでの語学留学を経験し、そこで見たこと、感じたことを講義やゼミの中で掘り下げていきました。そして、テレビや新聞の中にあつた中東世界と私の生きる「ここ」が初めてつながりを持ちました。世界中の出来事、歴史、モロッコと日本、彼女と私。想像力を働かせ、世界中のさまざまな点を結ぶと、見えてくる世界が変わります。大学時代の学びから、いつも当事者として状況を理解し働きかけることを大切にしています。



Voices
(卒業生)

情報科学部

情報科学部卒業後は、大きく分けて2つの進路があります。会社員、公務員、教員として社会に巣立つコースと、さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識や技術を修得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業で活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています。

主な就職先(五十音順)

- I M V(株)
- (株)インターネットイニシアティブ
- ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
- (株)ウッドワン
- (株)エディオン
- NECソリューションイノベータ(株)
- N T Tコミュニケーションズ(株)
- (株)N T Tデータ中国
- (株)N T Tドコモ
- (株)エネルギー・コミュニケーションズ
- (株)鷗州コーポレーション
- (株)カプコン
- キャノン(株)
- 協栄産業(株)
- (株)熊平製作所
- K D D I(株)
- (株)コア
- コンチネンタル・オートモティブ(株)
- (株)サイバーエージェント
- (株)サタケ
- (株)J M S
- 新川電機(株)
- スズキ(株)
- 住友林業(株)
- 総合警備保障(株)
- ソフトバンク(株)
- (株)ソルコム
- 第一生命保険(株)
- ダイハツ工業(株)
- 大和証券(株)
- (株)中国銀行
- 中国電力(株)
- (株)中電工
- (株)T S Sソフトウェア
- 東海旅客鉄道(株)(J R 東海)
- 凸版印刷(株)
- 西日本電信電話(株)(N T T 西日本)
- 西日本旅客鉄道(株)(J R 西日本)
- 日機装(株)
- 日本電気(株)(N E C)
- 日本特殊陶業(株)
- 日本郵政インフォメーションテクノロジー(株)
- 日本アイビーエム 中国ソリューション(株)
- (株)日本製鋼所
- 日本無線(株)
- (株)ノーリツ
- パナソニック(株)
- パナソニックアドバンステクノロジー(株)
- (株)日立インフォメーションエンジニアリング
- (株)日立公共システム
- 日立コンシューマ・マーケティング(株)
- (株)日立情報通信エンジニアリング
- (株)日立製作所
- (株)日立ソリューションズ
- (株)日立ソリューションズ西日本
- (株)広島銀行
- 広島信用金庫
- 広島電鉄(株)
- 富士重工業(株)
- 富士ゼロックス(株)
- 富士通(株)
- 富士通FIP(株)
- 富士通ソフトウェアテクノロジーズ
- (株)プリンスホテル
- ポッシュ(株)
- マツダ(株)
- (株)マツダE&T
- マツダエース(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- 三菱電機ビルテクノサービス(株)
- (株)ミライト
- (株)もみじ銀行
- (株)リクルートホールディングス
- リコージャパン(株)

公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。

これまでの主な進路は、

- 広島市 ●広島市教員 ●広島県 ●広島県警察本部 ●大阪府警察本部 ●警察庁中国管区警察局 ●国土交通省中国地方整備局
 - 財務省造幣局 ●防衛省海上自衛隊 ●防衛省航空自衛隊 ●東京消防庁 ●神奈川県教員
- などです。

大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。

これまで、

- 筑波大学 ●東京工業大学 ●電気通信大学 ●長岡科学技術大学 ●静岡大学 ●名古屋大学 ●北陸先端科学技術大学院大学
 - 奈良先端科学技術大学院大学 ●京都大学 ●神戸大学 ●広島大学 ●九州大学
- などの大学院に進学しています。



試行錯誤を繰り返し
成功を収めた瞬間の感動

マツダ株式会社

多賀 博紀

2016年3月 情報科学研究科
博士前期課程 情報工学専攻 修了

私は、コンピュータの上で自動車を作る仕事をしています。今取り組んでいる仕事は、開発に用いる専用のパソコンの中に、バーチャルで作った自動車を組み込んで、品質、安全の検証を行うための環境を構築しています。大学時代は、コンピュータの高速化を研究していました。研究の関係で、パソコンのコンテストに友人と共に参加したことがあります。コンテスト期間中は毎日、試行錯誤を繰り返し、何度もくじけそうになりました。しかし、本番で成功を収めた瞬間、今までで一番の感動を味わうことができました。仕事でも同じように試行錯誤する場面が多々ありますが、大学時代に得た知識と、苦労の後に喜びが待っていることを知っているのも、今ではその経験が生かされていると日々実感しています。

研究活動で培った
「なぜ？」を意識する姿勢

東海旅客鉄道株式会社(JR東海)

三倉 将太

2013年3月 情報科学研究科
博士前期課程 システム工学専攻 修了

私は現在、総合指令所にある在来線の運行管理を行うシステムの取替工事に従事しています。メーカーと協力し製作したシステムが、当社が望む仕様を満たしているかを確認しています。当社の重要な使命である安全・安定輸送の確保に直結する仕事なので、気を引き締めて業務に当たっています。大学時代はロボティクス研究室に所属し、情報通信、機械制御の研究をしていました。研究活動においては、自分が立てた仮説や得られた実験結果に対して、常に「なぜ？」と疑問を投げかけ、納得するまで考えることを心がけていました。この姿勢が、システム障害の原因追究や対策の検討、検査結果の合否判定など、日々の業務を円滑かつ確実に進める糧となっていることを実感しています。



芸術学部

芸術学部で修得した知識と技術を生かして、さまざまなクリエイティブの現場で活躍しています。また、さらなる表現を追究し、進学、留学、そしてアーティストへ。

➡ 創作活動・美術教育

作家やクリエイターを目指して、多くの者が卒業後も作品制作に励んでいます。その活躍は、国内の公募展や国際的コンペティションなどで数多くの入賞実績を数え、多方面のメディアに取り上げられています。個展やグループ展を開催するなど活躍の場を広げたり、新たな創作環境を求め海外に活躍の場を展開する卒業生もいます。また、広島市教員、広島県教員をはじめ、大学、専門学校、高等学校、中学校などの教育現場で美術指導を行う教員となる卒業生も数多くいます。

➡ 企業に就職

ものを創り、その意味を伝える。芸術学部で培ったスキルと感性は、“今”という時代だからこそ、さまざまな業種で求められています。自分の力を示す、あらゆる可能性がそこにはあります。

主な就職先(五十音順)

- | | | | |
|----------------------|--------------------------|-----------------|----------------|
| ●(株)アートフリーク | ●(株)ザメディアジョン | ●トヨタ紡織(株) | ●(株)みやび |
| ●(株)アクタス | ●(株)サンライズ | ●トライボッド・デザイン(株) | ●(株)モーツアルト |
| ●(株)アドブレックス | ●(株)シグマ | ●(株)ニシキプリント | ●モリサワ文研(株) |
| ●(株)石井表記 | ●(株)GKデザイン総研広島 | ●西日本印刷(株) | ●(株)山口銀行 |
| ●(株)インフォ・エヌ | ●(株)資生堂 | ●任天堂(株) | ●(株)ユニテッドアローズ |
| ●(株)内田洋行 | ●(株)スタジオプラセボ | ●ヌーベルメディア(株) | ●(株)ユニバーサルポスト |
| ●(株)ウッドワン | ●(株)ステージユニオン広島 | ●(株)ノエビア | ●(株)ライオン事務器 |
| ●(株)ガッシュ・エーススタジオ | ●スパイラルデザイン(株) | ●パナソニック(株) | ●ライカカメラジャパン(株) |
| ●(株)家庭学習研究社 | ●(株)スペース | ●浜田市立石正美術館 | ●蘭島閣美術館 |
| ●かめや釣具(株) | ●スリーエム ジャパン(株) | ●(株)ハル研究所 | ●(株)レナウン |
| ●川崎重工業(株) | ●創建ホーム(株) | ●パンビ(株) | ●YKK AP(株) |
| ●ガレリア・レイノ(株) | ●(株)ソララ | ●(株)ピーエーワークス | |
| ●(株)キタムラ | ●(株)体育社 | ●東原産業(株) | |
| ●岐阜信用金庫 | ●大昌工業(株) | ●(株)広島東洋カーブ | |
| ●キャンノマーケティングジャパン(株) | ●(株)中国四国博報堂 | ●(株)ファブリックアーツ | |
| ●呉信用金庫 | ●(株)TSSソフトウェア | ●(株)フィル・エ・クチュレ | |
| ●(株)呉竹 | ●(株)ティ・エス・エス・プロダクション | ●(株)フォー・アンツ | |
| ●(株)溪水社 | ●TBカワシマ(株) | ●(株)フォーナインズ | |
| ●(株)研創 | ●(株)DNP西日本 | ●(株)フォノグラム | |
| ●(株)幻生社 | ●(株)デジタルイズ | ●(公財)福武財団 | |
| ●(株)広告通信社 | ●(株)テレビ朝日クリエイト | ●(株)ふじわら写場 | |
| ●コクヨマーケティング(株) | ●(株)テレビ東京 | ●(株)ブレインセンター | |
| ●(株)心石工芸 | ●(株)テレビ東京 | ●(株)ポーラ | |
| ●(株)コトブキ | ●(株)コミュニケーションズ | ●(株)ポニーキャニオン | |
| ●(株)コナミデジタルエンタテインメント | ●(株)電通 | ●(株)ホロンクリエイト | |
| ●(株)小峰玩具製作所 | ●(株)テンポストドットコム | ●(株)本田技術研究所 | |
| ●(株)コロブラ | ●(株)東急ハンズ | ●マツダ(株) | |
| | ●(株)トッパングラフィックコミュニケーションズ | ●(株)ミキハウス | |
| | | ●(株)ミクシ | |

➡ 大学院に進学

芸術学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が、自己の表現を追究し、探究するために本学の大学院に進学しています。また、各々の専門性を高めるため、国内や海外の大学の大学院に進学する学生もいます。大学院を修了した卒業生たちは、作家、クリエイターやデザイナー、キュレーターなどになり、表現活動を続けています。



Voices (卒業生)

大切なのはデッサン力と意志のチカラ

株式会社ピーエーワークス

井上 裕亮 2010年3月 芸術学部美術学科 卒業

私はアニメーション制作会社に勤めています。油絵専攻からアニメーション業界に来るとするのは珍しい事らしいのですが、物体を三次元で捉えるというのは、画面内で空間的にも物を動かすということにおいて必要不可欠です。その上では、在学中に常に大事にしていた「デッサン力の重要性」という意識が、絵画とアニメーションという分野の違いを飛び越えて仕事に活かされています。それと、自分の描いたものをどういう意思で描いた

のかについて発表する機会があったというのも、貴重な体験だったと思っています。自分が絵で何を表現したかったのか、それを分かるように他人に伝えるのは、当たり前のように、経験しているのとしていないのとでは大きな差があります。プロとして絵を仕事にするというのはとても大変なことです。在学中に学んだ事は必ず自分の財産になると思います。頑張ってください。

広島での経験が人生のターニングポイントに

金属造形作家

加藤 貢介

2013年3月 芸術学研究科 博士前期課程 造形芸術専攻 修了

大学院の2年間と、その後の2年間を非常勤助教として広島市立大学で過ごしました。現在は国内での展示、海外のアートフェアなどで作品を発表しています。院生初期の頃は、外部から入ったため妙なこだわりが異様に強く、機械を使うこと、伝統工芸以外のもの(当時は伝統工芸展に出品していたので)、この2つに対して拒絶反応が強かったです。とにかく、自分の知っている世界以外完全否定という感じでした。しかし他分野の学生たちと接するにつれ、今まで見向きもしなかった領域の面白さを知ることができました。いざ作家活動を始める頃にはその経験が吉と出て、工芸系でありながら平面・絵画の公募展に入選、現代美術のギャラリーでの展示等、領域を超えて作品を発表する力が身に付いていました。あの頃意地を張り続けていたら、きっと今のよう領域や国境を超えて作品を発表することは叶わなかったと思います。広島での経験は人生のターニングポイントです。

Voices (卒業生)



ウェブサイト紹介

◎トップページ

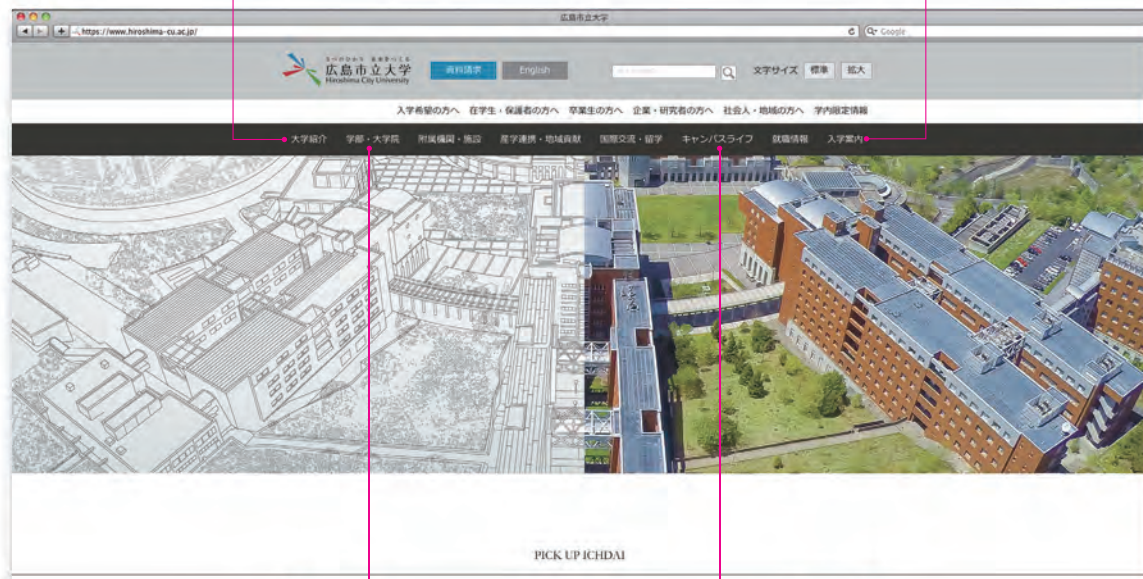
本学に関する最新の情報を見ることができます。ウェブサイトは、随時更新しています。

大学紹介

大学の概要や基礎データ、広報に関する情報などを掲載しています。本学の学生や卒業生を紹介する「Voices」では、ログインインタビューを掲載。ウェブサイトならではの情報が満載です。

入学案内

入試やオープンキャンパス情報など、入学に関する大事な情報を随時掲載しています。まずはこちらをご覧ください。



学部・大学院

大学の学部・学科の特色やカリキュラムなどについて詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

キャンパスライフ

クラブ・サークル、奨学金など、大学生活について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

プルダウンメニュー機能で、ラクラク検索。



◎関連サイト

幅広い教養を身に付ける 「いちだい知のトライアスロン」



いちだい知のトライアスロンとは、学生が作品を鑑賞し、その感想をウェブシステムにより記録し、推薦コメント(または講義レポート)を提出するという流れで進みます。学生に「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身に付けさせることを目指す読書、映画鑑賞、美術鑑賞推進事業です。



本学教員によるミニ講義を紹介 「夢ナビ」



「夢ナビ」は、株式会社フロムページが管理運営しているインターネット上のサービスサイト。「関心ワード」に対応した学問分野の「夢ナビ講義」(ミニ講義)を検索することができます。また、大学案内の資料請求ができるなど、さまざまな機能を持っています。



地(知)の拠点をつくる 「広島市立大COC+」



本学では、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」により、広島・山口両県内の25市町を「COC+エリア」(事業協働地域)として、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を進めています。気になる活動をどんどんチェックしてみてください。



学びを深める 「学部オリジナルサイト」



国際学部オリジナルサイト



情報科学部オリジナルサイト



※本学のウェブサイトは、2017年7月にリニューアルする予定です。ここに掲載しているトップページはリニューアル後のイメージ画像です。

入試情報

募集人員

学部	学科・専攻	入学定員	募集人員					
			一般入試		特別入試			
			前期日程	後期日程	推薦入試 市内公募	推薦入試 全国公募	自己推薦 入試	外国人留学生入試 ※(注2)参照
国際学部	国際学科	100	60	20	10	10	—	若干名
情報科学部 ※(注1)参照	情報工学科	210	130	40	20	20	—	若干名
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	—	10	—	—	若干名
		油絵専攻	20	20	—	—	若干名	
	彫刻専攻	10	—	7	—	3	若干名	
	デザイン工芸学科	前期日程	40	30	10	—	—	若干名
		後期日程	—	—	—	—	—	若干名

注1) 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学科定員30名)は本人の希望および1年次の成績により、2年次進級時に行います。
注2) 外国人留学生入試の募集人員「若干名」は、一般入試の募集人員に含まれます。

試験日程

	出願期間	個別学力検査等期日	合格発表
推薦入試 (国際学部・情報科学部のみ)	2017年11月1日(水)～11月7日(火)	2017年11月18日(土)	2017年11月30日(木)
自己推薦入試 (芸術学部・美術学科・彫刻専攻のみ)	2017年10月25日(水)～11月2日(木)	2017年11月18日(土)	2017年11月30日(木)
一般入試前期日程	2018年1月22日(月)～1月31日(水)	2018年2月25日(日) (芸術学部は下表の日程)	2018年3月7日(水)
一般入試後期日程		2018年3月12日(月) (芸術学部は下表の日程)	2018年3月21日(水)

学科・専攻	日程区分	個別学力検査等の日程
美術学科	日本画専攻	後期日程 2018年3月12日(月)～3月15日(木) 4日間
	油絵専攻	前期日程 2018年2月25日(日)～2月28日(水) 4日間
	彫刻専攻	後期日程 2018年3月14日(水)～3月15日(木) 2日間
デザイン工芸学科	前期日程	2018年2月25日(日)～2月26日(月) 2日間
	後期日程	2018年3月14日(水) 1日

(注)外国人留学生入試の日程は、国際学部、情報科学部、芸術学部美術学科油絵専攻およびデザイン工芸学科については、一般入試前期日程と同じです。芸術学部美術学科日本画専攻および美術学科彫刻専攻については、一般入試の後期日程と同じです。

入学科・授業料

- 入学科(入学手続時に支払い) 広島市内の者 282,000円 左記以外の者 423,000円
- 授業料(4月と10月に半期分を支払い) 年額 535,800円

※金額は、2017年4月現在のものです。料金改定が行われた場合には、改定後の料金が適用されます。

入試の実施状況
(2017年度)

学部	学科・専攻	試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
国際学部	国際学科	推薦入試(市内公募)	10	20	20	10	2.0	
		推薦入試(全国公募)	10	41	41	15	2.7	
		前期日程	60	237	223	68	3.3	
		後期日程	20	261	126	23	5.5	
		外国人留学生入試	若干名	14	13	9	1.4	
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	推薦入試(市内公募)	20	34	34	21	1.6	
		推薦入試(全国公募)	20	46	46	23	2.0	
		前期日程	130	300	286	159	1.8	
		後期日程	40	584	205	66	3.1	
		外国人留学生入試	若干名	2	1	1	1.0	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後期日程	10	35	29	13	2.2
		油絵専攻	前期日程	20	63	61	26	2.3
		彫刻専攻	自己推薦入試	3	6	6	4	1.5
	デザイン工芸学科	後期日程	7	18	13	9	1.4	
		前期日程	30	116	113	33	3.4	
		後期日程	10	133	67	14	4.8	
		※各学科・専攻	外国人留学生入試	若干名	1	1	0	—

試験教科等

一般入試		学部・学科・専攻	学力検査等区分	大学入試センター試験の利用教科等	個別学力検査等
国際学部	国際学科		前期	「国」「地歴または公民」「数」 「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から2と「外」	小論文
			後期	[3教科3科目(4科目)]	総合問題
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科		前期	「国」「数(2科目)」 「理(物、化、生から1)」「外」	数学、英語、理科 (物理または化学)
			後期	「数(2科目)」「理(物)」「外(英)」	数学
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後期	「地歴」「公民」「数」 「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から1と「国」「外」	実技検査
		油絵専攻	前期		実技検査
		彫刻専攻	後期		実技検査
	デザイン工芸学科	前期	[3教科3科目(4科目)]	実技検査	
			後期		実技検査

注)詳細および推薦入試、自己推薦入試、外国人留学生入試については、学生募集要項で確認してください。

学生募集要項の請求方法

自己推薦入試学生募集要項は2017年7月下旬に、推薦入試学生募集要項は2017年9月上旬に、一般入試学生募集要項および外国人留学生入試学生募集要項は、2017年11月下旬に発表する予定です。

- 1 テレメールを利用して請求

携帯電話・スマートフォンで右のバーコードを読み取り、テレメールにアクセスしてください。



- 2 大学情報センターの「モバっちょ」を利用して請求

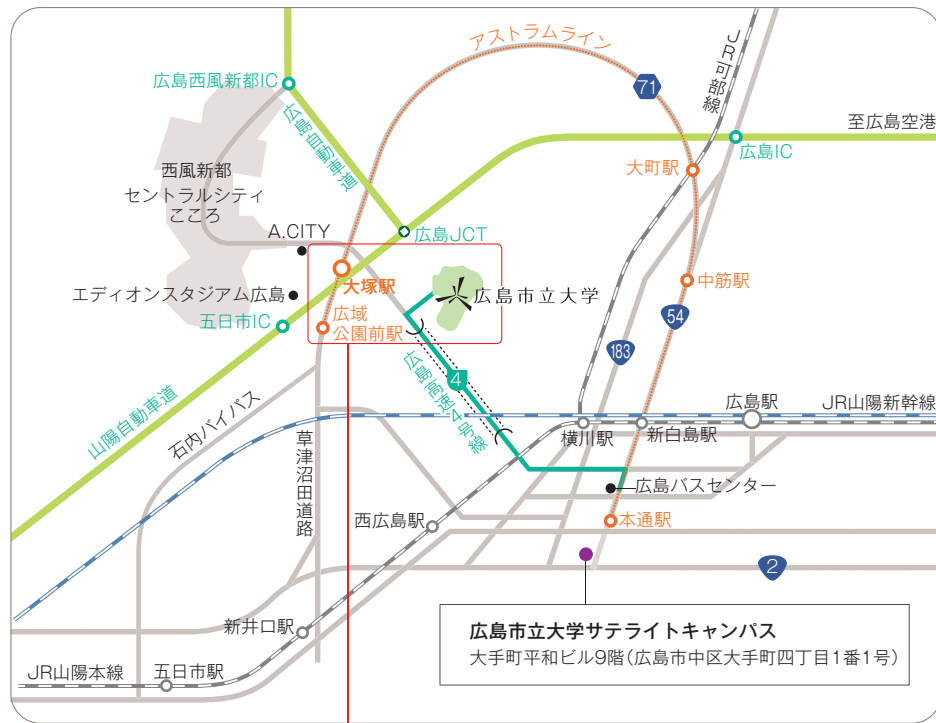
携帯電話・スマートフォンで右のバーコードを読み取り、モバっちょにアクセスしてください。



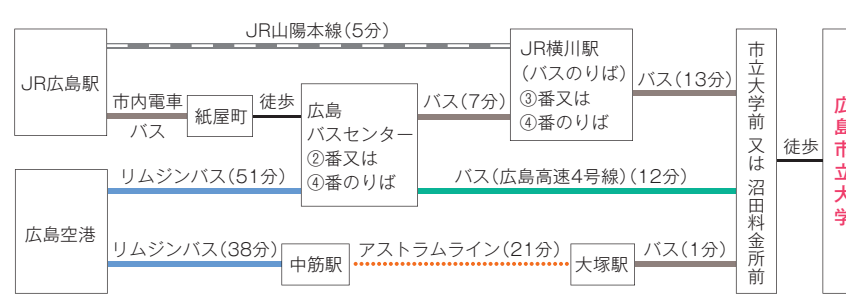
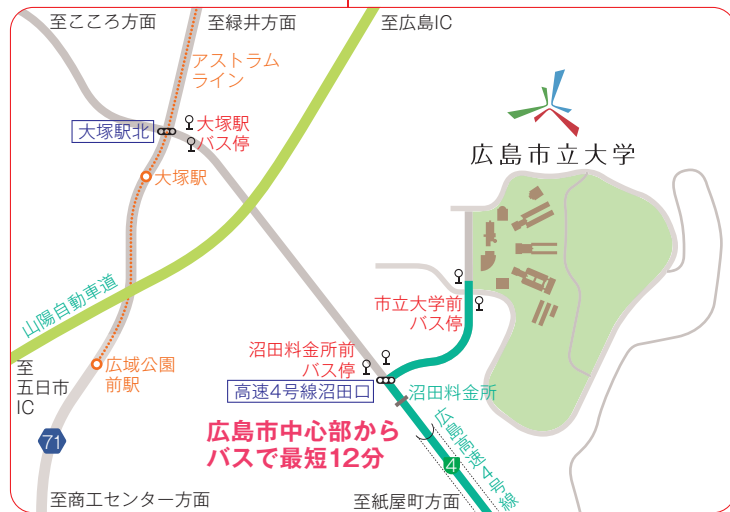
◎その他の請求方法については、本学ウェブサイトの「資料請求」をご覧ください。

アクセスマップ

広域マップ



大学周辺図

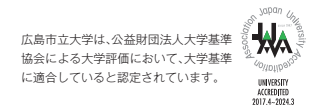


※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

- 所要時間は目安です。
- 広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。

広島市立大学 大学案内 2018

監修／広島市立大学企画・広報委員会
発行／広島市立大学
発行日／2017年7月1日
撮影／橋本健佑(広島市立大学 写真映像教務員)





3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東3丁目4番1号

Tel. 082-830-1500(代) Fax. 082-830-1656

HP : <http://www.hiroshima-cu.ac.jp>